

SHARP®

デジタルマルチメディアプロジェクター

形名

ピー ジー エム エックス

PG-M25X

取扱説明書

はじめに

設置と接続のしかた

基本操作

便利な機能を使う

付録

このたびはシャープデジタルマルチメディアプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……7ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保存してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。



DLP™
A TEXAS INSTRUMENTS TECHNOLOGY

特長

1. 高輝度

- DLP™方式と210Wランプの組み合わせにより、明るい部屋でも使用可能な高輝度映像を実現。
- 新開発DMD™素子採用により、高効率と高コントラストを実現。

2. 軽量・コンパクト・薄型ユニークデザイン

- 独自の直筒式光学エンジンを採用し、薄型ユニークデザインと、質量2.6kg・容積4.2リットルの軽量・コンパクト化を実現。

3. 先進の高画質設計

- 独自の新高画質ICの採用により、鮮やかな映像を実現。

新I/P変換アルゴリズムで、動き検出I/P変換の性能向上
動き部分での斜め線やエッジ部分のギザギザ感を大幅に改善。

コントラスト制御ダイナミックガンマ

色相の変化を抑え、よりコントラスト感と階調再現性のある映像を実現。

カラーマネージメント機能

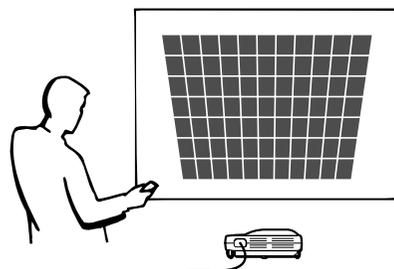
sRGB(カラーマネージメント)に対応。

ノイズリダクション

リダクション効果を高めても画面のボケ感を感じさせない、ノイズリダクションを実現。

新輪郭強調

斜め線になるエッジ部分の輪郭強調で起きるギザギザ感や、ちらつきを低減します。



4. 幅広いコンピュータ対応

- 200Hzまでのリフレッシュレート(垂直周波数)に対応。
広範囲な同期信号に対応。
- UXGA(1600×1200)のコンピュータ出力画面で情報の欠落が少ない、**高品位圧縮表示**が可能。

5. 静音設計

- 新技術カラーホイール軸受モーターと、インナーファンを採用。
- 流路抵抗(システムインピーダンス)の低減も行い、静音を実現。

6. PCMCIAカードスロット (TYPE II) 搭載

● ワイヤレスLAN PCカードによるワイヤレスプレゼンテーション

ワイヤレスLANの世界標準規格、IEEE802.11bに対応

ワイヤレスLAN PCカードは、ワイヤレスLANの標準規格であるIEEE802.11bに準拠しています。

この規格に準拠しているワイヤレスLAN PCカードを搭載したコンピュータと、ワイヤレスで接続することができます。



メモ

- IEEE802.11bに準拠しているすべてのコンピュータとワイヤレス接続できることを保証するものではありません。

プロジェクターやコンピュータの設置場所を自由に選んで使うことができます

ワイヤレスで接続できるので、たとえば天井に設置したプロジェクターでコンピュータの映像を投射するなど、プレゼンテーション環境の自由度が広がります。

複数のコンピュータからワイヤレスで映像を投射することができます

いちいちケーブル接続をし直す必要がないため、効率的なプレゼンテーションが可能となります。

● メモリーカードによるPCレスプレゼンテーション

コンパクトフラッシュなどのIC記録メディア(メモリーカード)をPCMCIAカード(TYPE II)アダプターを使ってプロジェクターに入れるだけで、コンピュータを使わないプレゼンテーションやオートデモンストレーションが可能です。



メモ

- ワイヤレスLAN PCカードによるワイヤレスプレゼンテーション及びメモリーカードによるPCレスプレゼンテーションについては、Wireless Reality取扱説明書もあわせてお読みください。

7. ジャイロリモコン

- ジャイロ機能により一歩進んだプレゼンテーション効果を実現。
- くっきりとしたスクリーン・ポインターが直感的なプレゼンテーションを可能に。
- 無指向性のワイヤレスリモコンにより通信範囲を拡大。コンピュータのUSBマウス制御もできます。

はじめに

ページ

特長	2
もくじ	4
PDF取扱説明書の見かた (Windows, Macintosh)	6
Acrobat Readerを付属のCD-ROMからインストールする	6
PDF取扱説明書にアクセスする	6
安全に正しくお使いいただくために	7
使用上のご注意	11
設置するときには次の点にご注意ください	11
海外でご使用になるときは	12
ランプ交換に関する注意	12
ランプ交換ユニットに関する注意	12
各部のなまえ	14
本体	14
ジャイロリモコン	16
乾電池の入れかた	17
乾電池の交換について	17
ジャイロリモコンについて	18
ジャイロリモコンの特長	18
ジャイロリモコンの操作のしかた	19
ジャイロリモコンを補正する	19
付属品を確認する	20

設置と接続のしかた

設置のしかた	22
アジャスターの使いかた	22
スクリーンを設置する	23
画面サイズと投射距離	24
反転映像を投射するとき	25
接続のしかた	26
接続する前に	26
電源コードの接続	26
コンピュータを接続する	27
DVI/15ピンミニD-subケーブルを使って接続する	27
DVIデジタルケーブル(別売品)を使って接続する	28
ビデオ機器を接続する	29
コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器と接続する	29
ビデオ機器を市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使って接続する	30
PCカードを装着する・取り外す	31
INPUT(入力)4にPCカードを装着する	31
PCカードを取り外す	31
モニターを接続する	32
プロジェクターとモニターの両方で映像を見る	32
端子部カバーをつけたままINPUT(入力)1端子を使う	32

基本操作

ページ

投射のしかた	34
電源を入れてから切るまで	34
画面表示言語を選ぶ	37
レンズ調整	37
画面の台形歪みを補正する (キーストーン補正)	38
画面の台形歪みを補正する	38
ジャイロリモコンを使う	40
ジャイロリモコンを使用する前に	40
手首の動きで制御する(OSD表示メニューの選択、プレゼンテーションツールの操作)	40
ボタン割当機能	41
ジャイロリモコンのチャンネルを設定(確認)する	42
ジャイロリモコンをプロジェクターに登録する	42
複数のジャイロリモコンで1台のプロジェクターを操作する場合の登録	43
プレゼンテーションツールを使う	44
ポインターを使う	44
ジャイロリモコンの操作のしかた	44
スタンプ機能を使う	45
ライン機能を使う	46
ジャイロリモコンのワイヤレスマウス機能を使う	47
ジャイロリモコンをワイヤレスマウスとして使用する	47
ジャイロリモコンをケーブル接続する	48
ジャイロリモコンの電源を切る	49
電源を切る	49
メニューの使いかた	50
本体でメニューの選択をする(調整)	50
本体でメニューの選択をする(設定)	52
ジャイロリモコンでメニューの選択をする(調整)	54
ジャイロリモコンでメニューの選択をする(設定)	55
メニュー表示内容一覧	56
映像を調整する	59
見やすい映像に調整する	59
信号の種類を設定する	60
プログレッシブモードを設定する	60
コンピュータの映像を調整する	61
自動同期調整がOFFのとき	61
画面調整の内容を登録する	61
登録した調整内容呼び出す	62
特殊モード調整	62
入力信号情報を表示する	63
自動同期調整	63
自動同期調整時の画面表示機能	64

便利な機能を使う

ページ

ページ

ネットワーク機能について 66

ネットワークの設定をする前に 66

ワイヤレスLAN PCカードを使う 68

ワイヤレスLAN PCカードを装着する 68

カードを取り出す 68

ネットワーク関連の設定をする 69

プロジェクター名を設定する 69

TCP/IPを設定する 70

無線LANを設定する 71

DHCPサーバーを設定する 73

ネットワークの設定をリセットする 74

**ワイヤレスLAN PCカード使用時の
トラブルシューティング 74**

メモリーカードを使う 75

カードの内容をインデックス表示する 75

カードを取り出す 75

サムネイル表示に設定しているとき 76

一覧表示に設定しているとき 77

メモリーカード関連の設定をする 78

表示ファイルを設定する 78

ファイルの表示順を設定する 78

インデックス表示モードの表示形式を設定する 79

オートラン機能を使う 79

画像ファイルの表示間隔を設定する 80

静止画機能 81

映像を静止状態にする 81

画像表示モードを選ぶ 82

入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える 82

映像をデジタル拡大する 84

映像の一部を拡大表示する 84

ガンマ補正 86

ガンマ補正を設定する 86

省電力機能を設定する 87

省電力モードにする 87

無信号時自動電源オフ機能 87

2つの画像を表示する(P in P) 88

子画面を表示する 88

sRGBカラーマネージメント機能を動作させる .. 89

sRGBカラーマネージメント機能を使う 89

自動入力サーチを設定する 90

自動入力サーチを使う 90

ドットのちらつきやノイズを軽減する(DNR) ... 91

ノイズを軽減する(DNR) 91

画面表示を設定する 92

画面表示を消す 92

**再生する機器に合わせた映像信号方式を
設定する 93**

映像信号方式を設定する 93

投映画像を取り込む(カスタムイメージキャプチャ) 94

画像を取り込む 94

取り込んだ画像を消去する 94

無信号時に表示する画面を設定する 95

無信号時画面の設定 95

オープニング画面を選ぶ 95

オープニング画面を設定する 95

RGBモニター出力用アダプターを使う 96

ランプの使用時間を確認する 96

休憩時間を表示する 97

休憩時間の表示と設定 97

休憩時間を解除したいとき 97

映像の左右反転／上下反転のしかた 98

投映方式の設定 98

プロジェクターの操作ボタンをロックする ... 99

キーロックの設定 99

キーロックの解除のしかた 99

パスワードを設定する 100

パスワードを入力する 100

パスワードを変更する 101

パスワードを忘れてしまったら 101

システムロックを設定する 102

キーコードを入力する 102

キーコードを変更する 104

設定内容を初期化する 105

設定値を工場出荷状態に戻す 105

調整内容を一覧表示する 106

調整した内容を一覧にして確認する 106

付録

プロジェクターを持ち運ぶ 108

キャリングバックの使いかた 108

お手入れのしかた 109

お知らせ表示について 110

ランプについて 111

ランプについて 111

ランプ使用上のご注意 111

ランプを交換する 111

ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け .. 112

ランプ使用時間(タイマー)をリセットする .. 113

本体のコネクタのピン配置 114

RGB入力信号(推奨信号)について ... 115

故障かな?と思ったら 116

アフターサービスについて 118

お客様ご相談窓口のご案内 119

仕様 120

使用できるカードの種類と容量 122

寸法図 123

用語集 125

索引 126

PDF取扱説明書の見かた (Windows, Macintosh)

本機に付属のCD-ROMの中には、本書がなくても操作が行えるように、PDF取扱説明書が添付されています。このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAcrobat Reader4.0J以降が必要です。お持ちのコンピュータ (WindowsやMacintoshコンピュータ) にAcrobat Reader4.0Jがインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールすることができます。

Acrobat Readerを付属のCD-ROMからインストールする

Windows コンピュータの場合

- 1 CD-ROM をCD-ROM ドライブに入れる。
- 2 "マイコンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
- 3 "CD-ROM" ドライブをダブルクリックする。
- 4 "acrobat" フォルダをダブルクリックする。
- 5 "windows" フォルダをダブルクリックする。
- 6 "japanese" フォルダをダブルクリックする。
- 7 インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

Macintosh コンピュータの場合

- 1 CD-ROM をCD-ROM ドライブに入れる。
- 2 "CD-ROM" ドライブをダブルクリックする。
- 3 "acrobat" フォルダをダブルクリックする。
- 4 "mac" フォルダをダブルクリックする。
- 5 "japanese"フォルダをダブルクリックする。
- 6 インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

その他のオペレーティングシステムをご使用の場合

インターネット(<http://www.adobe.co.jp>)から、最新のAcrobat Readerをダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

Windows コンピュータの場合

- 1 CD-ROM をCD-ROM ドライブに入れる。
- 2 "マイコンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
- 3 "CD-ROM" ドライブをダブルクリックする。
- 4 "manuals" フォルダをダブルクリックする。
- 5 "japanese" フォルダをダブルクリックする。
- 6 ● プロジェクターの取扱説明書を見たいとき
"m25x_j.pdf" ファイルをダブルクリックする。
● ソフトウェアの取扱説明書を見たいとき
"soft_j.pdf" ファイルをダブルクリックする。
● ワイヤレス LAN PC カードの取扱説明書を見たいとき
"wc11b_j.pdf" ファイルをダブルクリックする。

Macintosh コンピュータの場合

- 1 CD-ROM をCD-ROM ドライブに入れる。
- 2 "CD-ROM" ドライブをダブルクリックする。
- 3 "manuals" フォルダをダブルクリックする。
- 4 "japanese"フォルダをダブルクリックする。
- 5 プロジェクターの取扱説明書を見る。
"m25x_j.pdf" ファイルをダブルクリックする。

注意

- マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Acrobat Readerをまず起動させてから、"ファイル" "開く" メニューを使ってPDFファイルを開いてください。
- CD-ROMに保存されているreadme.txtファイルには、この取扱説明書に含まれていない重要な情報がありますので、必ずお読みください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く



- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなることを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



- この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

- サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠ 警告

指定された電源電圧で使用する



- 表示された電源電圧(交流100～240ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは



- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



- 投映中は、排気孔、ランプ交換ユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。

不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 雷が鳴りはじめたら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- この機器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警告

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置かない



- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。



- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。



- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠ 注意

移動させるときは必ず接続線をはずす



- 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んでゆりみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

指定以外の電池は使わない



- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



- 旅行などで長時間ご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する



- 3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する



- 電池を機器内に挿入する場合極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

ホコリ、湿気の少ないところへ

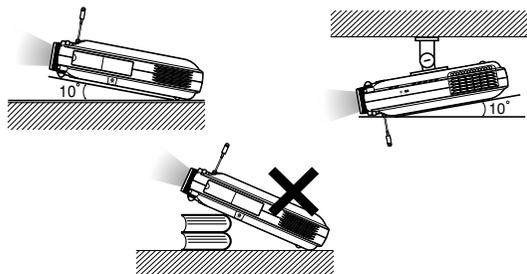
- 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

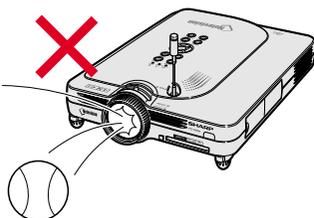
本機を設置するときは、前後方向に10°以上傾けないようにしてください

- 設置範囲(水平に対する角度)±10°



衝撃を与えないでください

- レンズには、特にご注意ください。表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 5°C～35°C
- 保存温度範囲 -20°C～60°C

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、保護回路が働き自動的に電源が切れます。これは故障ではありません。電源プラグをコンセントから抜き、10分以上はそのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがらない位置でもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。

持ち運びのご注意

- 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナやイジェクトボタンを収納して持ち運んでください。またPCカードや外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。

接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

使用上のご注意(つづき)



温度

温度モニター機能

■ 設置状況や通風孔の目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高温になると、「温度」マークが画面の左下で点滅します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度モニターお知らせ表示(ランプ)が点滅し、90秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については [110ページ](#)の「お知らせ表示について」をご覧ください。

お知らせ

- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

海外でご使用になるときは

■ お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

ランプ交換に関する注意

■ “ランプについて” ([111ページ](#)) もご覧ください。

■ 廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関する注意

■ ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

- DLP™(Digital Light Processing)、DMD™(Digital Micromirror Device)は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
- Macintosh はアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- 本製品のICチップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられております。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアの一部を利用しております。

重要 製品を使用する前にお読みください。

本製品には Lineo, Inc. (以下「Lineo」という)がシャープ株式会社にライセンス供与したソフトウェアが含まれています。本ソフトウェアは著作権法、国際著作権条約及びその他知的財産法及び協定により保護されています。Lineo 及びそのサプライヤーが、本ソフトウェアのソフトウェア・コンポーネント及びそのコピー一切の所有権及び知的財産権(著作権を含む)を保持します。

但し、本ソフトウェアの一部コンポーネントは Lineo が支援している、GNU ジェネラル・パブリック・ライセンス (バージョン 2) に従いライセンス付与されているコンポーネントです。GNU ジェネラル・パブリック・ライセンスのコピーは <http://www.fsf.org/copyleft/gpl.html> にて入手できます。Lineo ではそれに従いライセンス付与されているコンポーネントのソースコードを提供しますので、希望者は OEM、embedix-support@lineo.com までご連絡下さい。

OS : Embedix(Embedded Linux) Embedix™ は、米国 LINEO、Inc. の登録商標です。

各部のなまえ

は参照ページを示しています。

本体

ランプ交換お知らせ表示
通常は緑色で点灯。赤色で点滅したときはランプ交換が必要です。

電源表示
待機状態では赤色で点灯。電源を入れると緑色で点灯します。

POWER(電源入/切)ボタン
電源を入/切します。

LENS(レンズ)ボタン
キーストーン・デジタルシフトの各調整を行います。

カーソルボタン(▼▲◀▶)
メニュー項目の選択に使用します。

ENTER(決定)ボタン
メニューで選択調整した項目を決定します。

AV MUTE(AVミュート)ボタン
プロジェクターからの映像と音を一時的に消します。

ジャイロリモコン用アンテナ

ズームレバー

イジェクトボタン

INPUT (入力) 4 PCカードスロット
ワイヤレスLAN PCカード、またはメモリーカードを挿入します。

110

34

34

38

51

53

36

40

37

31

31

110

35

50

35

51

63

37

14

32

18

温度モニターお知らせ表示
内部温度が高温になると赤色で点灯します。

INPUT(入力切替)ボタン
入力モード(入力1、2、3、4)を切り換えます。

MENU(メニュー)ボタン
各種設定・調整用の画面を表示します。

VOLUME(音量)ボタン
スピーカーからの音量を調整します。

UNDO(戻す)ボタン
1つ前の操作の状態に戻したり、初期設定に戻します。

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

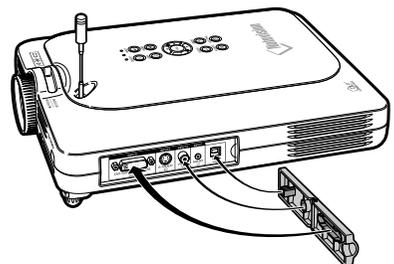
フォーカスリング

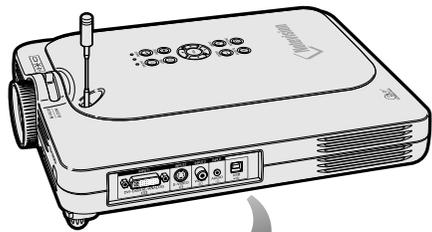
端子部カバー

スピーカー

リモコン受信部

端子部カバーの取り付けかた
図のように、カバーと端子の位置を合わせて押し込んでください。



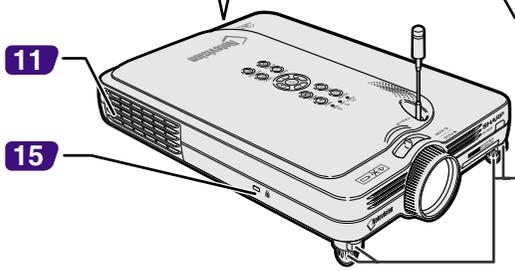
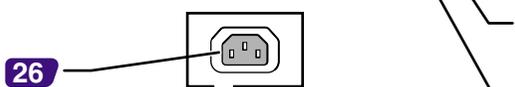
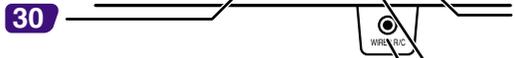
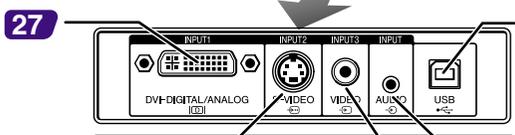


INPUT(入力)1端子
DVIデジタル/アナログRGB/
コンポーネント(色差)の入力
用DVI端子です。

INPUT(入力)2端子
S端子付きビデオ機器などと
接続するときに使用します。

AC電源ソケット
付属の電源コードを接続し
ます。

盗難防止用コネクター
(Kensington Security
Standard connector)



47 USB端子
USBケーブルを使ってコ
ンピュータと接続します。

**27 INPUT(入力)
AUDIO(音声)端子**
入力1/入力2/入力3/入力4
共用の音声入力端子です。

30 INPUT(入力)3端子
ビデオ機器などと接続する
ときに使用します。

**48 ジャイロリモコン用ワイ
ヤード端子**

**22 アジャスター/アジャス
ターリリースボタン**
プロジェクターの傾きを調
整します。

盗難防止用コネクターについて

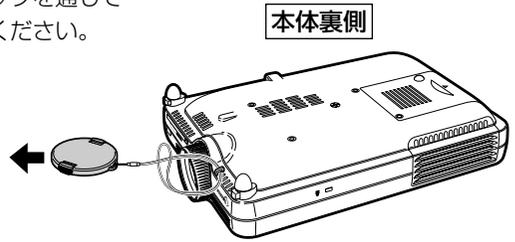
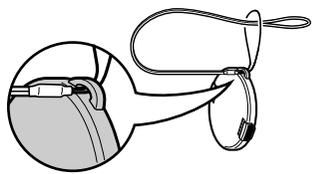
- 市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製) などを接続することができます。



■盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。
日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。
日本ポラロイド株式会社 電子映像グループ
〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル
TEL 03-3438-8879 FAX 03-5473-1630

レンズキャップの取り付けかた

図のように、レンズキャップにレンズキャップストラップを通して
から、本体裏側にレンズキャップストラップを通してください。



つづく

各部のなまえ(つづき)

ジャイロリモコン

表面

機能1/2ボタン

ボタン割当の機能1、機能2を指定します。

INPUT (入力切換) ボタン

入力 (1,2,3,4) を切り換えます。

L-CLICK (左クリック)

/ENTER (決定) ボタン

メニューで選択調整した項目の決定や、ワイヤレスマウスモード時に左クリックボタンとして働きます。

POWER (電源) ボタン

電源を入/切します。

LENS (レンズ) ボタン

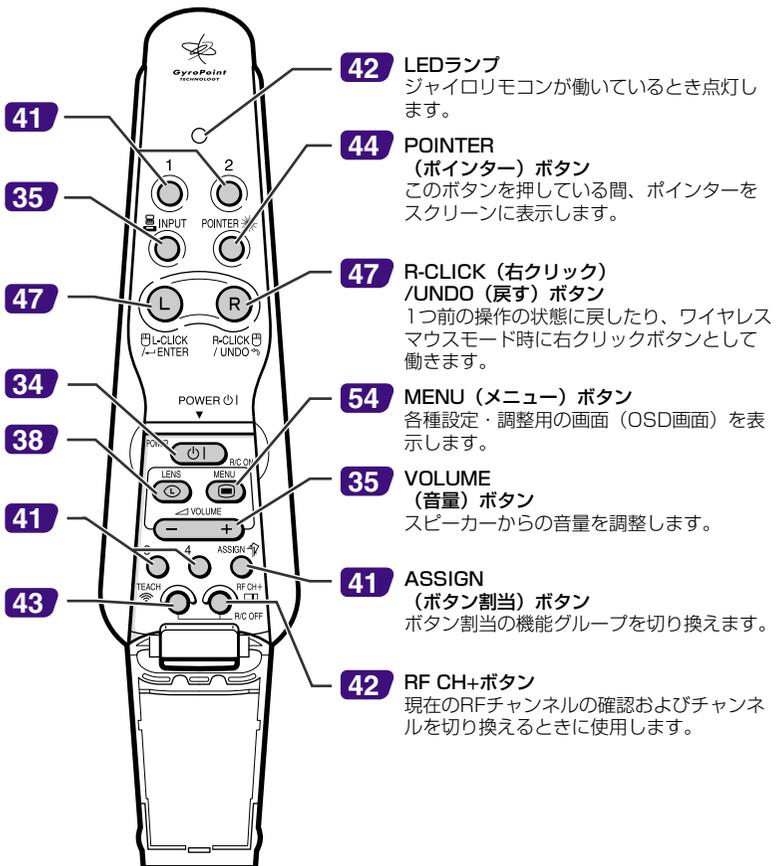
キーストーン、デジタルシフトの調整を行います。

機能3/4ボタン

ボタン割当の機能3、機能4を指定します。

TEACH (設定) ボタン

プロジェクターにリモコンを登録するときに使用します。



42 LEDランプ
ジャイロリモコンが動いているとき点灯します。

44 POINTER (ポインター) ボタン
このボタンを押している間、ポインターをスクリーンに表示します。

47 R-CLICK (右クリック) /UNDO (戻す) ボタン
1つ前の操作の状態に戻したり、ワイヤレスマウスモード時に右クリックボタンとして働きます。

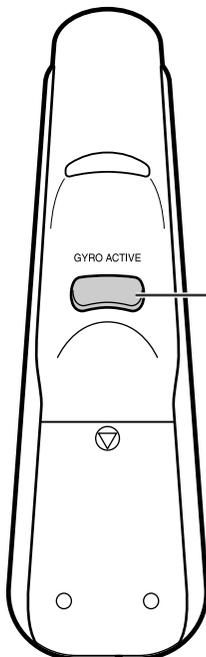
54 MENU (メニュー) ボタン
各種設定・調整用の画面 (OSD画面) を表示します。

35 VOLUME (音量) ボタン
スピーカーからの音量を調整します。

41 ASSIGN (ボタン割当) ボタン
ボタン割当の機能グループを切り換えます。

42 RF CH+ボタン
現在のRFチャンネルの確認およびチャンネルを切り換えるときに使用します。

裏面



44 GYRO ACTIVE (ジャイロ操作) ボタン
ツールアイコン (スタンプなど) の移動、OSD表示のメニューの選択やワイヤレスマウスモードでカーソルを移動するときなど、ジャイロ機能を動かせるときに使用します。

底面



48 ワイヤードリモコン端子

Gyration U.S. Patents
5698784, 5825350, 5898421

乾電池の入れかた

乾電池はこの取扱説明書と一緒に入っています。
〔単4形 (R03) 4本〕

1 カバーを矢印の方向にスライドさせ、開ける

2 付属の乾電池を入れる

- ・プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。

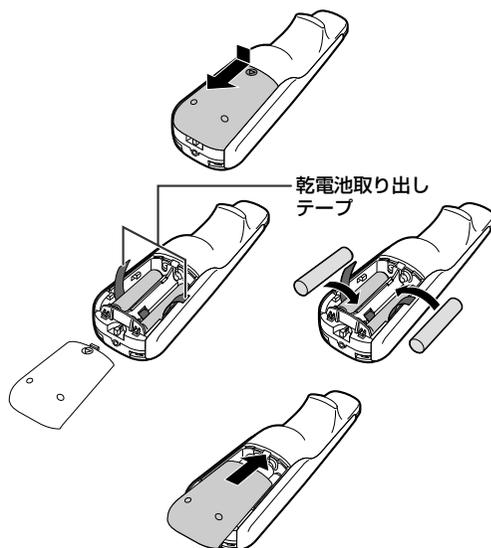
お知らせ

- ・乾電池取り出しテープは必ず乾電池の下になるようにして入れてください。乾電池交換時に古くなった乾電池が取り出せなくなります。

3 カバーを矢印の方向にスライドさせ、閉める

お知らせ

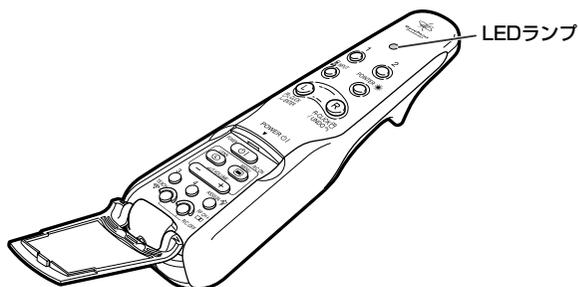
- ・ジャイロリモコンスリープ機能について
ジャイロリモコンは、乾電池の消耗を防ぐため、約5分以上操作しないと、自動的にスリープモードになります。リモコン操作ができないときは、一度ジャイロリモコンの  を押してから操作してください。



乾電池の交換について

乾電池が消耗すると、LEDランプが点滅します

- ・LEDランプが点滅したときは、早めに新しい乾電池と交換してください。
- ・乾電池はアルカリ電池をご使用ください。



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠ 注意

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消費することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をジャイロリモコンから取り出して整理しておいてください。

ジャイロリモコンについて

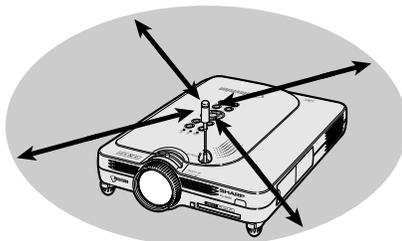
ジャイロリモコンの特長

このプロジェクターはジャイロリモコンを採用しています。従来の赤外線を使ったものに比べ、次のような特長を持っています。

電波による通信

従来の赤外線方式の場合は、指向性を持っているため操作可能範囲が限られます。またプロジェクターとリモコン間に障害物があると使えませんでした。ジャイロリモコンはプロジェクターと電波で通信しますので、周囲約7mの範囲で操作することができます。

操作可能範囲：周囲約7m



- プロジェクターのアンテナをフルに伸ばした状態での制御可能な範囲です。
- プロジェクターの設置場所や使用条件などによっては、使用可能な範囲が狭くなることがあります。

⚠ 注意

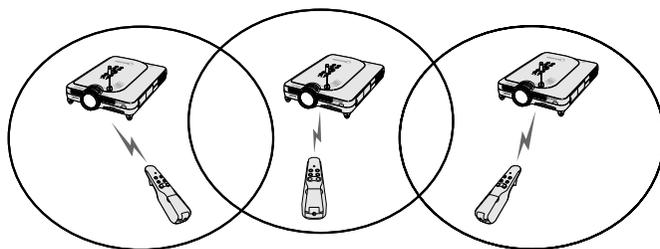
病院など、使用を禁止された場所では、ジャイロリモコンを使用しないでください。

- 電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関内における使用については、各医療機関の指示に従ってください。

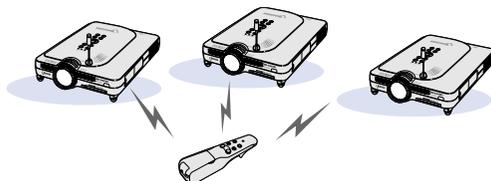
マルチプロジェクターコントロール

プロジェクターは、ジャイロリモコンの識別機能を持っています。したがって、次のようないろいろな制御が可能です。

- 同じタイプのプロジェクターがジャイロリモコンの使用可能な範囲内に複数台設置されていても、干渉による誤動作を起こしません。



- 1台のジャイロリモコンで複数のプロジェクターを操作することができます。



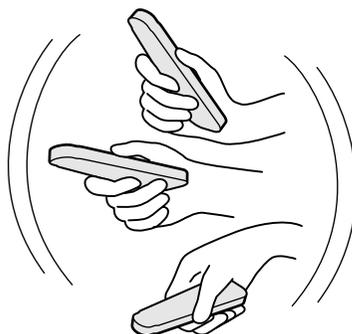
- 複数のジャイロリモコンで1台のプロジェクターを操作することができます。



ジャイロリモコンの操作のしかた

お知らせ

- ジャイロリモコンは、ジャイロリモコン本体の角度変化によって動作情報を発信します。手首を回すように操作すると、スムーズに操作することができます。
- ジャイロリモコンの動きは、ジャイロリモコン裏側の  を押している間発信されます。
-  を押さないと、ジャイロリモコンの動きは発信されません。
-  を連続して2回押すと、ジャイロリモコンの動きは発信され続けます。もう一度  を押すと、元の状態にもどります。



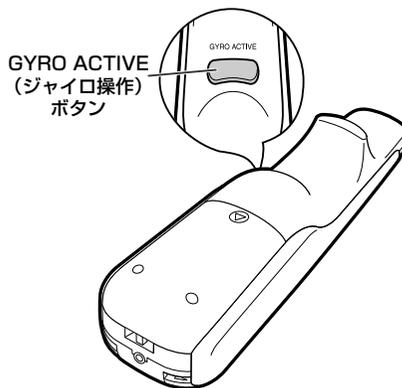
ジャイロリモコンを補正する

ジャイロリモコンを使用中、急激な温度変化があったときや、電池の交換後に画面のマウスカーソルやポインタが静止状態にならないことがあります。このようなときは、ジャイロリモコンを補正してください。

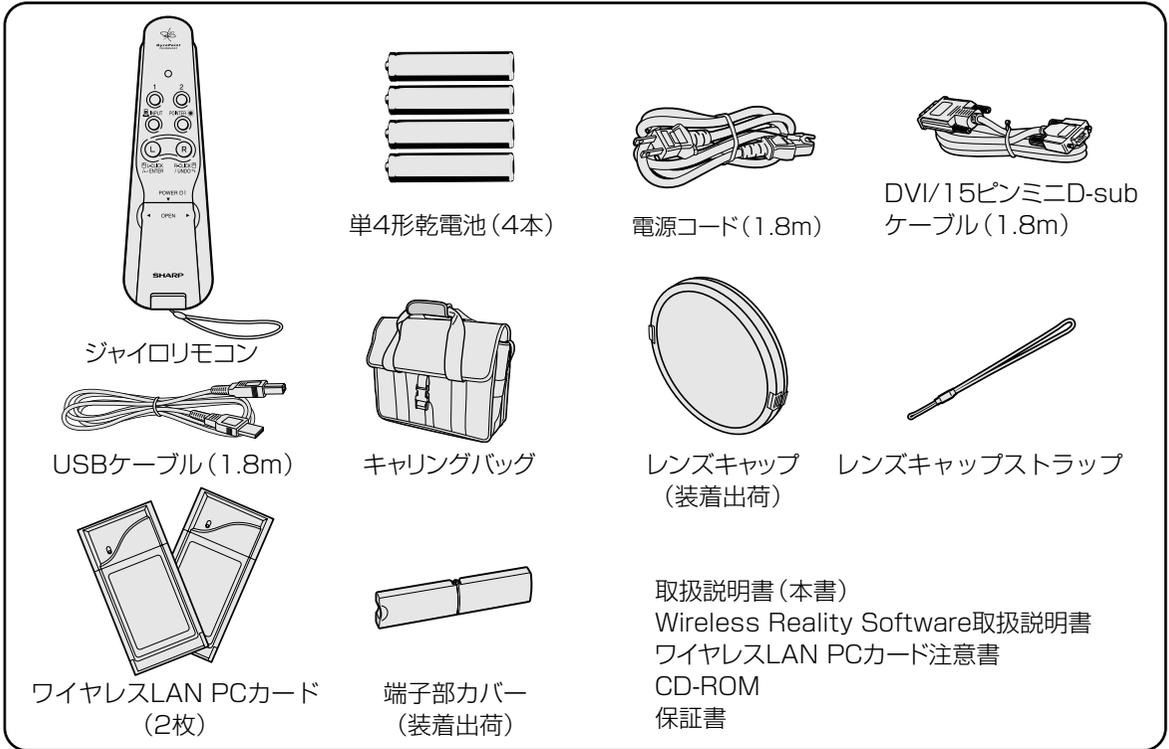
1 ジャイロリモコンの  を連続して2回押す

2 LEDランプが点灯していることを確認し、水平な場所に置く

3 6秒以上放置し、 を押す
 ・6秒以上放置すると、補正が完了します。



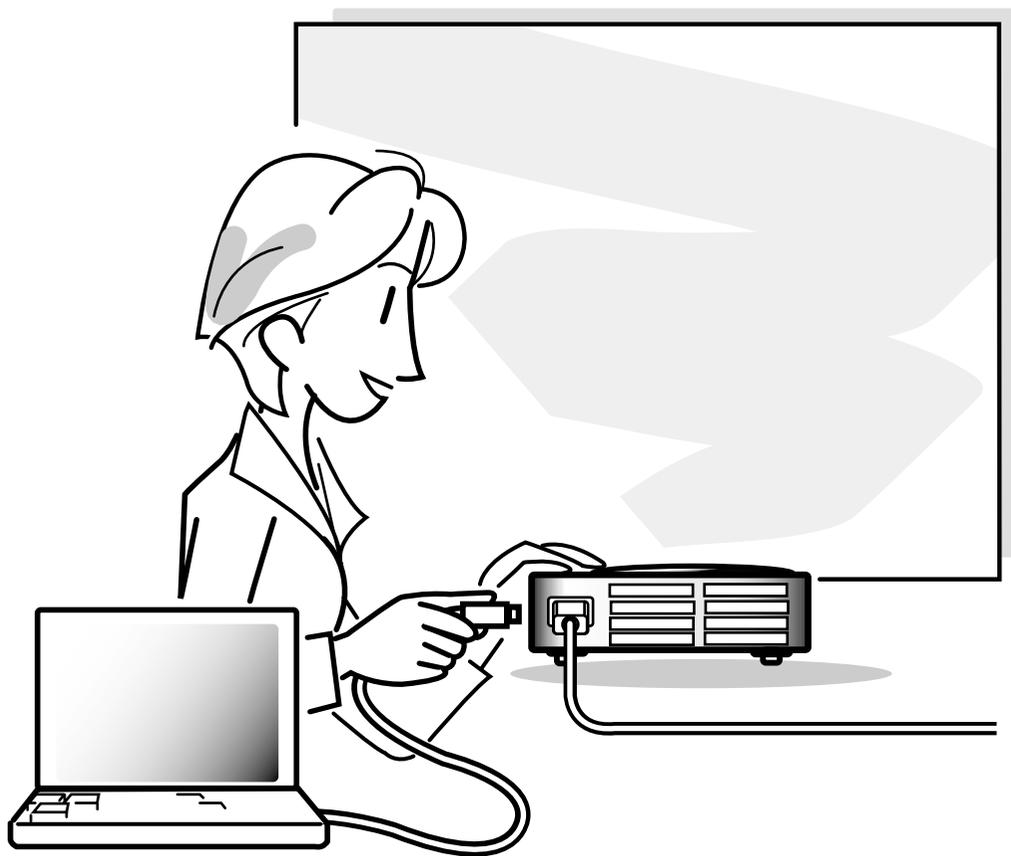
付属品を確認する



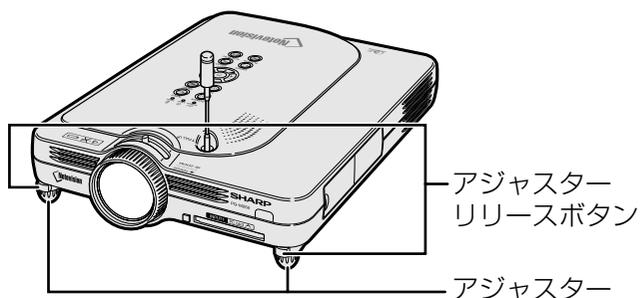
別売品のご案内

- | | |
|---|---|
| ■DVIデジタルケーブル (3m) | AN-C3DV |
| ■3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (3m) | AN-C3CP |
| ■アナログRGBケーブル (10m) | AN-C10BM <IBM-PC系・PC9821系・PC98NX系>
AN-C10PC <PC98系用 (PC9821系・PC98NX系除く)> |
| ■5BNC/15ピンミニD-subケーブル (3m) | AN-C3BN |
| ■RGBモニター出力用アダプター (20cm) | AN-A1MY |
| ■DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター (20cm) | AN-A1DV |
| <ul style="list-style-type: none"> • コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクタ (市販品) が必要な場合があります。 | |
| ■ワイヤレスLAN PCカード | AN-WC11B |

設置と接続のしかた



設置のしかた



アジャスターの使いかた

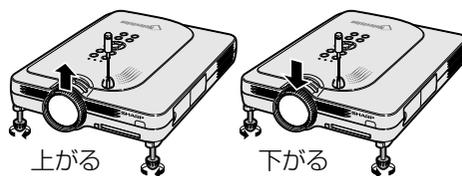
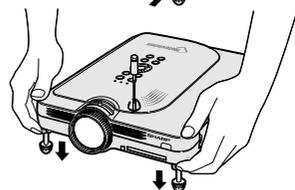
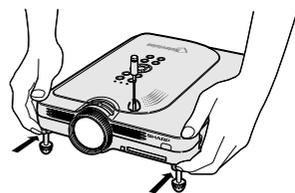
スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投影画面の位置を高くすることができます。

1 アジャスターリリースボタンを押す

2 プロジェクターを持ち上げて高さを調整し、アジャスターリリースボタンから手を離す

3 アジャスターをまわして、微調整する



メモ

- 元に戻すときは、プロジェクターをしっかり持ってアジャスターリリースボタンを押さえて下へおろします。
- プロジェクターは標準位置から約5.5度まで角度調整することができます。

お知らせ

- アジャスターが伸びている状態でアジャスターリリースボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりささえて高さを調整してください。
- プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。
- プロジェクターを下げるとき、プロジェクターとアジャスターの間に指をはさまないように注意してください。

スクリーンを設置する

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。
- このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

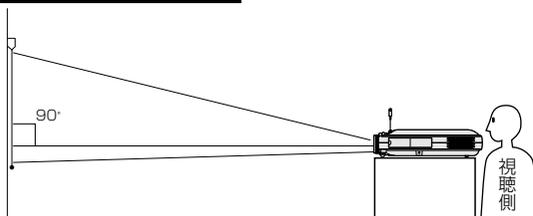
基本的な設置（前面からの投映）

- 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（24ページ）



基本設置例

横から見たとき



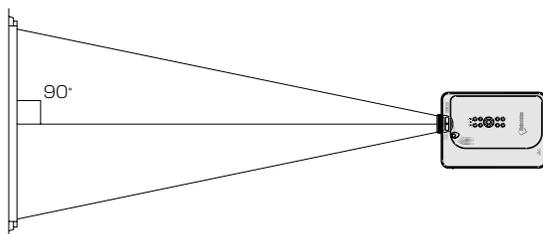
- スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

24ページ

- スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままで投映できます。投映した画面の上下左右が反転している場合は、「投映方式」のサブメニューで、「フロント」に設定し直してください。

98ページ

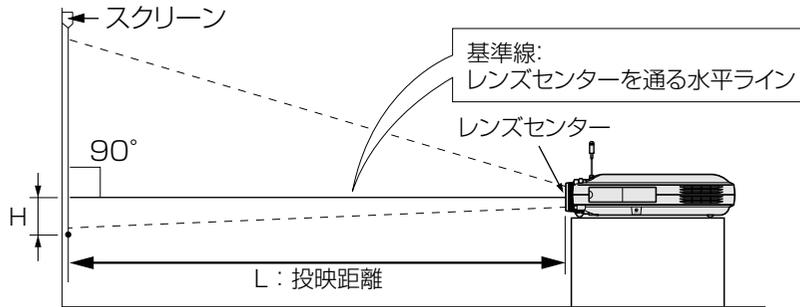
上から見たとき



- レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

設置のしかた(つづき)

画面サイズと投映距離



4:3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モード表示となります。)(82ページ)

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から 画面の最下段までの距離(H)
対角(型)	幅(cm)	高さ(cm)	L1:最長	L2:最短	
300	609.6	457.2	—	12.0 m	0.0 cm
250	508.0	381.0	12.1 m	10.0 m	0.0 cm
200	406.4	304.8	9.7 m	8.0 m	0.0 cm
150	304.8	228.6	7.2 m	6.0 m	0.0 cm
100	203.2	152.4	4.8 m	4.0 m	0.0 cm
80	162.6	121.9	3.8 m	3.2 m	0.0 cm
70	142.2	106.7	3.4 m	2.8 m	0.0 cm
60	121.9	91.4	2.9 m	2.4 m	0.0 cm
40	81.3	61.0	1.9 m	1.6 m	0.0 cm

画面サイズと投映距離の近似式
 $L1 = 0.048539x - 0.037278$
 $L2 = 0.040172x - 0.037561$
 $H = 0$

x : 画面サイズ (型)
 L : 投映距離 (m)
 L1 : 最長投映距離
 L2 : 最短投映距離
 H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

16:9スクイーズ (フル) モード

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から 画面の最下段までの距離(H)
対角(型)	幅(cm)	高さ(cm)	L1:最長	L2:最短	
250	553.5	311.3	—	10.9 m	-51.9 cm
225	498.1	280.2	11.9 m	9.8 m	-46.7 cm
200	442.8	249.1	10.5 m	8.7 m	-41.5 cm
150	332.1	186.8	7.9 m	6.5 m	-31.1 cm
130	287.8	161.9	6.8 m	5.7 m	-27.0 cm
100	221.4	124.5	5.3 m	4.3 m	-20.8 cm
90	199.2	112.1	4.7 m	3.9 m	-18.7 cm
80	177.1	99.6	4.2 m	3.5 m	-16.6 cm
70	155.0	87.2	3.7 m	3.0 m	-14.5 cm
60	132.8	74.7	3.1 m	2.6 m	-12.5 cm
40	88.6	49.8	2.1 m	1.7 m	-8.3 cm

画面サイズと投映距離の近似式
 $L1 = 0.052882x - 0.037278$
 $L2 = 0.043766x - 0.037561$
 $H = -0.2075x$

4:3標準モード

画面サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から 画面の最下段までの距離(H)
対角(型)	幅(cm)	高さ(cm)	L1:最長	L2:最短	
200	406.4	304.8	—	10.7 m	-50.8 cm
180	365.8	274.8	11.6 m	9.6 m	-45.7 cm
150	304.8	228.6	9.7 m	8.0 m	-38.1 cm
100	203.2	152.4	6.4 m	5.3 m	-25.4 cm
80	162.6	121.9	5.1 m	4.2 m	-20.3 cm
70	142.2	106.7	4.5 m	3.7 m	-17.8 cm
60	121.9	91.4	3.8 m	3.2 m	-15.2 cm
40	81.3	61.0	2.6 m	2.1 m	-10.2 cm

画面サイズと投映距離の近似式
 $L1 = 0.064719x - 0.037278$
 $L2 = 0.053563x - 0.037561$
 $H = -0.254x$

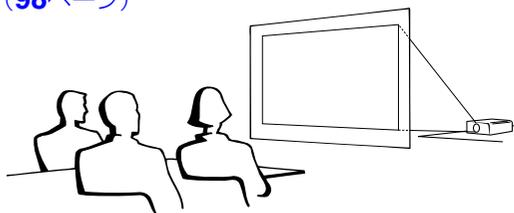


- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に- (マイナス記号) がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示しています。

反転映像を投映するとき

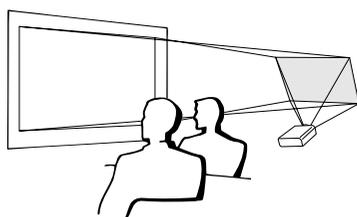
スクリーン背後からの投映

- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- メニューの「投映方式」を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(98ページ)



ミラーを使った投映

- レンズの正面にミラー（表面鏡）を設置してください。
- 視聴者側にミラーを置くときは、メニューの「投映方式」を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(98ページ)



お知らせ

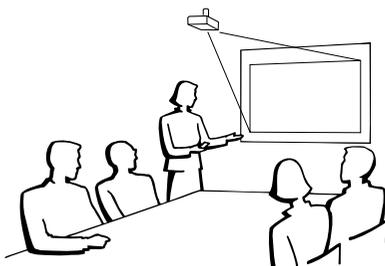
- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投映

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプター「AN-60KT」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。

別売の取り付けアダプター「AN-60KT」の取り付けは、付属の天吊りアダプター取付説明書をご覧ください。

- プロジェクターを天井に設置するときには、24ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。



- メニューの「投映方式」を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。(98ページ)

工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の左右を反転します

工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の左右を反転します

工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の上下を反転します

接続のしかた

接続する前に

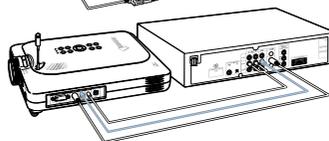
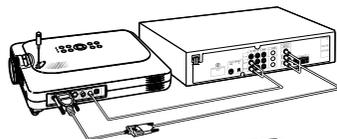
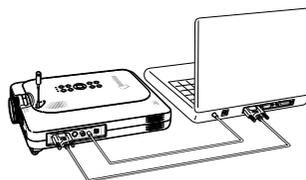


- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。
- 接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

接続例

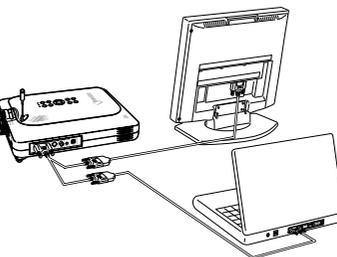
コンピュータとの接続

- DVI/15ピンミニD-subケーブルを使って接続します。くわしくは**27ページ**をご覧ください。
- DVIデジタルケーブル「AN-C3DV」(別売品)を使って接続します。くわしくは**28ページ**をご覧ください。
- ワイヤレスLAN PCカードを使ってコンピュータとワイヤレスで接続します。くわしくは**68ページ**をご覧ください。



ビデオ、オーディオ機器との接続

- DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどコンポネント(色差)出力端子付機器と接続します。くわしくは**29ページ**をご覧ください。
- ビデオやレーザーディスクなどと接続します。くわしくは**30ページ**をご覧ください。



モニターとの接続

- RGBモニター出力用アダプター「AN-A1MY」(別売品)と市販のRGBケーブルを使って接続します。くわしくは**32ページ**をご覧ください。

電源コードの接続

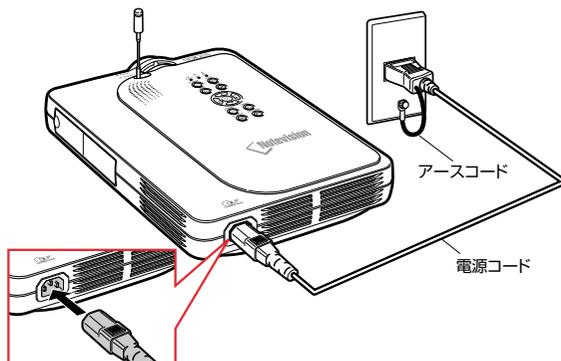
1 プロジェクターの背面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

付属品



電源コード



コンピュータを接続する

DVI/15ピンミニD-subケーブルを使って接続する

1 付属のDVI/15ピンミニD-subケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

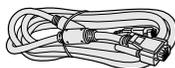
・ネジをしめて確実に接続してください。

2 音声を入力する場合は、φ3.5音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

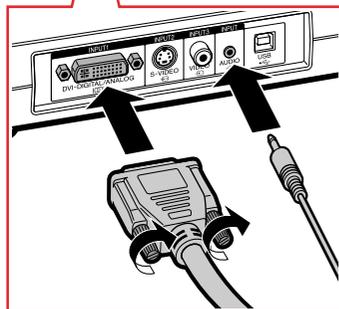
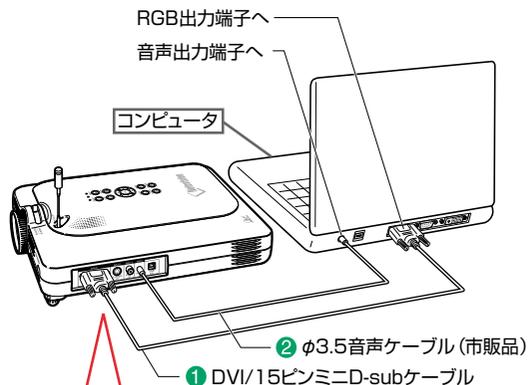
メモ

- ・対応しているコンピュータの表示モードについては、「RGB入力信号(推奨信号)について」(115ページ)をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- ・この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「RGB入力」に設定してください。(60ページ)
- ・Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様相談センターへお問い合わせください。(119ページ)

付属品



DVI/15ピンミニD-subケーブル(1.8m)

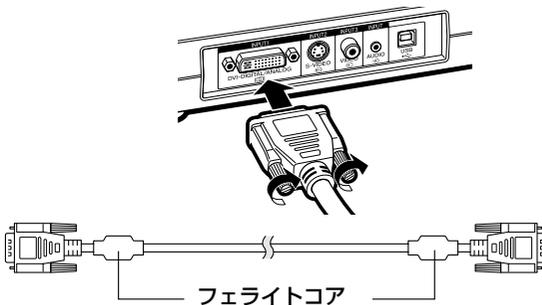


設置と接続のしかた

固定ネジ付ケーブルの取り扱いについて

- 固定ネジ付ケーブルは、端子の形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

- DVI/15ピンミニD-subケーブルについているフェライトコアは、電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



つづく

接続のしかた(つづき)

DVIデジタルケーブル(別売品)を使って接続する

本機はコンピュータのデジタル映像信号を直接入力できるDVIデジタル入力端子を標準装備しています。

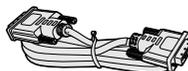
1 DVIデジタルケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

2 音声を入力する場合は、φ3.5音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

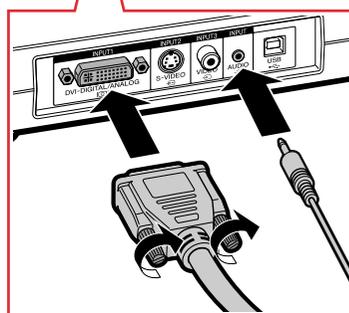
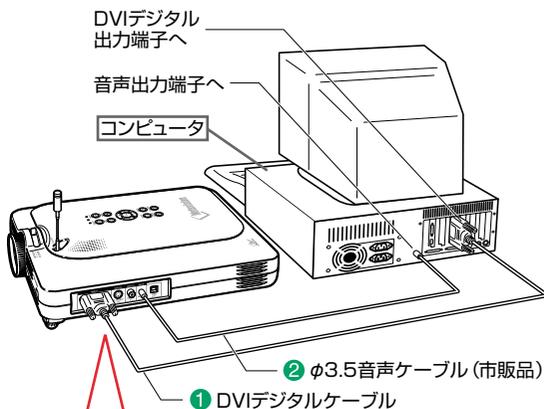
メモ

- このDVIデジタル入力端子はDVIバージョン1.0に対応しています。したがってコピーガードシステムに対応しているシステム(DVIバージョン2.0)を接続した場合、信号を受信できません。

別売品



DVIデジタルケーブル
形名: AN-C3DV(3m)



「プラグ&プレイ」機能(15ピン端子に接続する)

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のパソコンでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

- 本機のDDC プラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

ビデオ機器を接続する

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器と接続する

BSビデオデジタルチューナーやDVDプレーヤーなど、コンポーネント(色差)出力端子のある機器をINPUT(入力)1端子に接続するときは、別売品の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル「AN-C3CP」とDVI/15ピンミニD-sub変換アダプター「AN-A1DV」を使って接続します。

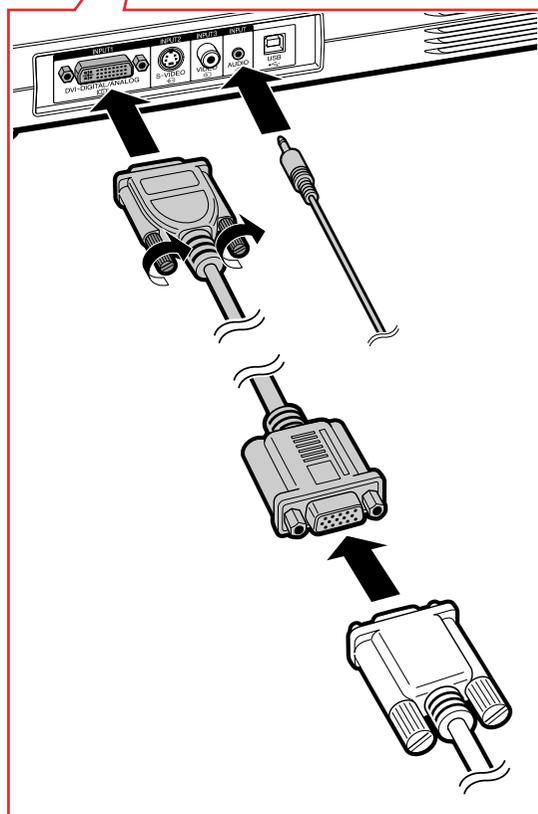
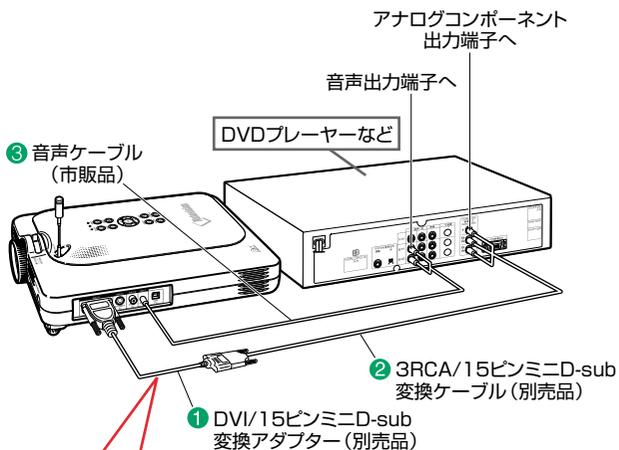
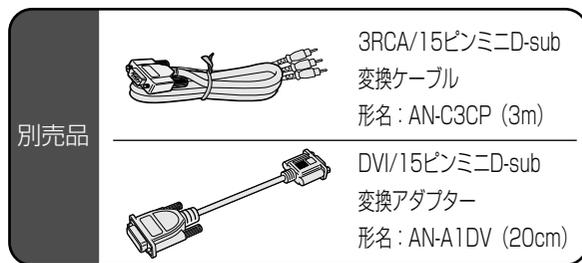
1 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルとDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターを使って接続する

2 接続したケーブルを使って、プロジェクターとビデオ機器を接続する

3 音声ケーブル(市販品)でプロジェクターとビデオ機器の音声出力端子を接続する

メモ

- この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「色差入力」に設定してください。(60ページ)
- 525Pの信号を入力したときは、メニューの「特殊モード」の解像度を「480P」に設定してください。(62ページ)
- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ミニプラグ/RCAプラグのタイプをご用意ください。



接続のしかた(つづき)

ビデオ機器を市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使って接続する

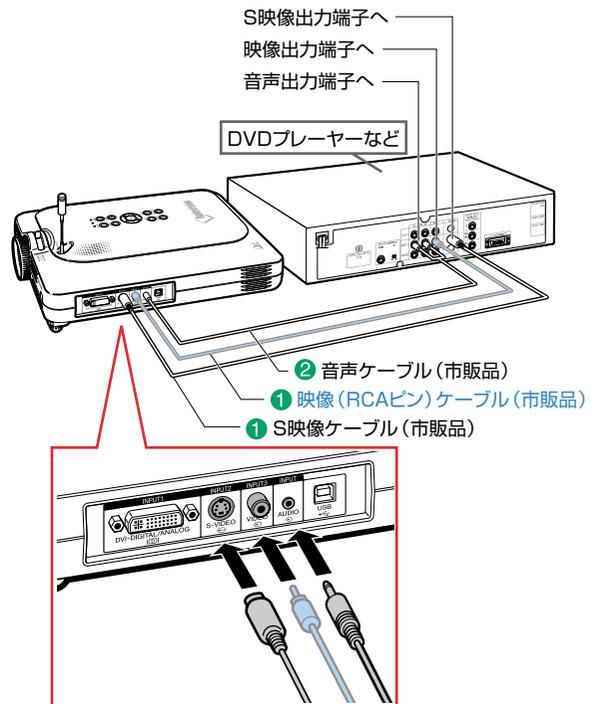
ビデオやレーザーディスクプレーヤーなどを市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使ってINPUT (入力) 2端子、INPUT (入力) 3端子、AUDIO (音声) 端子に接続します。

1 市販のS映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って、プロジェクターとビデオ機器を接続する

2 音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

メモ

- S映像端子に採用されているビデオ信号は、色信号と輝度信号に分かれています。より高品位な画像再生のため、プロジェクターのS映像端子とビデオ機器のS映像出力端子を市販のS映像ケーブルで接続してお使いください。
- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ミニプラグ/RCAプラグのタイプをご用意ください。



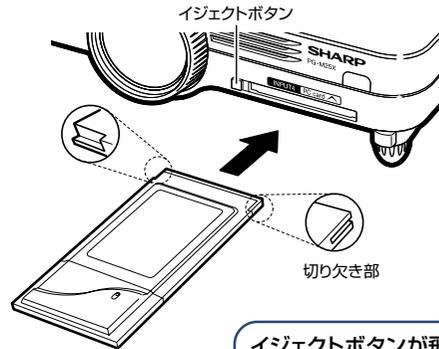
PCカードを装着する・取り外す

INPUT (入力) 4にPCカードを装着する

ワイヤレスLAN PCカードやメモリーカードなどのPCカードは右図のようにまっすぐ挿入してください。

お知らせ

- イジェクトボタンが飛び出した状態でPCカードをセットすると、使用中にカードが外れてしまう場合がありますので、イジェクトボタンを押し込んだ状態で装着してください。



イジェクトボタンが飛び出していないことを確認し、切り欠き部を図の向きにしてしっかりと装着する。PCカードには、表面と裏面があるので、注意して装着してください。表面と裏面を間違えて装着すると、PCカードのコネクタが破損する可能性があります。

PCカードを取り外す

1 カードメニューの「カード取り出し」を実行する

詳しくは68ページをご覧ください。



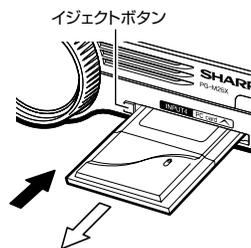
2 PCカードを取り出す

メモ

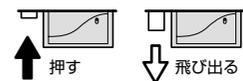
- 不安定な動作が起きないようにするため、PCカードを取り外す前にカードメニューの「カード取り出し」を実行してください。

お知らせ

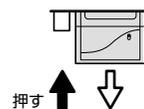
- 手順1の「カード取り出し」を実行せずにPCカードを取り出すと、メモリーカード内のデータ消失や、PCカードの故障の原因となる場合があります。
- プロジェクターを移動させるときは、必ずカードを取り出し、イジェクトボタンが飛び出していないことを確認してください。飛び出した状態で移動させると、破損の原因になることがあります。



① イジェクトボタンを押す。
イジェクトボタンが飛び出てきます。



② 再度イジェクトボタンを押す。
PCカードが少し出てきます。



PCカードの端がスロットから出たら、取り出して保管します。イジェクトボタンが飛び出した状態のときは、再度イジェクトボタンを押し、元の状態にしておいてください。

接続のしかた(つづき)

モニターを接続する

プロジェクターとモニターの両方で映像を見る

RGBモニター出力用アダプター(別売品)と市販のRGBケーブルを使って、コンピュータの出力をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。

1 RGBモニター出力用アダプター(別売品)と市販のRGBケーブルを使って、プロジェクターとモニター、コンピュータを接続する

2 メニュー「オプション1」の「モニター出力」を「使用する」に設定する

- ・「使用しない」に設定したときは、映像が暗く投映されますが、故障ではありません。くわしくは96ページをご覧ください。

メモ

- ・RGBモニター出力用アダプター(別売品)を使用したときは、必ずモニターへケーブルを接続してください。
- ・アナログRGB信号およびコンポーネント(色差)信号をモニター出力することができます。

お知らせ

- ・DVI端子に入力したアナログRGB/コンポーネント信号のみモニターへ出力されます。DVIデジタル接続した機器の信号は出力されません。

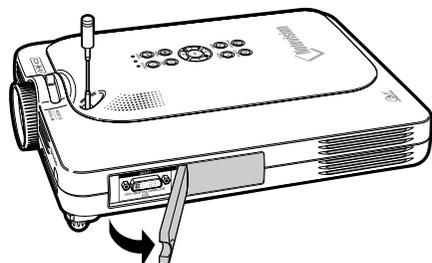
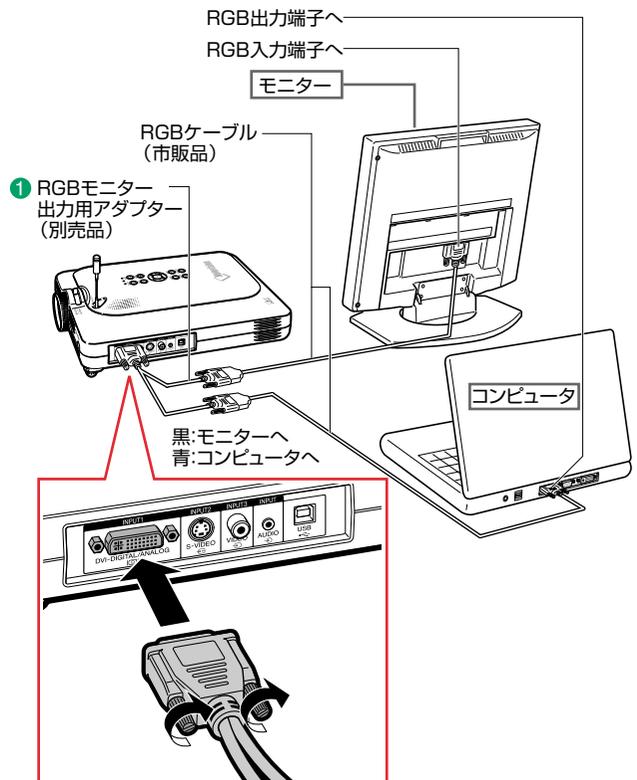
端子部カバーをつけたままINPUT(入力)1端子を使う

端子部カバーを図のように折り曲げてつくと、カバーをつけた状態でINPUT(入力)1端子を使うことができます。

別売品



RGBモニター出力用アダプター
形名: AN-A1MY (20cm)



基本操作



投映のしかた

電源を入れてから切るまで

- 操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。
- 説明は、本体での操作を例にしています。

お知らせ

- 本機の工場出荷時の画面表示言語には「英語」が設定されています。画面表示言語を「日本語」にしたいときは37ページの手順で設定してください。

1 アースコードを取り付ける

2 電源プラグをコンセントに接続する

- プロジェクターの電源表示ランプが赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。

3 (本体)または (ジャイロリモコン)を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。ランプ交換お知らせ表示の操作を始めてください。

メモ

- ランプ交換お知らせ表示はランプの状態をお知らせします。

緑色点灯: ランプ点灯中
緑色点滅: ランプ起動中
赤色点滅: ランプ交換時期
赤色点灯: ランプ交換

- 電源を切った直後に、再び電源を入れると、ランプ交換お知らせ表示が点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

システムロック (102ページ) が設定されているとき

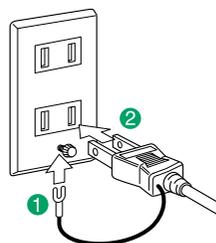
キーコード入力画面が表示されます。設定したキーコードを入力してください。

メモ

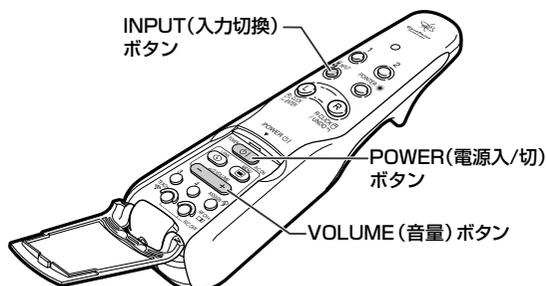
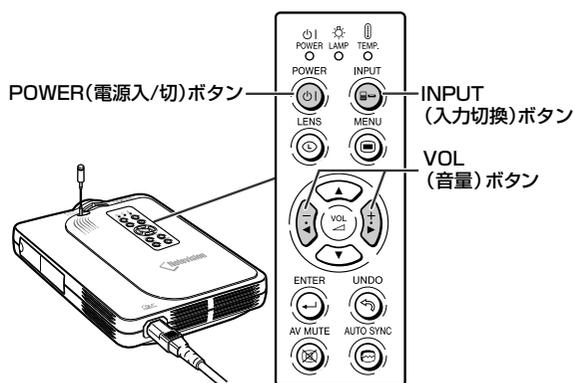
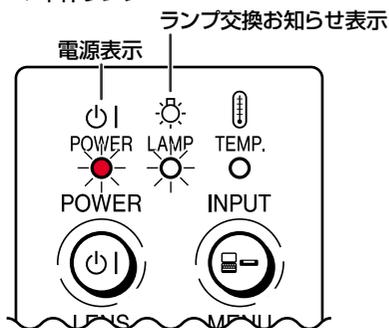
- キーコードは、本体またはジャイロリモコンで設定したそれぞれのボタンを押してください。

お知らせ

- システムロックが設定されている場合は、キーコードを入力しないと、プロジェクターは入力モードにならず、信号を接続しても入力画面が表示されません。(102ページ)



▼本体ランプ



キーコード入力画面表示



4 を押し、入力モードを選ぶ

- 押すたびに
「入力1→入力2→入力3→入力4」の順番で切り換わります。
- ジャイロリモコンの  でも操作できます。

メモ

- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。認識できない信号が入力されると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「自動入力サーチ」が「ON」のときは、信号のある入力モードが選ばれます。(90ページ)
- ジャイロリモコンの「ボタン割当」機能を使い、直接入力モードを選ぶこともできます。(41ページ)

入力モードについて

INPUT 1 (RGB/色差)	DVI-デジタル/アナログ入力端子に接続したRGB信号、または色差信号を出す機器で投映したいとき
INPUT 2 (S-Video)	S-ビデオ入力端子に接続した機器で投映したいとき
INPUT 3 (Video)	ビデオ入力端子に接続した機器で投映したいとき
INPUT 4 (PCカード)	ワイヤレスLAN PCカードやメモリーカードで投映したいとき

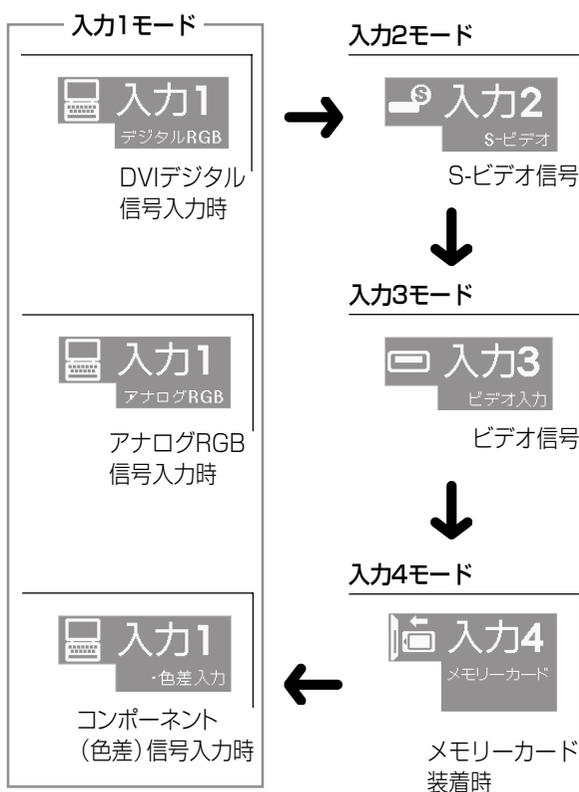
- INPUT (入力) 4にワイヤレスLAN PCカードを装着し、コンピュータと接続しているときに入力切換を行うと、通信が切断されます。

5 、 を押し、音量を調整する

メモ

- +を押すと音量が大きくなります。
-を押すと音量が小さくなります。
- ジャイロリモコンの  で調整することもできます。
- 本体の 、 やジャイロリモコンの  は、メニューやレンズ調整時、カード装着時、設定や調整を行う機能を選択しているときは、カーソルボタン(◀▶)として働きます。

▼表示画面(例)



 音量

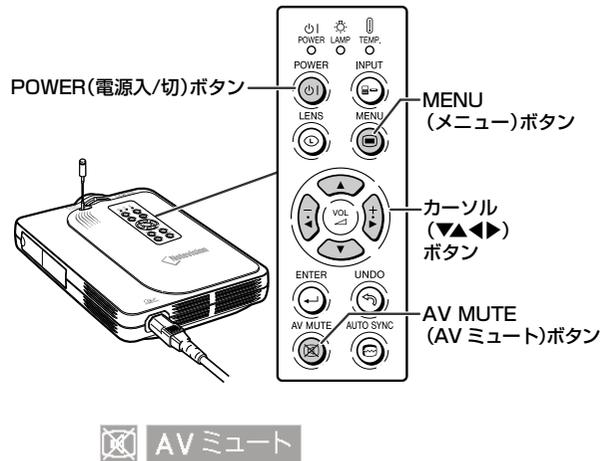


投映のしかた(つづき)

6 本体の を押し、一時的に映像と音を消す

メモ

- もう一度  を押すと、映像と音量がもとに戻ります。
- ジャイロリモコンで操作するときは「ボタン割当」機能で「AVミュート」を選びます。
(41ページ)
- ジャイロリモコンで一時的に音声だけを消したいときは、「ボタン割当」機能で「消音」を選びます。
(41ページ)



7 (本体) または (ジャイロリモコン) を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、 または を押す

メモ

- 間違って  または  を1回押したときは、そのままお待ちください。しばらくすると確認画面が消え、操作に戻ることができます。

お知らせ

- 投映中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。
- アンプ等と接続して使用している場合に電源を切るときは、接続している機器の電源を切ってからプロジェクターの電源を切ってください。

 電源オフしますか？

決定: もう一度押す 中止: 少し待つ

画面表示言語を選ぶ

- 本機は表示画面の言語として英語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語に切り換えることができます。
- 説明は、本体での操作を例にしています。

1 MENU を押す

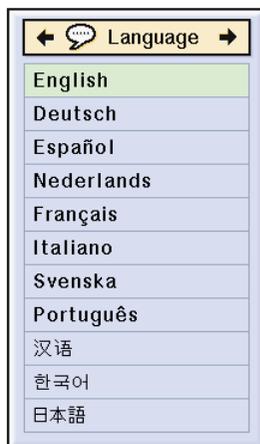
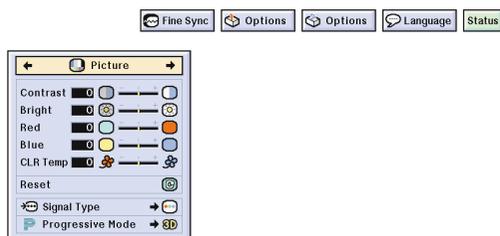
- メニュー画面が表示されます。

2 上下 または 左右 を押し「Language」を選ぶ

3 上 または 下 で「日本語」を選び、ENTER を押す

4 MENU を押す

- 表示が消え、日本語が表示されます。

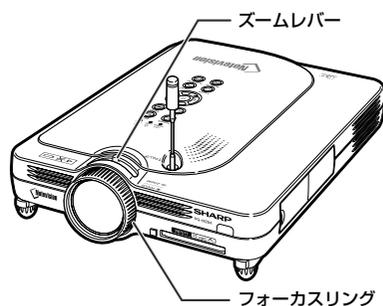


レンズ調整

フォーカス（ピント）調整やズーム操作は本体で行います。

1 フォーカス（ピント）は、フォーカスリングをまわして調整する

2 ズームは、ズームレバーを動かして操作する



画面の台形歪みを補正する (キーストーン補正)

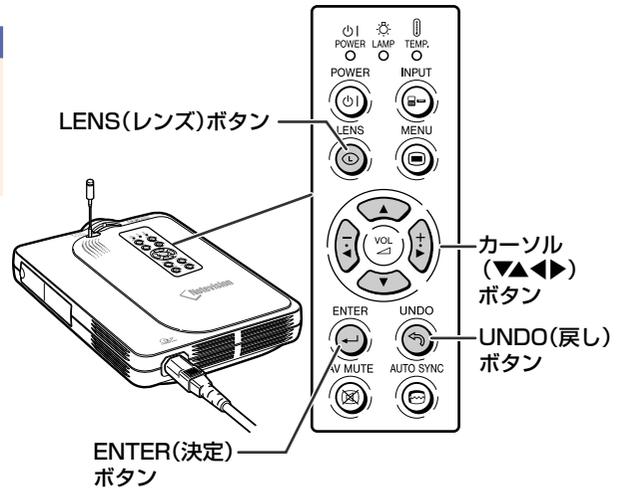
画面の台形歪みを補正する

- キーストーン (画面の台形歪み) 補正が行えます。
- 説明は、本体での操作を例にしています。

メモ

※キーストーン補正とは

- 映像をスクリーンに対し上下から角度を付けて投映すると映像が台形に歪みます。この台形歪みを補正する機能がキーストーン補正です。
- キーストーン補正で調整できる角度は±約35度までです。
- 本体は10度以上傾けないでください。



1 LENS を押す

- 標準、スクイーズ (フル) 画面、ワイド画面を表示しているとき、もう一度 LENS を押すとデジタルシフト機能が働きます。(39ページ)
- ジャイロリモコンの LENS でも設定できます。

2 上下左右の方向キーを押して調整する

- より忠実に補正したいときは、ENTER を押してテストパターンを表示させ、上下左右の方向キーを押して調整します。
- ジャイロリモコンの LENS や VOLUME ボタンでも調整が行えます。

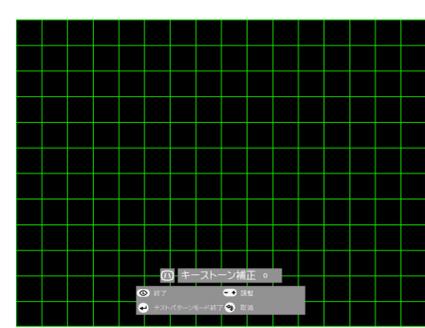
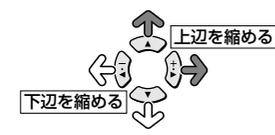
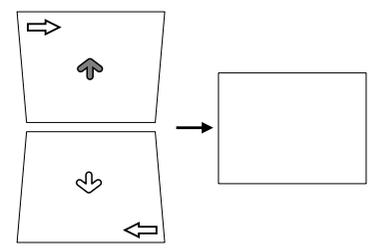
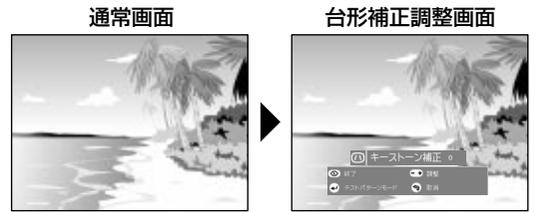
メモ

- キーストーン補正調整を取り消すときは、UNDO を押します。
- ジャイロリモコンの UNDO でも取り消すことができます。

3 LENS を押す

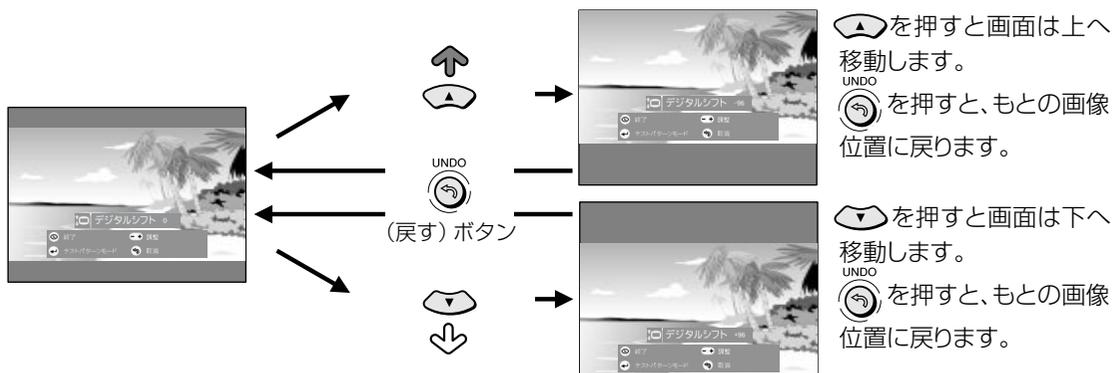
メモ

- 4:3ズーム画面で設定した内容は、そのまま16:9でも有効です。
- 調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見ることがあります。



デジタルシフト

ハイビジョンやDVDの16:9映像を投映するときは、画像全体を上下させて見やすくすることができます。



📖 お知らせ

ジャイロリモコンで操作するとき

- 画面を上下移動するときは、 ボタンを押し移動させます。
- 元の位置に戻すときは  を押します。

※デジタルシフト機能は、特定の画像を標準、スクイーズ(フル)、ワイドモードにしたときに使用できます。
くわしくは[83ページ](#)をご覧ください。

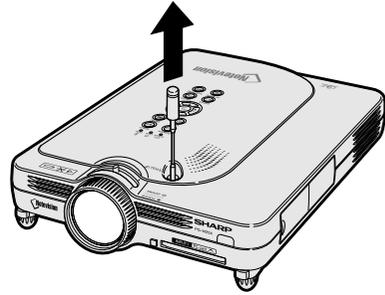
ジャイロリモコンを使う

ジャイロリモコンを使用する前に

ジャイロリモコンを使ってプロジェクターを操作するときは、プロジェクターのアンテナをいっばいに伸ばした状態にしてください。

お知らせ

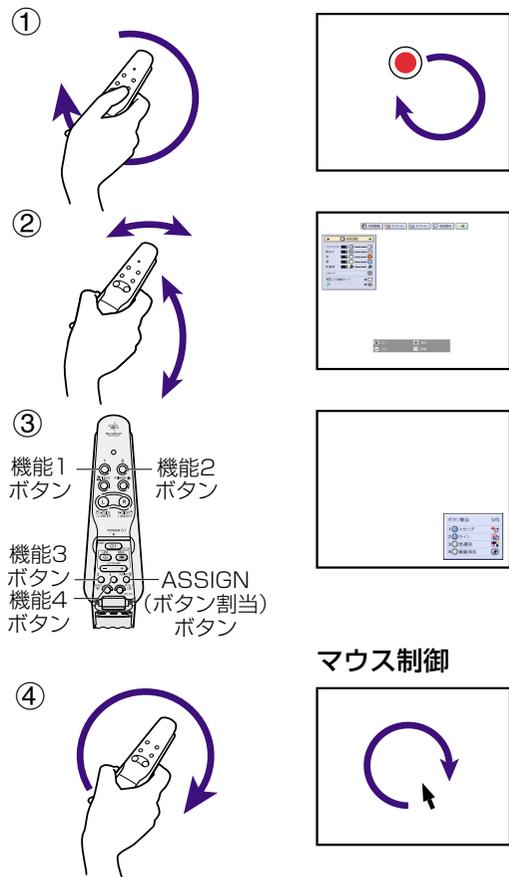
- プロジェクターの設置場所や使用条件などによって、ジャイロリモコンの使用可能な距離が短くなることがあります。
- ジャイロリモコンが働かないときは、ジャイロリモコンの  を押してください。



手首の動きで制御する (OSD表示メニューの選択、プレゼンテーションツールの操作)

ジャイロリモコンを持って手首を動かすと、ジャイロリモコンは手首の動きを感知します。その結果、次のような制御が行えます。操作については19ページもご覧ください。

- ① 画面上のポインターを自由に移動できます。
(44ページ)
- ② メニューの選択ができます。
(54, 55 ページ)
- ③ 5つのボタン割当機能グループからボタン割当機能を選び、機能1~4ボタンで割り当てられた機能を選びます。
ASSIGN  を押すごとに5つの機能グループが切り換わります。(41ページ)
- ④ 付属のUSBケーブルでプロジェクターとコンピュータを接続すると、コンピュータのマウス制御をジャイロリモコンで行うことができます。(47ページ)

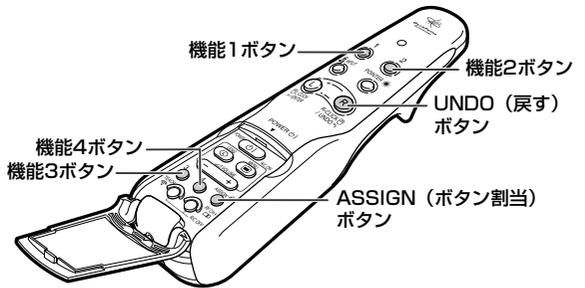


ボタン割当機能

- ジャイロリモコンで操作するボタン割当機能は5つの機能グループ(1/5~5/5)とそれぞれの項目の中に4つの機能ボタン(機能1~機能4)があります。
- 機能グループを選び割り当てられた機能ボタンを選択することで、プロジェクターの操作が行えます。

1 ジャイロリモコンの **ASSIGN** を押す

- 押すごとに、「1/5」~「5/5」までボタン割当の機能グループが切り換わります。



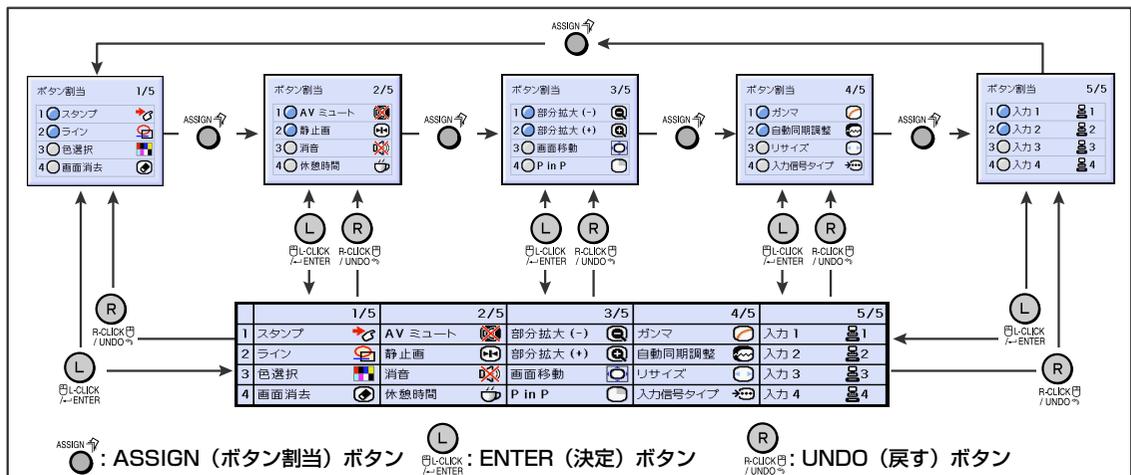
機能	ボタン割当	1/5
機能1ボタン	1	スタンプ
機能2ボタン	2	ライン
機能3ボタン	3	色選択
機能4ボタン	4	画面消去

2 **R** を押す。

- ボタン割当の機能グループ表示が消えます。

ボタン割当の機能グループ(一覧)表示の切り換えについて

- **L** で一覧表示にすることもできます。



ジャイロリモコンを使う(つづき)

ジャイロリモコンのチャンネルを設定(確認)する

ジャイロリモコンは、電波でプロジェクターと通信するため、リモコンにあらかじめ8つのチャンネルが設けられています。

複数のジャイロリモコンを使用するときなど、同じチャンネルの電波が出力されて干渉しないように、使用するプロジェクターにそれぞれ違ったジャイロリモコンのチャンネルを登録することができます。

1 ジャイロリモコンの を押す

- 現在選択されているチャンネル番号がスクリーン右下に表示されます。
- チャンネル番号は、ジャイロリモコンのLEDランプの点滅回数で確認することもできます。たとえばRFチャンネルが「3」の場合、3回ランプが点滅します。

チャンネル選択 : 3

2 を1秒間以上押す

- 押すごとにチャンネル番号が1~8の順番で切り換わります。8の次は1に戻ります。
- 切り換わったチャンネルがスクリーン右下に表示されます。

ジャイロリモコンをプロジェクターに登録する

1つのジャイロリモコンで複数のプロジェクターを操作、あるいは1台のプロジェクターを複数のジャイロリモコンで操作するには、プロジェクターにジャイロリモコンを登録する必要があります。

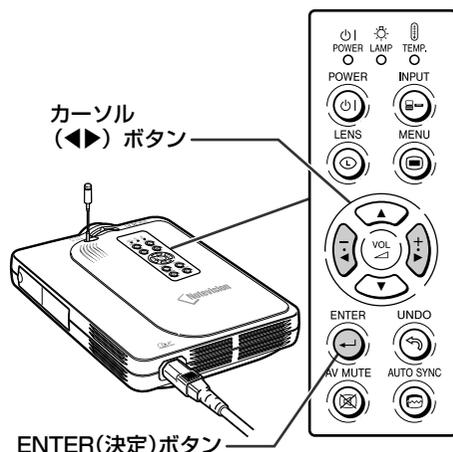
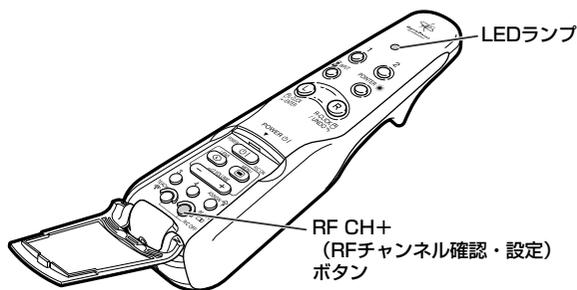
お知らせ

- ジャイロリモコンを登録するときは、本機の電源を入れた後、1分以上待ってから行ってください。
- ジャイロリモコンをケーブル接続しているときは、リモコンケーブルをはずしてから行ってください。

1 オプションメニュー2の「リモコン登録」を選び、 を押す

- パスワードが設定されているときは、パスワード入力欄が表示されます。

2 「リモコン登録モードに入りますか?」のメッセージで本体の または で「はい」を選び、 を押す



リモコン登録モードに入りますか?
(リモコンをワイヤード接続している際には、プロジェクター側のプラグを外してからENTERボタンを押してください。)

はい

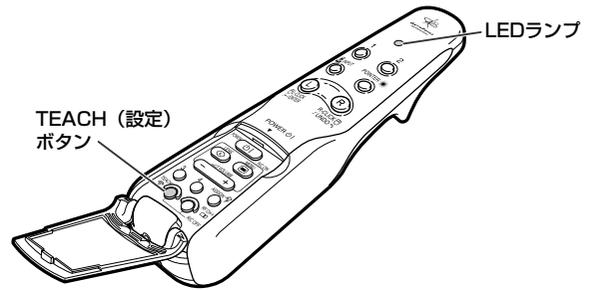
いいえ

3 登録したいジャイロリモコンの を押す

- ジャイロリモコンのLEDランプが点滅します。
- スクリーン下に数秒間「登録中」と表示され、登録が行われます。登録が完了すると「登録モード」と表示されます。

メモ

- 登録モードはなにも操作しないで5分以上経過すると終了します。



4 を押す

- 登録モードが終了します。

登録中

複数のジャイロリモコンで1台のプロジェクターを操作する場合の登録

最大8つのジャイロリモコンが登録できます。

1 登録したいリモコンのRFチャンネルを同じチャンネルに設定する

- 設定のしかたは42ページをご覧ください。

2 「ジャイロリモコンをプロジェクターに登録する」の手順3で、登録するジャイロリモコンの を押す

- 連続して別のジャイロリモコンを登録するときは、1台ずつ登録が完了して「登録モード」が表示されてから行ってください。
- 8つの登録が行われると、自動的に登録モードを終了します。

3 登録するジャイロリモコンが8つ以下の場合は、を押す

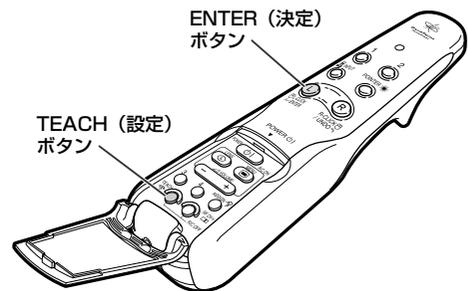
- 登録モードを終了します。

メモ

- 複数のジャイロリモコンで本体を操作するため、ジャイロリモコンを購入するときはお買い上げの販売店にご相談ください。

部品コード: CRMCG1654DE01

流通コード: 006 638 0171



登録: リモコンのTEACHを押す

中止: ENTERを押す

プレゼンテーションツールを使う

本機は以下のプレゼンテーションツールを備えています。プレゼンテーションでキーポイントを強調するとき便利です。

- ・ポインター機能
- ・スタンプ機能
- ・ライン機能

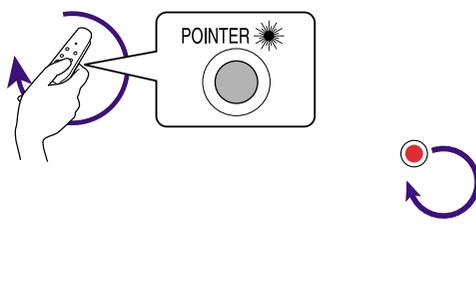
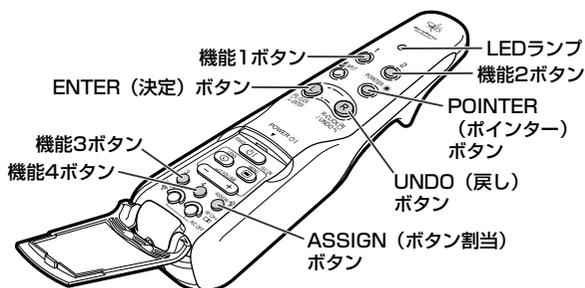
ポインターを使う

1 ジャイロリモコンの を押しながら動かす

- ・ジャイロリモコンの動きに合わせてポインターが移動します。
- ・  を離すとポインターが消えます。

メモ

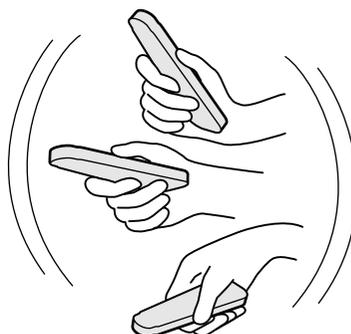
- ・複数台設置してジャイロリモコンを操作しているとき、ポインターなどの位置がそれぞれのプロジェクターで多少ズレますが故障ではありません。



ジャイロリモコンの操作のしかた

お知らせ

- ・ジャイロリモコンは、ジャイロリモコン本体の角度変化によって動作情報を発信します。手首を回すように操作すると、スムーズに操作することができます。
- ・ジャイロリモコンの動きは、ジャイロリモコン裏側の  を押している間発信されます。
- ・  を押さないと、ジャイロリモコンの動きは発信されません。
- ・  を連続して2回押すと、ジャイロリモコンの動きは発信され続けます。もう一度  を押すと、元の状態にもどります。



スタンプ機能を使う

1 ジャイロリモコンの ASSIGN を押し、「ボタン割当1/5」を選択する

- ・スクリーン右下に割当機能が表示されます。

ボタン割当		1/5
1	スタンプ	
2	ライン	
3	色選択	
4	画面消去	

2 ジャイロリモコンの ¹ を押す

- ・¹ を押すごとにスタンプの種類が右のように変わります。



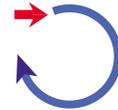
3 ジャイロリモコンの ³ を押し、色を選ぶ

- ・³ を押すごとにスタンプの色が右のように変わります。



4 ジャイロリモコンの GYRO ACTIVE を押しながらジャイロリモコンを動かす

- ・画面上でスタンプが移動します。



5 スタンプしたい場所で GYRO ACTIVE を離し L を押す

L

EL-CLICK
/->ENTER

- ・その場にスタンプが固定して表示されます。

メモ

- ・別のスタンプを表示させる場合は、手順2～5の操作を繰り返します。
- ・R を押すと、直前のスタンプが消えます。
- ・O を押すと全てのスタンプが消えます。

メモ

GYRO ACTIVE

- ・GYRO ACTIVE が押されていないときは、ジャイロリモコンを動かしても、機能しません。

プレゼンテーションツールを使う(つづき)

ライン機能を使う

ジャイロリモコンを動かして四角形、楕円、水平、垂直、斜線、自由曲線を描くことができます。

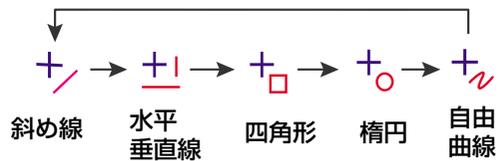
1 ジャイロリモコンの を押し、「ボタン割当1/5」を選択する

・スクリーン右下に割当機能が表示されます。



2 ジャイロリモコンの を押す

・ を押すごとに、描ける種類が右のように変わります。

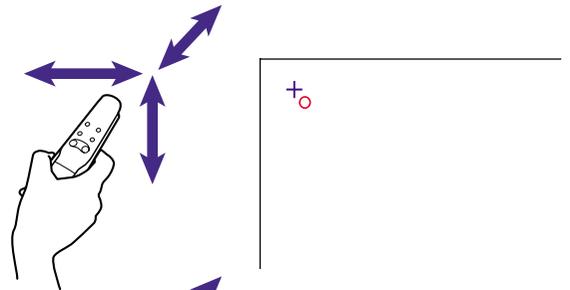


3 ジャイロリモコンの を押し、色を選ぶ

・ を押すごとに、ラインの色が右のように変わります。



4 ジャイロリモコンの を押しながら、開始点までカーソルを動かす

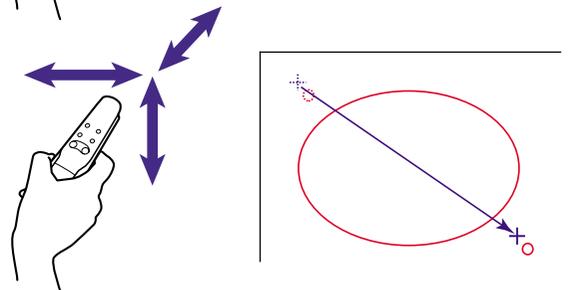


5 ジャイロリモコンの を離し、 を押す

 L-CLICK / ENTER

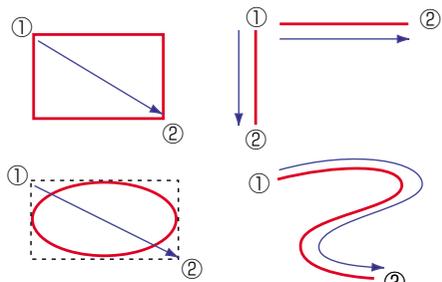
6 ジャイロリモコンの を押しながら、終了点までカーソルを動かし、 を押す

 L-CLICK / ENTER



メモ

- ・別の図形や線を描く場合は、手順2～6の操作を繰り返します。
- ・ を押すと、直前に描いた図形や線、すべての図形曲線は削除されます。
- ・ を押すと描いた図形や線はすべて消えます。



①：開始点 ②：終点 →：移動

ジャイロリモコンのワイヤレスマウス機能を使う

スクリーンに投映されたコンピュータ画面のマウス操作がジャイロリモコンで行えます。

ジャイロリモコンをワイヤレスマウスとして使用する

1 付属のUSBケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

メモ

• この機能は、Microsoft Windows OSとMac OSでのみ働きます。ただし、次のバージョンの場合は、USBをサポートしていないので使用できません。

Windows 95以前
Windows NT4.0以前
Mac OS 8.5以前

2 **GYRO ACTIVE** を押しながら、ジャイロリモコンを動かす

• LEDランプが点灯します。

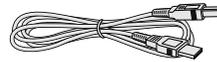
3 **L** または **R** を押す

• コンピュータに接続のマウスの左ボタン、右ボタンと同じ働きをします。
• クリックボタンがひとつのマウス (Macintoshなど) の場合は、**L** と **R** の両方が同じ働きをします。

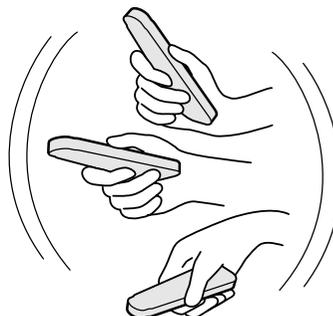
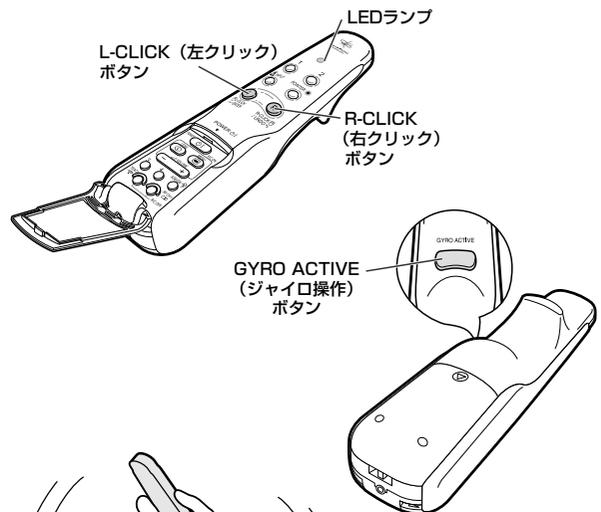
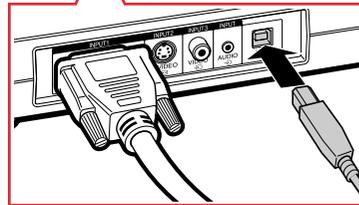
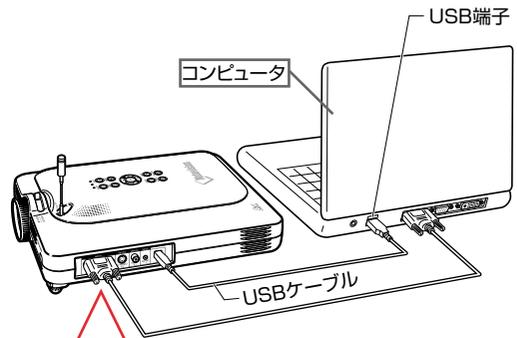
メモ

• ジャイロリモコンを操作するときは、手首を回すように動かすと、スムーズに操作することができます。

付属品



USBケーブル (1.8m)



ジャイロリモコンのワイヤレスマウス機能を使う(つづき)

ジャイロリモコンをケーブル接続する

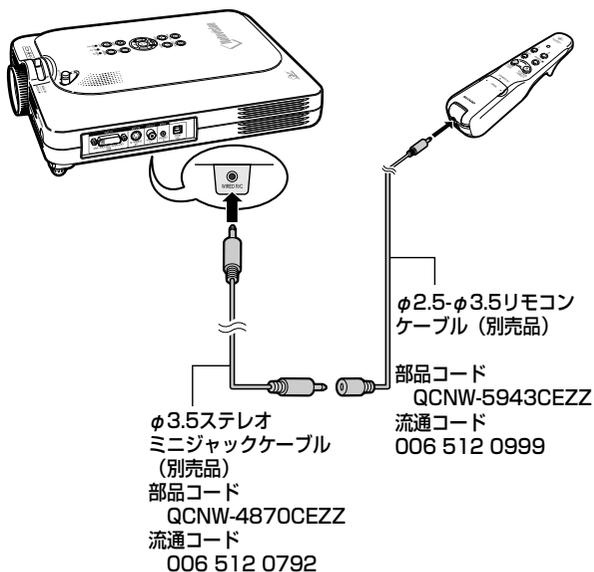
電波の届かない場所で使用するときには、ジャイロリモコンとプロジェクターをケーブルで接続してください。

メモ

- ケーブル接続時、φ2.5-φ3.5リモコンケーブルのジャイロリモコン側が抜けるとジャイロリモコンの電源供給が止まります。再度使用するときには、を押してください。

お知らせ

- 本機に付属のジャイロリモコンは、電波でプロジェクターと交信しますので、海外では使用できません。誤って使用されますと、ご使用になる国の電波取締の法規制により、罰せられる場合があります。海外で使用される場合は、必ずケーブル接続でご使用ください。



ジャイロリモコンの電源を切る

電源を切る

警告

- ⚠️ 航空機や病院の中など、電波の使用が禁止されている場所では、ジャイロリモコンの電源を切ってください。

プロジェクターを使用しないときは、プロジェクターが勝手に動作することを防ぐため、ジャイロリモコンの電源を切ってください。ジャイロリモコンにセットされている乾電池の消耗を防ぐことにもなります。

1 ジャイロリモコンの と を同時に2秒間以上押す

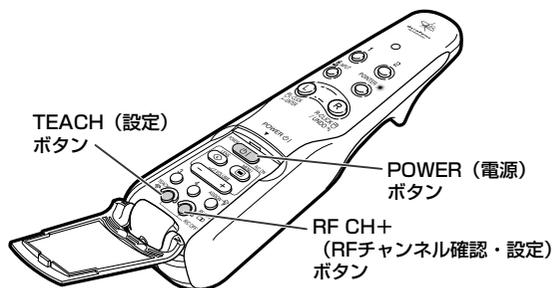
- ジャイロリモコンのLEDランプが3回点滅後、電源が切れます。以降は、 以外のボタンを押しても電波は出ません。

2 電源を入れるときは、ジャイロリモコンの を押す

メモ

ジャイロリモコンのスリープ機能について

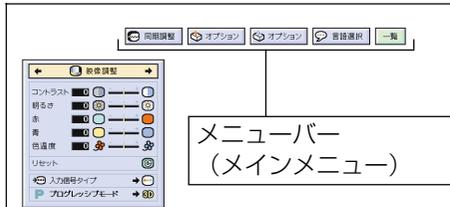
- ジャイロリモコンは、乾電池の消耗を防ぐため、約5分以上操作しないと、自動的にスリープモードになります。リモコン操作ができないときは、一度ジャイロリモコンの  を押してから操作してください。



メニューの使いかた

このプロジェクターには、画像の調整や、いろいろな設置に対応するため3つのメニューを用意しています。メニューの操作は次の手順に従ってプロジェクター本体またはジャイロリモコンで行います。

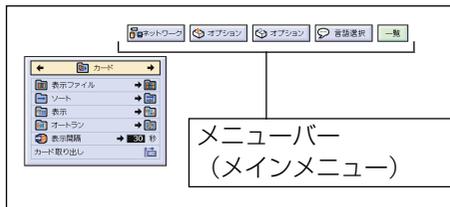
入力1/RGBモードのメニュー画面例



入力2/入力3モードのメニュー画面例



入力4モードのメニュー画面例



本体でメニューの選択をする (調整)

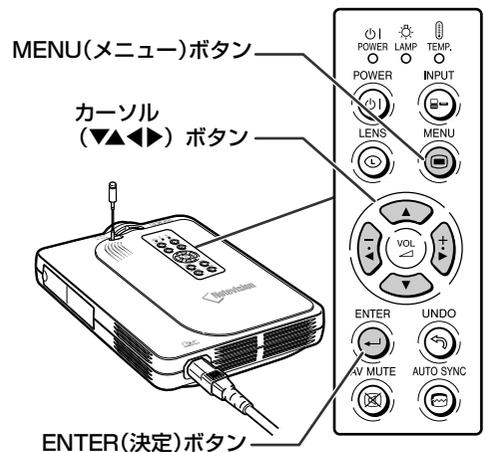
1

MENU を押す

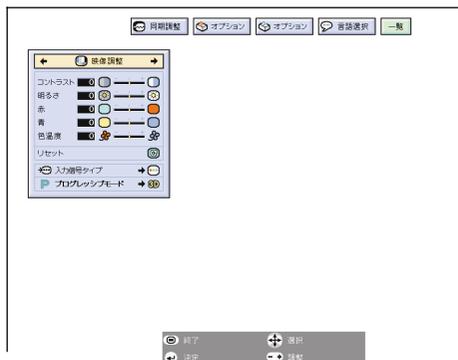
- メニュー画面が表示されます。

メモ

- 入力1、2、3モードでは「映像調整」メニュー画面が、入力4モードでは「カード」メニュー画面が表示されます。
- 右下図は入力1モードの場合の表示画面です。



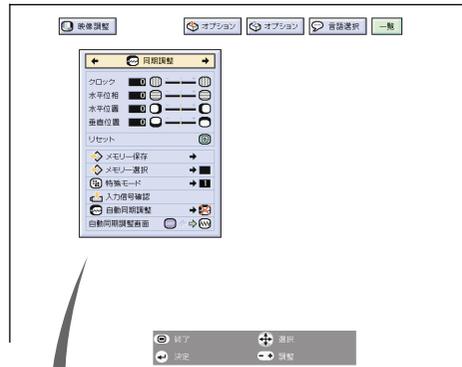
▼メニュー画面



2 (←) または (→) を押し、調整するメニューを選ぶ

メモ

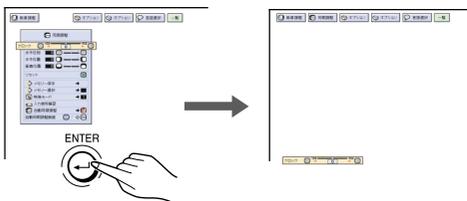
- メニューの詳細については56～58ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。
- ジャイロリモコンでメニュー操作をするときは、54ページをご覧ください。



3 (▲) または (▼) を押し、調整する項目を選ぶ

メモ

- 調整項目をひとつだけ表示するには、調整する項目を選んだ後でENTERを押してください。メニューバーと、選んだ調整項目だけが表示されます。この表示の状態で(▲)または(▼)を押すと次の項目(クロックの次は水平位相)が表示されます。



- UNDOを押すと、前の画面に戻ります。



4 (←) または (→) を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が記憶されます。



5 MENUを押す

- 表示が消えます。

メニューの使いかた(つづき)

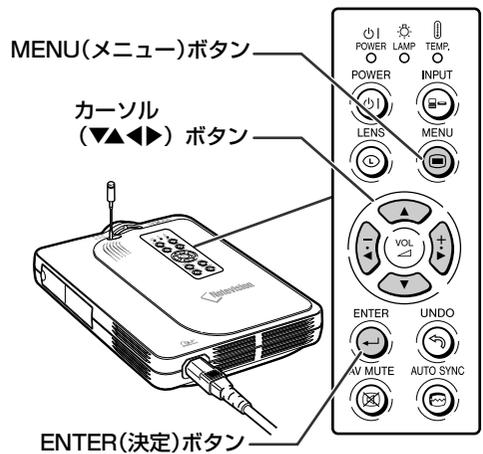
本体でメニューの選択をする(設定)

1 MENU を押す

- メニュー画面が表示されます。

メモ

- 入力1、2、3モードでは「映像調整」メニュー画面が、入力4モードでは「カード」メニュー画面が表示されます。
- 右下図は入力1モードの場合の表示画面です。



2 上下 または 左右 を押し、調整するメニューを選ぶ

メモ

- メニューの詳細については56~58ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。
- ジャイロリモコンでメニュー操作をするときは、55ページをご覧ください。

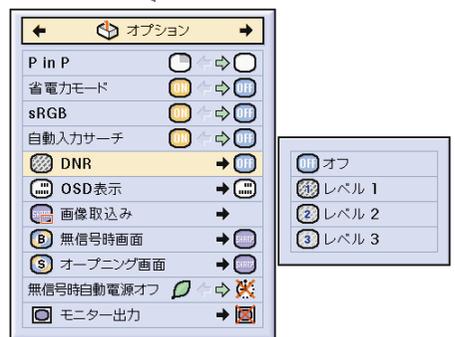
▼メニュー画面



3 上 または 下 を押し、設定する項目を選ぶ

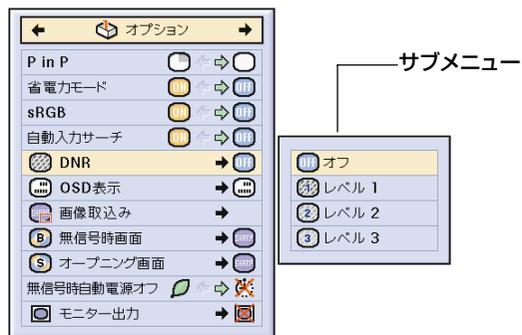
メモ

- UNDO を押すと、前の画面に戻ります。
- メニューによっては、上下 でアイコンを選んで設定します。

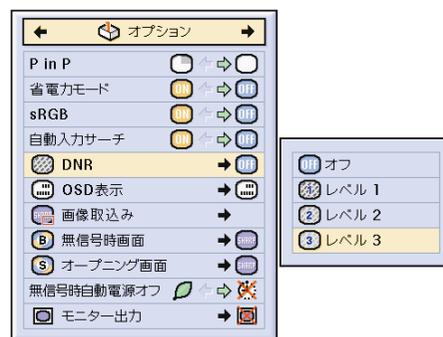


4 を押す

- カーソルがサブメニューに移ります。



5 または を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ



6 を押す

- 選んだ項目が設定され、内容が記憶されません。

メモ

- メニューの項目によっては、設定事項の確認画面が表示されます。

項目を設定するときは  または  で「はい」または「OK」を選び  を押します。

7 を押す

- 表示が消えます。

メニューの使いかた(つづき)

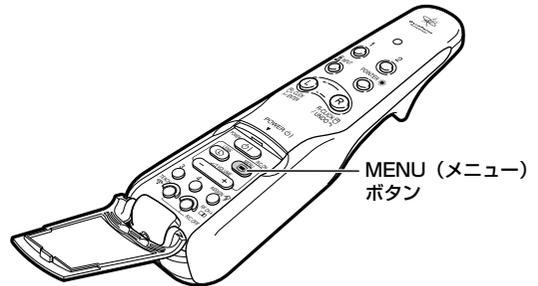
ジャイロリモコンでメニューの 選択をする(調整)

1 MENU を押す

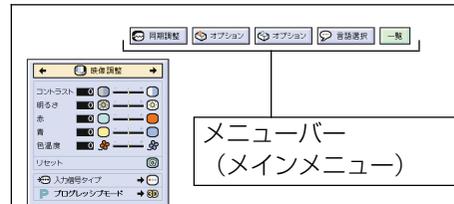
- メニュー画面が表示されます。

メモ

- 入力1、2、3モードでは「映像調整」メニュー画面が、入力4モードでは「カード」メニュー画面が表示されます。
- 右図は入力1モードの場合の表示画面です。



入力1モードのメニュー画面例



2 ① GYRO ACTIVE を押しながらジャイロリモコンを左右に動かし、メニューを選択する

メモ

- GYRO ACTIVE を押さないと、ジャイロリモコンを動かしても機能しません。
- GYRO ACTIVE を続けて2回押すと、GYRO ACTIVE を押し続けた状態と同じ状態になります。(LEDランプが点灯し続けます)。この状態のときにもう一度 GYRO ACTIVE を押すと解除され、LEDランプは消灯します。
- メニューバー上で GYRO ACTIVE を押しても、メニューを選択することができます。

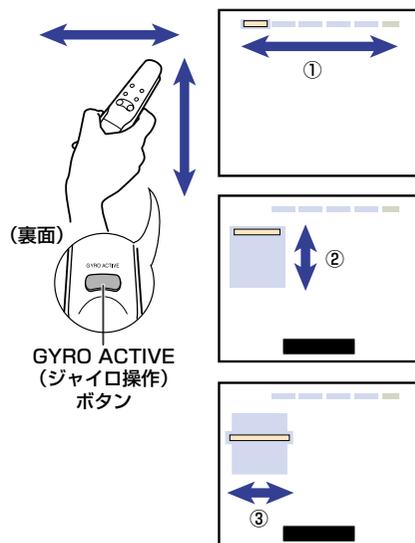


② GYRO ACTIVE を押しながらジャイロリモコンを上下に動かし、項目を選択する

③ GYRO ACTIVE を押しながらジャイロリモコンを左右に動かし、選択した項目の調整(設定)をする

メモ

- 調整した内容が記憶されます。
- GYRO ACTIVE を押しても微調整することができます。



3 MENU を押す

- 表示が消えます。

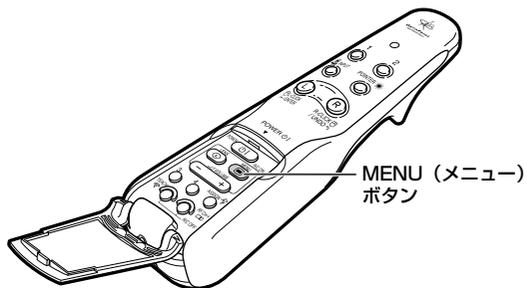
ジャイロリモコンでメニューの 選択をする(設定)

1 MENU を押す

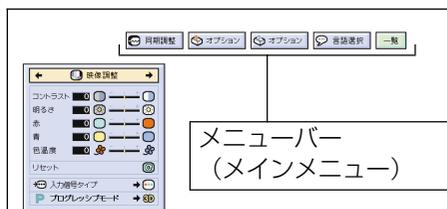
- メニュー画面が表示されます。

メモ

- 入力1、2、3モードでは「映像調整」メニュー画面が、入力4モードでは「カード」メニュー画面が表示されます。
- 右図は入力1モードの場合の表示画面です。



入力1モードのメニュー画面例



2 ① GYRO ACTIVE を押しながらジャイロリモコンを左右に動かし、メニューを選択する

メモ

- GYRO ACTIVE を押さないと、ジャイロリモコンを動かしても機能しません。
- GYRO ACTIVE を続けて2回押すと、GYRO ACTIVE を押し続けた状態と同じ状態になります。(LEDランプが点灯し続けます)。この状態のときにもう一度 GYRO ACTIVE を押すと解除され、LEDランプは消灯します。
- メニューバー上で GYRO ACTIVE を押しても、メニューを選択することができます。



② GYRO ACTIVE を押しながらジャイロリモコンを上下に動かし、項目を選択する

③ GYRO ACTIVE を押しながらジャイロリモコンを右に動かす

- カーソルがサブメニューに移ります。

④ GYRO ACTIVE を押しながらジャイロリモコンを上下に動かし、サブメニューの項目を選択し、L を押す

- 設定した内容が記憶されます。



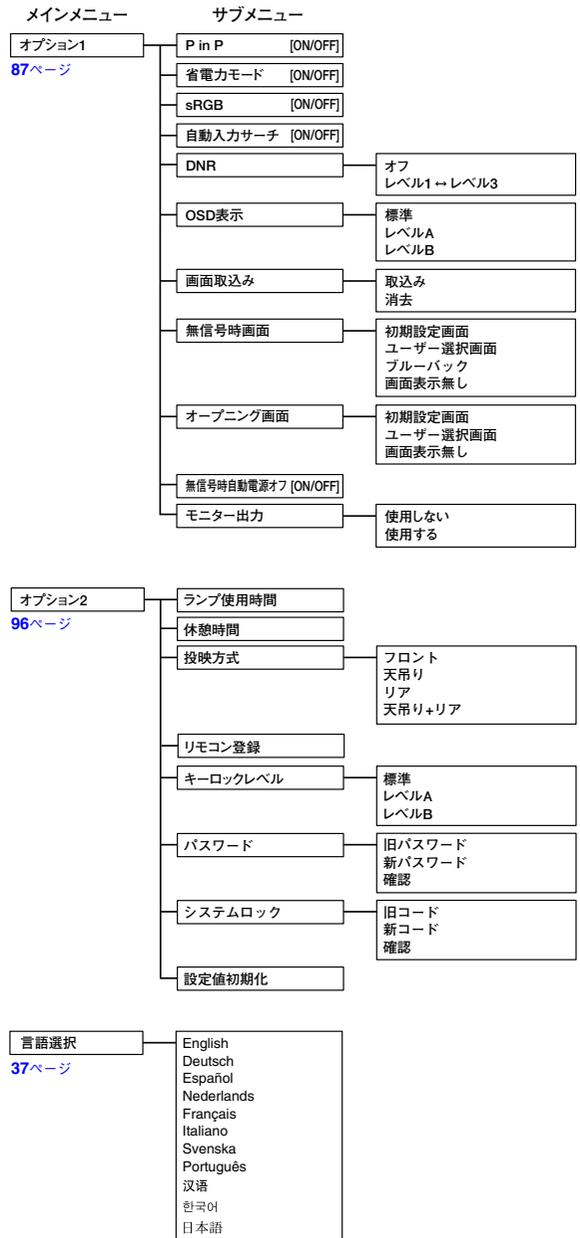
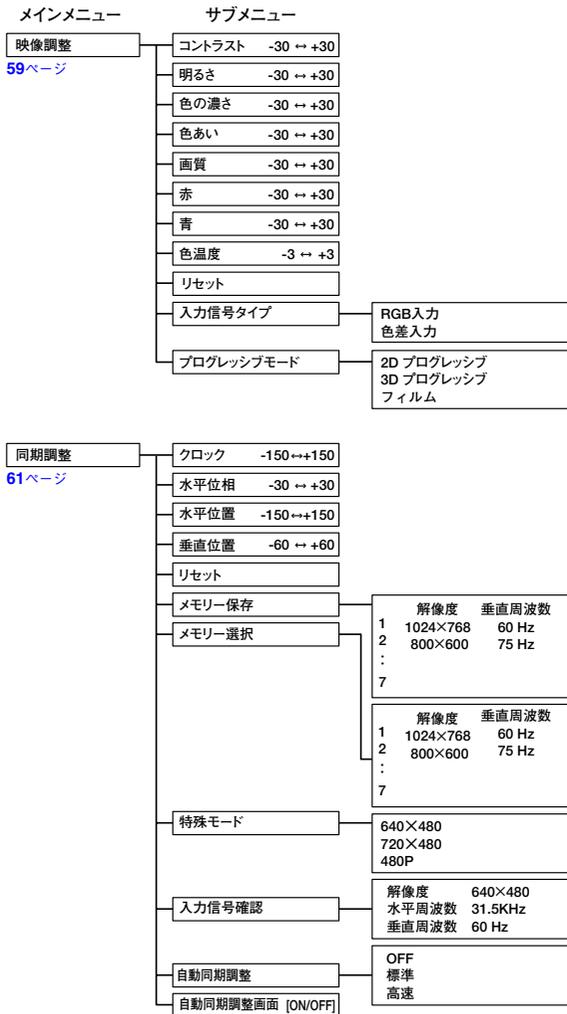
3 MENU を押す

- 表示が消えます。

メニュー表示内容一覧

プロジェクターで設定できる項目を示します。

■入力1モードのとき

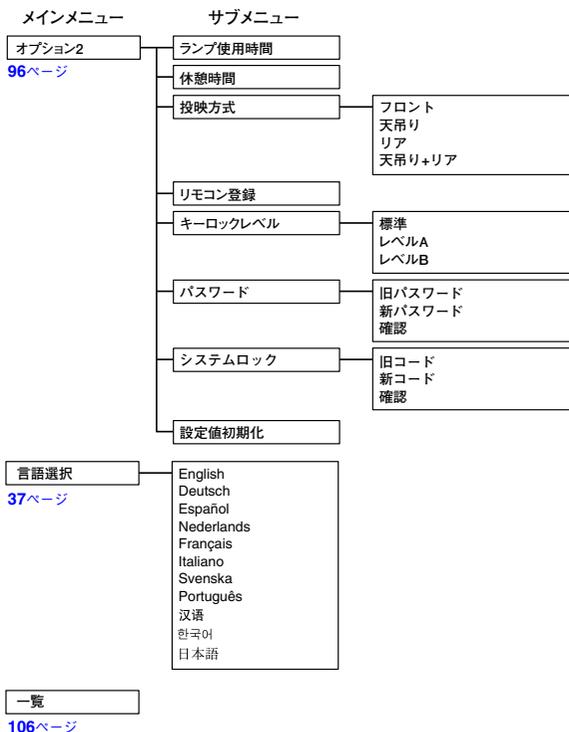
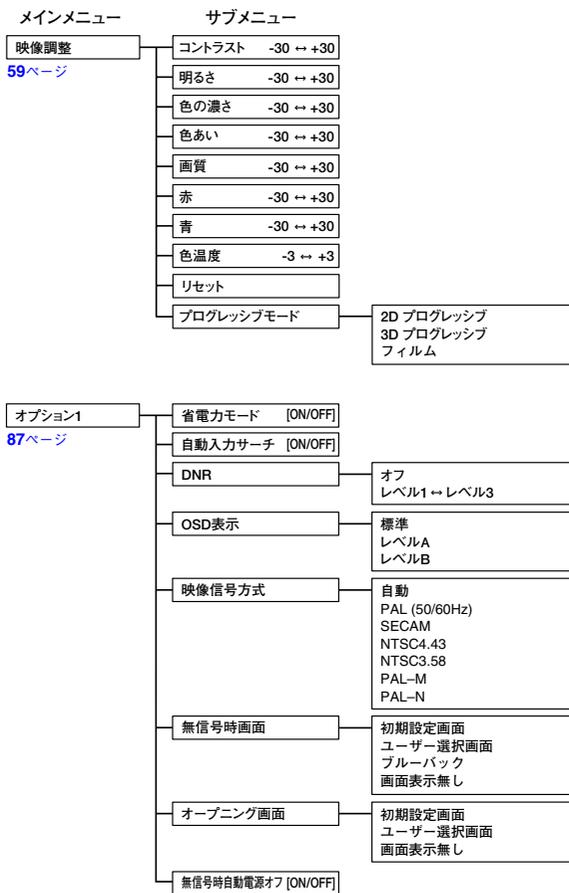


一覧
106ページ



- チャートに示された解像度、垂直周波数、水平周波数の値は例として表示しています。
- INPUT (入力) 1にDVIデジタル信号を入力したとき、「映像調整」では「色温度」、「赤」、「青」だけが調整でき、「同期調整」では、「入力信号確認」、「自動同期調整」、「自動同期調整画面」だけが実行できます。
- 入力1モードの「映像調整」で「色の濃さ」「色あい」「画質」は入力信号タイプが「色差入力」に設定されているとき表示される調整項目です。
- オプション2の「設定値初期化」を選んだとき、初期化されない項目もあります。詳しくは105ページをご覧ください。

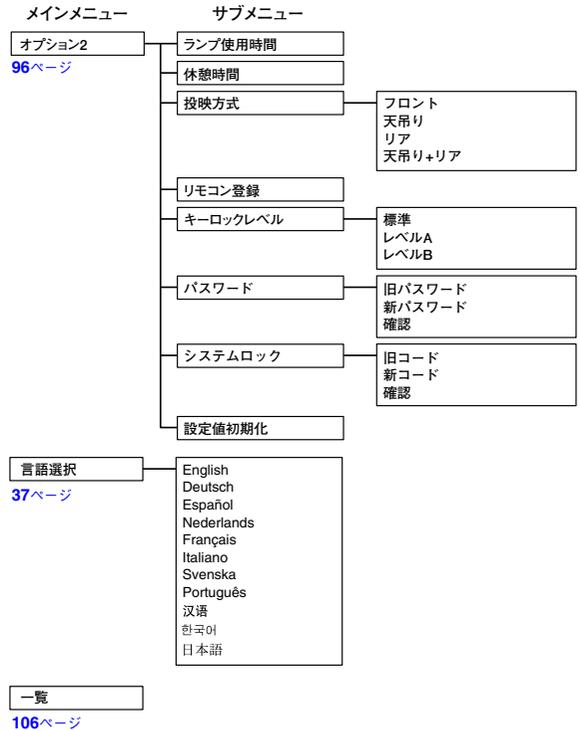
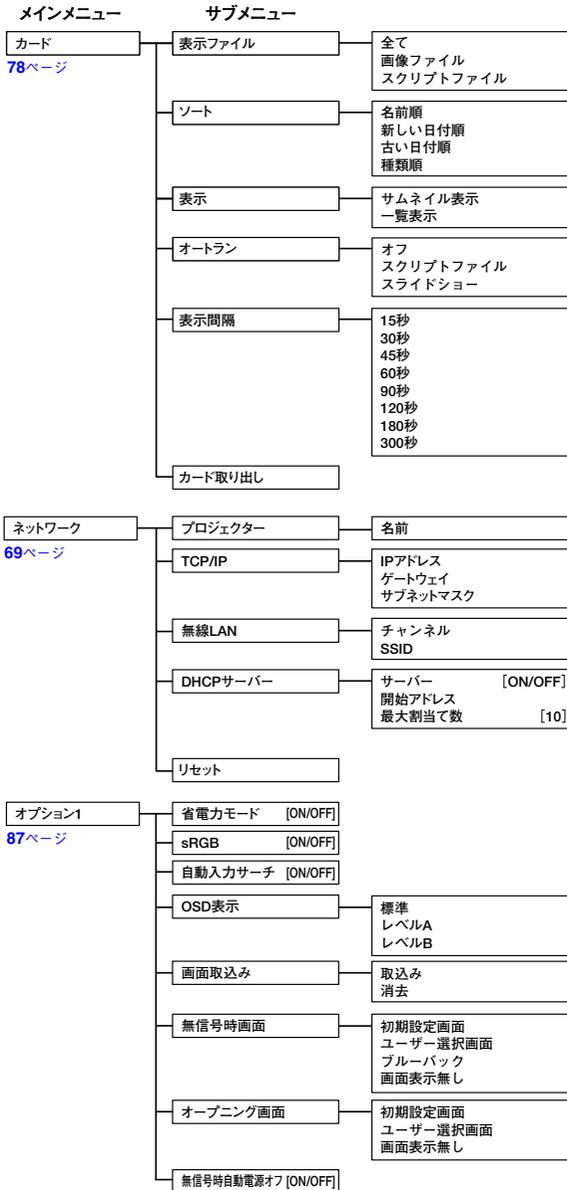
■入力2/入力3モードのとき



メニュー表示内容一覧(つづき)

プロジェクターで設定できる項目を示します。

■入力4モードのとき



メモ

- オプション2の「設定値初期化」を選んだとき、初期化されない項目もあります。くわしくは、[105ページ](#)をご覧ください。

映像を調整する

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

調整項目	状態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	コントラストが強いとき、または弱いとき	弱くする	強くする
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる	濃い色になる
色あい	色あいを調整したいとき	紫がかかる	緑がかかる
画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする	くっきりする
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	冷たい感じの色にしたいとき、または温かい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調



見やすい映像に調整する

メニュー画面で映像調整メニューを選び調整する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

メモ

- INPUT (入力) 1 を選んでいるとき、「入力信号タイプ」が「RGB入力」のときは「色の濃さ」「色あい」「画質」は、表示されません。
- 映像調整の内容はそれぞれの入力モードで別々に記憶されます。
- INPUT (入力) 1 の入力信号タイプがコンポーネント (色差) 入力に設定されている場合の「画質」調整は、525I、525P、750P、1125I の信号が入力されているときに行えます。
- オプションメニュー1の「sRGB」を「ON (入)」に設定しているときは、「赤」「青」「色温度」は調整できません。
- 設定を工場出荷時の状態に戻りたいときは、「リセット」を選び  を押します。



映像を調整する(つづき)

信号の種類を設定する

INPUT(入力)1端子に接続した機器の入力信号に合わせてRGBかコンポーネント(色差)を選択します。

メニュー画面で映像調整メニューの「入力信号タイプ」を選び設定する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

● **RGB入力**

RGB信号を入力したときに設定します。

● **色差入力**

コンポーネント(色差)信号を入力したときに設定します。



プログレッシブモードを設定する

映像に合わせて、最適なプログレッシブモードを使うことでビデオ表示がよりスムーズになります。

メニュー画面で映像調整メニューの「プログレッシブモード」を選び設定する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

● **2D** 2Dプログレッシブ

スポーツやアクション映画など、動きの速い映像を表示するのに適しています。

● **3D** 3Dプログレッシブ

ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を表示するのに適しています。

● **フィルム**

フィルムイメージ※、映像ソフトウェアを再生するのに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトウェアなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

- 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
- プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。



コンピュータの映像を調整する

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる



自動同期調整がOFFのとき

自動同期調整がOFFのときにタイルパターン・縦縞模様などを投映すると、チラツキや縦縞が出るなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

メニュー画面で同期調整メニューの「クロック」、「水平位相」、「水平位置」、「垂直位置」を選び調整する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。



メモ

AUTO SYNC

- コンピュータの映像は (AUTO SYNC) を使うと、簡単に調整できます。くわしくは**63ページ**をご覧ください。



画面調整の内容を登録する

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。

メニュー画面で同期調整メニューの「メモリー保存」を選び登録する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。



	解像度	垂直周波数
1	1024 X 768	60 Hz
2		
3		
4		
5		
6		
7		

つづく

コンピュータの映像を調整する(つづき)

登録した調整内容を読み出す

プロジェクターに登録した画面調整の内容を読み出して設定することができます。

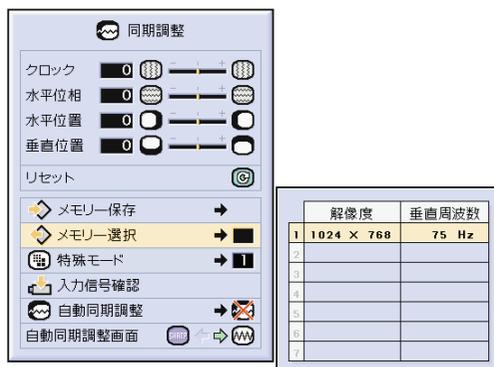
メニュー画面で同期調整メニューの「メモリー選択」を選ぶ

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- メモリー番号を設定しなければ、解像度と垂直周波数は表示されません。
- 「メモリー選択」項目ですでに登録済みの調整内容を読み出すと、プロジェクターを登録済みの調整内容に設定できます。



特殊モード調整

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

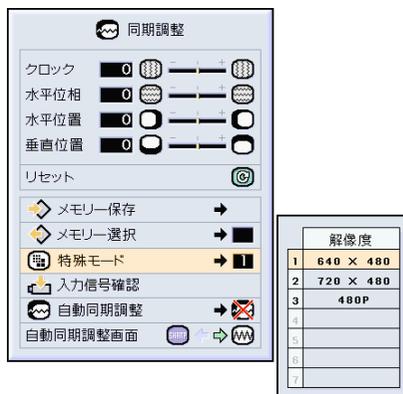
メニュー画面で同期調整メニューの「特殊モード」を選び解像度を設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させないでください。(チラツキがおこり、画面が見にくくなります。)
- 525P(プログレッシブ)出力のDVDプレーヤーや、デジタルビデオを接続したときは、480Pを選択してください。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、**63ページ**の「入力信号情報を表示する」をご覧ください。



入力信号情報を表示する

この機能を使って、現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

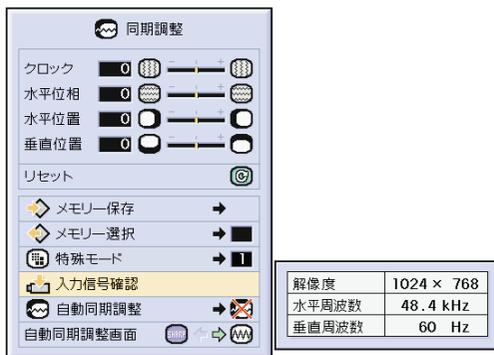
メニュー画面で同期調整メニューの「入力信号確認」を選び確認する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- 本機はDVDプレーヤーやデジタルビデオなど、AV機器から入力される信号に対し、有効走査線数を表示します。表示は右のようになります。



入力信号と本機の表示

入力信号に対し、本機は有効走査線数を表示します。

入力信号	本機の表示
525I	—
525P	480P
750P	720P
1125I	1080I

自動同期調整

コンピュータの画面を自動調整します。

メニュー画面で同期調整メニューの「自動同期調整」を選び設定する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

"標準"または"高速"に設定すると

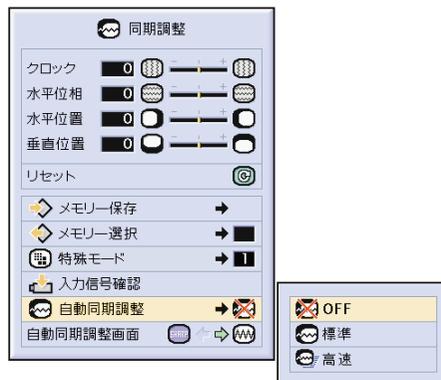
- プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
- "標準"は"高速"に比べて、正確に同期調整を行います。このため、同期調整処理の時間が若干長くなります。

同期調整を手動で行うとき

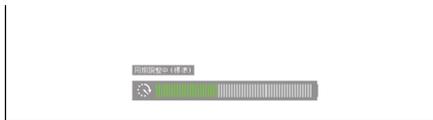
- 自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で同期調整をしてください。(61ページをご覧ください。)
- プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

本体の で調整するとき

- 自動同期調整を「高速」または「OFF」に設定しているとき を押し、高速モードで自動調整を行います。その後1分以内に再度押し、標準モードで自動調整を行います。
- ジャイロリモコンを使用し、「ボタン割当」機能で「自動同期調整」を選んでも同期調整が行えます。(41ページ)



同期調整中表示



コンピュータの映像を調整する(つづき)

自動同期調整時の画面表示機能

自動同期調整中に表示される画面を設定します。

メニュー画面で同期調整メニューの「自動同期調整画面」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

メモ

-  …無信号時画面で設定されている画面が投射されます。
-  …調整中のコンピュータ画面が表示されます。



便利な機能を使う



ネットワーク機能について

ネットワークの設定をする前に

ネットワーク関連で設定できる項目について説明します。これらを正しく設定しないと、ワイヤレスで接続できないことがあります。

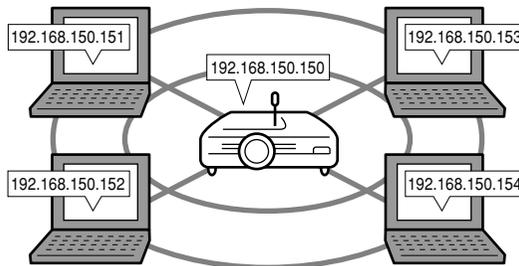
また、すでにワイヤレスネットワークが構築されている場合は、決められた値を設定しなければならないことがありますので、ネットワーク管理者にご相談ください。

IPアドレス

■IPアドレスとは

IPアドレスとは、ネットワークに接続している機器を識別するための番号です。IPアドレスは、ネットワーク単位で機器ごとに割り当てる必要があります。

プロジェクターとコンピュータをワイヤレス接続するということは、ワイヤレスLANネットワークにプロジェクターとコンピュータを接続するということと同じです。したがって、プロジェクター（とコンピュータ）にIPアドレスを割り当てなければ、お互いを識別することができず、結果としてワイヤレス接続できないことになります。



■割り当てるIPアドレスについて

プロジェクターとコンピュータを1対1でワイヤレス接続するなど、ローカルなネットワークを作る場合は、そのネットワークに接続する機器のローカルネットワーク用IPアドレスとして「192.168.0.1」～「192.168.255.254」を割り当てることができます。

本機のIPアドレスが「192.168.150.150」で問題がなければ、工場出荷時のまま変更する必要はありません。

（割り当ての例）

- プロジェクター本体…「192.168.150.150」
- コンピュータ（1台め）…「192.168.150.151」
- コンピュータ（2台め）…「192.168.150.152」

設定のしかたは、[70ページ](#)をご覧ください。

なお本機は、ネットワークに接続された機器へIPアドレスを自動的に割り当てる、「DHCPサーバー機能」を持っています。

詳しくは[73ページ](#)をご覧ください。



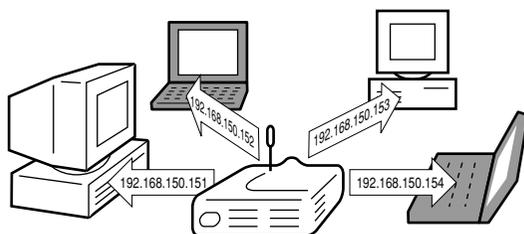
メモ

- ローカルなネットワークで割り当てることができるIPアドレスの範囲は、規格で決められているものです。
- IPとは、Internet Protocolの略です。

DHCPサーバー機能

■DHCPサーバー機能とは

DHCPサーバー機能とは、ネットワークに接続された機器のIPアドレスを自動的に割り当てる機能です。コンピュータ側のネットワーク設定を、「IPアドレスを自動的に取得する（DHCPサーバーを使用する）」にすると、プロジェクターがIPアドレスを自動的に割り当てることができます。



この機能を使うときは、次の設定を行なってください。

- ① 割り当てるIPアドレスの開始値と、いくつまで自動的に割り当てるか（最大割り当て個数）を設定する。
- ② プロジェクターのDHCPサーバー機能を「ON」にする。

設定のしかたは、[73ページ](#)をご覧ください。



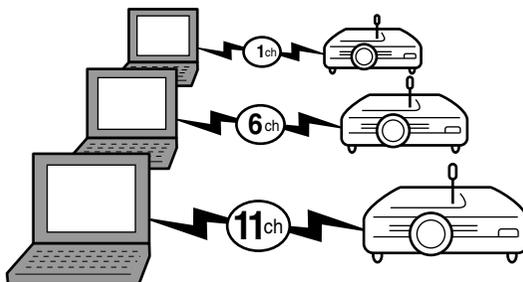
メモ

- DHCPとは、Dynamic Host Configuration Protocolの略です。

無線チャンネル

■無線チャンネルとは

無線チャンネルとは、ワイヤレスLAN PCカードがワイヤレス通信に使用する周波数のことです。IEEE802.11b規格では14個のチャンネルが使えるようになっています。プロジェクターを使用する場所の近くで、別のワイヤレスLANネットワークが使われている場合などは、お互いに異なるチャンネルを設定して干渉しないようにします。



■割り当てる無線チャンネルについて

近くに干渉するネットワークがなければ、原則として「1」「6」「11」のいずれかを設定してください。「11」の設定で問題がなければ、工場出荷時のまま変更する必要はありません。

設定のしかたは、[71ページ](#)をご覧ください。

ワイヤレスLAN PCカードを使う

プロジェクターのINPUT (入力) 4端子にワイヤレスLAN PCカードを装着することにより、コンピュータの映像をワイヤレスでプロジェクターが受信し、投映することができます。

ワイヤレスLAN PCカードを装着する

1 プロジェクターのINPUT (入力) 4 PCカードスロットにワイヤレスLAN PCカードを装着する

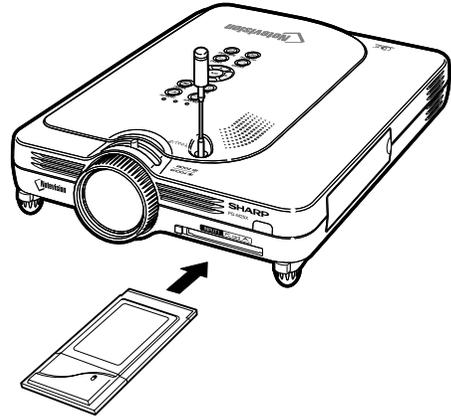
- カード装着のしかたについて、詳しくは**31ページ**をご覧ください。

お知らせ

ワイヤレスLAN PCカードを使って画像を受信するときは、最初に本機の電源を入れてください。画面に「待機中」と表示されたら、コンピュータの電源を入れてください。

メモ

- メモリーカードをプロジェクターに装着したときの動作は、**75ページ**をご覧ください。
- 操作は画面右下に「待機中」と表示されてから行ってください。



入力4
ワイヤレス

待機中

カードを取り出す

カードを取り出す前に必ず実行してください。

メニュー画面でカードメニューの「カード取り出し」を選ぶ

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

1 「カード取り出し」を選んで を押す

- しばらくすると、「PC Cardは、安全に取り出せます。」とメッセージが表示されます。

2 カードを取り出す

- カードは、メッセージが表示されてから取り出してください。
- カードの取り出しかたについて詳しくは**31ページ**をご覧ください。

お知らせ

- 手順1の「カード取り出し」を実行せずにPCカードを取り出すと、メモリーカード内のデータ消失や、PCカードの故障の原因となる場合があります。
- プロジェクターを移動させるときは、必ずPCカードを取り出し、イジェクトボタンが飛び出していないことを確認してください。飛び出した状態で移動させると、破損の原因になることがあります。



PC Cardは、安全に取り出せます。

ネットワーク関連の設定をする

- ワイヤレスで画像を投映するには、コンピュータと本機の両方のネットワーク設定を行う必要があります。
- コンピュータの設定方法についてはWireless Reality取扱説明書をご覧ください。
- すでにネットワークが構築されている場合は、決められた値を設定しなければならないことがありますので、ネットワーク管理者にご相談ください。



プロジェクター名を設定する

プロジェクターの名前を設定します。

プロジェクター名はコンピュータでプロジェクター検索を行ったときに表示されるもので、好きな名前を設定することができます。

工場出荷時の設定は「MY_PROJECTOR」です。

メニュー画面でネットワークメニューの「プロジェクター」を選び設定する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

1 または を押して「プロジェクター」を選び、 を押す

メモ

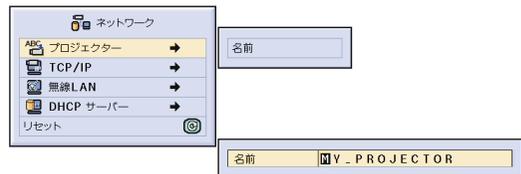
- パスワードが設定されている場合は、「プロジェクター」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。

2 「名前」で を押す

3 または を押して、設定したい文字を選ぶ

メモ

- 入力できる文字は、次の通りです。
英字(A~Z)、数字(0~9)、記号(-、_、左右カッコ)
- または ボタンを押すたびに次の順番で切り換わります。
- 1つ左の文字を削除したいときは、「BS」を選んで を押します。



ネットワーク関連の設定をする(つづき)

4 を押して次の桁へ移動する

メモ

- 文字を修正したいときは、またはを押して修正したい桁に移動し、またはで文字を修正してください。
- ジャイロリモコンのでも桁を選ぶこともできます。
- 設定を途中で止めたいときは、を押します。

5 手順3~4を繰り返し、すべての文字を設定する

メモ

- 16文字まで設定することができます。

6 を押す

- 設定が有効になります。

TCP/IPを設定する

プロジェクターのIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを設定します。

メニュー画面でネットワークメニューの「TCP/IP」を選び設定する

 本体でメニュー画面を操作するときは、52ページをご覧ください。

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、55ページをご覧ください。

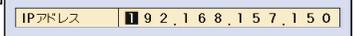
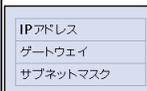
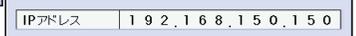
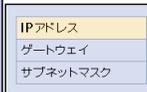
1 またはを押して「TCP/IP」を選び、を押す

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「TCP/IP」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。

2 またはを押して「IPアドレス」または「ゲートウェイ」または「サブネットマスク」を選び、を押す

3 またはを押して、設定したい数値を選ぶ



4 (←)または(→)を押して修正したい桁に移動する

メモ

- ジャイロリモコンの(←)を押しても移動することができます。
- 設定を途中で止めたいときは、(↺)を押します。

5 手順3~4を繰り返し、すべての桁を設定する

6 (↵)を押す

無線LANを設定する

1 チャンネルを設定する

無線LANのチャンネルを、他の無線チャンネルと干渉しないよう設定します。

メニュー画面でネットワークメニューの「無線LAN」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、52ページをご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、55ページをご覧ください。

1 (▲)または(▼)を押して「無線LAN」を選び、(↵)を押す

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「無線LAN」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。

2 (▲)または(▼)を押して「チャンネル」を選び、(↵)を押す

3 (▲)または(▼)を押して、設定したい無線チャンネル番号を選ぶ

メモ

- 国や地域によっては、使用できる無線チャンネルが制限されています。使用できる無線チャンネルについては、ワイヤレスLAN PCカード注意書をご覧ください。

4 (↵)を押す



ネットワーク関連の設定をする(つづき)

2 SS IDを設定する

ワイヤレスLANに接続する機器の「グループ」を識別する必要があるときは、SS IDを設定します。

工場出荷時の設定は「SHARP_PRJ」です。

メニュー画面でネットワークメニューの「無線LAN」を選び設定する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、52ページをご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、55ページをご覧ください。

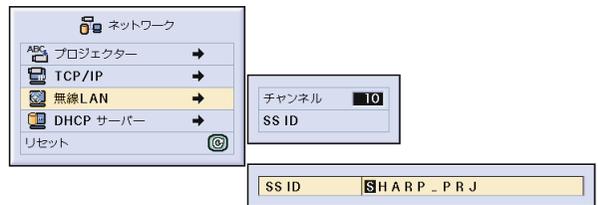
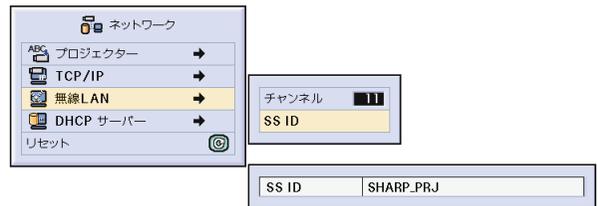
1 または を押して「無線LAN」を選び、 を押す

2 または を押して「SS ID」を選び、 を押す

3 または を押して、設定したい文字を選ぶ

メモ

- 入力できる文字は、次の通りです。
英字(A~Z)、数字(0~9)、記号(-、_、左右カッコ)
- または ボタンを押すたびに次の順番で切り換わります。
- 1つ左の文字を削除したいときは、「BS」を選んで を押します。



4 を押す

- ジャイロリモコンの で移動することもできます。

メモ

- 文字を修正したいときは、 または を押して修正したい桁に移動し、 または で文字を修正してください。
- 設定を途中で止めたいときは、 を押します。

5 手順3~4を繰り返し、すべての文字を設定する

メモ

- 16文字まで設定することができます。

6 を押す

設定が有効になります。

DHCPサーバーを設定する

プロジェクターのDHCPサーバー機能を利用するときに設定します。

メニュー画面でネットワークメニューの「DHCPサーバー」を選び設定する

 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- 「開始アドレス」、「最大割当て数」はDHCPサーバー機能が「OFF」のとき、設定することができます。
- パスワードが設定されている場合は、「DHCPサーバー」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。

1 DHCPサーバー機能を無効にする
サブメニューの「サーバー」を「OFF」にしてください。

2 割り当て開始アドレスを設定する
サブメニューの「開始アドレス」に、割り当て開始アドレスを設定します。

開始アドレスの設定方法は、**70ページ**「TCP/IPを設定する」の手順をご覧ください。

3 最大割当て数
IPアドレスを割り当て開始アドレスから最大で何個まで自動で割り当てるか設定します。

ワイヤレスLANネットワークに、最大で何台までコンピュータなどを接続する予定か、を目安にして設定してください。

1～253個まで、設定できます。

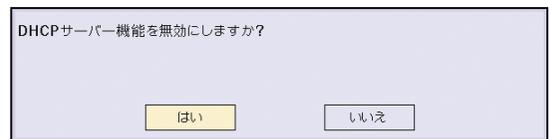
メモ

- 割り当て数によって割り当てられるIPアドレスの下3桁が255より大きくなる場合にはそれ以上割り当てられません。

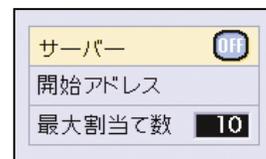
4 DHCPサーバー機能を有効にする
サブメニューの「サーバー」を「ON」にしてください。

メモ

- DHCPサーバーを「ON」にしたときは、コンピュータを再起動してください。
- 本機のDHCPサーバー機能を有効にしたとき、同じワイヤレスLANネットワーク内に、別のDHCPサーバー（プロジェクター含む）を接続していると、ネットワークが正常に機能しない場合があります。別のDHCPサーバーが接続されている場合はネットワーク管理者へご相談ください。



↓ 「はい」を選択



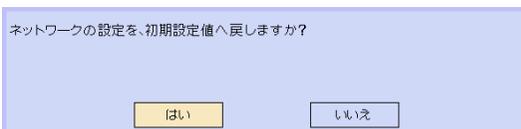
ネットワーク関連の設定をする(つづき)

ネットワークの設定をリセットする

ネットワーク関連の設定を、工場出荷時の状態に戻します。
メニュー画面でネットワークメニューの「リセット」を選ぶ
確認画面が表示されたら  で「はい」を選び、 を押す

 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

 ジョイスティックでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。



メモ

- パスワードが設定されている場合は、「リセット」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。

ワイヤレスLAN PCカード使用時のトラブルシューティング

ワイヤレスLAN PCカードを使っている場合にネットワークに接続できないときは、以下の確認を行ってください。

1. ワイヤレスLAN PCカードのLINKランプが点灯していますか？

- 点灯: 正常に動作しています。
- 点滅: ワイヤレスLAN PCカードが正常に動作していません。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 消灯: カードが動作していません。きちんとカードを装着してください。

2. プロジェクターとコンピュータのSS ID/チャンネルの設定内容は同じですか？

- SS ID/チャンネルの設定が全て同一でないと通信はできません。
- コンピュータのワイヤレス通信のモードが802.11アドホックモードに設定してあることを確認してください。

3. プロジェクターとコンピュータのネットワークの設定状態を確認してください。

- プロジェクターの「DHCPサーバー」の「サーバー」の設定が「OFF」になっている時
プロジェクターとコンピュータのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの値を再度確認してください。
- プロジェクターの「DHCPサーバー」の「サーバー」の設定が「ON」になっている時
プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、DHCPの開始アドレスの値を確認します。
IPアドレス、DHCPの開始アドレスは、サブネットマスクで指定された部分が同一になっていないと、正常に割り当てができません。

(例)

IPアドレス	192.168.150.120
サブネットマスク	255.255.255.0
開始アドレス	192.168.150.100…正しい 192.168.050.100…誤り

4. 画像を受信するときは、最初に本機の電源を入れてください。画面に「待機中」と表示されたら、コンピュータの電源を入れてください。

上記の確認を行ってもワイヤレスLAN PCカードが動作しないときは、Wireless Reality取扱説明書をご覧ください。

メモリーカードを使う

プロジェクターにメモリーカードを装着し、カードに保存した画像を投影することができます。メモリーカードにプレゼンテーション用ファイルを保存しておけば、コンピュータを接続しなくても、プロジェクターとメモリーカードだけでプレゼンテーションを行うことができます。

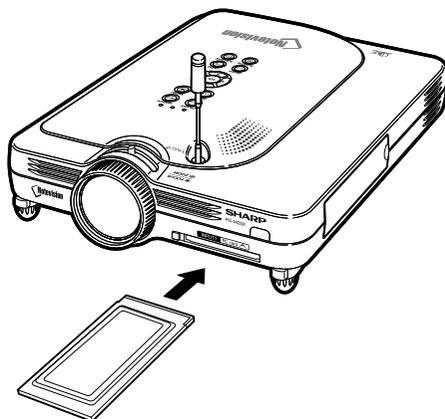
カードの内容をインデックス表示する

1 プロジェクターのINPUT (入力) 4 PCカードスロットにメモリーカードを装着する

- カードの装着のしかたについて、詳しくは**31ページ**をご覧ください。
- カードに記録されているファイルがインデックス表示されます。(インデックス表示モード)。ただしオートランが「 スクリプトファイル」または「 スライドショー」のときはオートランが働きます。(79ページ)

メモ

- 使用できるメモリーカードは**122ページ**をご覧ください。
- インデックス表示モードの表示形式については、**76.77ページ**をご覧ください。
- ワイヤレスLAN PCカードをプロジェクターに装着したときの動作は、**68ページ**をご覧ください。
- プロジェクターが対応できるファイルは以下のファイルです。
 - 無圧縮のビットマップ (.BMP)
 - JPEGファイル (.JPEG/.JPG)
 - 無圧縮のTIFFファイル (.TIFF/.TIF)
 - VQファイル (.VQ)
 - スクリプトファイル (.SSF)
- 拡張子は3文字で表示されます。



カードを取り出す

カードを取り出す前に必ず実行してください。

メモ

この操作をしないでカードを取り出すと、データが消失する場合があります。

メニュー画面でカードメニューの「カード取り出し」を選ぶ

 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

お知らせ

- カードを取り出す前に、必ずカードメニューの「カード取り出し」を行ってください。
- 「カード取り出し」を行わずにカードを取り出すと、カードの故障やカード内のデータが消失される場合があります。

メモリーカードを使う(つづき)

1 「カード取り出し」を選んで^{ENTER}を押す

- しばらくすると、「PC Cardは、安全に取り出せます。」とメッセージが表示されます。

2 カードを取り出す

- カードは、メッセージが表示されてから取り出してください。
- カードの取り出しかたについては31、68ページをご覧ください。



PC Cardは、安全に取り出せます。

サムネイル表示に設定しているとき

JPEGファイルとスライドショー用VQファイルをサムネイル表示します。(ファイルによっては、サムネイル表示されない場合があります。)

サムネイルがない画像ファイルや、画像以外のファイルは、ファイル名を表示します。

- フォルダ、画像ファイル、スクリプトファイル以外は、ファイル名の表示色がグレーになります。
- フォルダは、[] で表示されます。
- ファイル名は、8文字+拡張子3文字で表示されます。
- ファイル名やフォルダ名が英字・数字以外のときは「?」で表示されます。

メモ

- JPEGのサムネイル画像は、PCF規格に準拠したデジタルカメラなどで撮影したファイルのときに表示されます。

フォルダを移動する

- でフォルダを選び、^{ENTER}を押します。

1つ上の階層のフォルダに移動する

- を選び、^{ENTER}を押します。

表示ページを変える

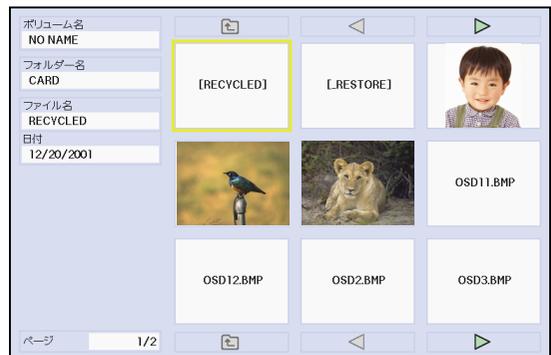
- を選び、^{ENTER}を押します。

ファイルを選んで投映する

- でファイルを選び、^{ENTER}を押します。
 - 選んだファイルの画像が表示されます。

- 画像が表示されているときに^{UNDO}ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

- [次ページ] …… ページを1ページ進めます。
- [前ページ] …… ページを1ページ戻します。
- [回転(右回り)] …… 画像を右回りに90°回転させて表示します。
- [回転(左回り)] …… 画像を左回りに90°回転させて表示します。
- [インデックスモード] …… 画像の自動表示を終了します。画面はインデックスモードになります。



一覧表示に設定しているとき

ファイルをリスト表示します。

→一覧表示の設定のしかたは79ページをご覧ください。

フォルダを移動する

-     でフォルダを選び、
 を押します。

1つ上の階層のフォルダに移動する

-  を選び、 を押します。

表示ページを変える

-   を選び、 を押します。

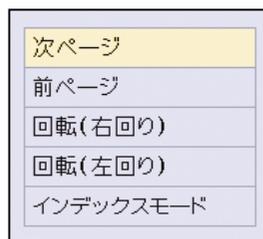
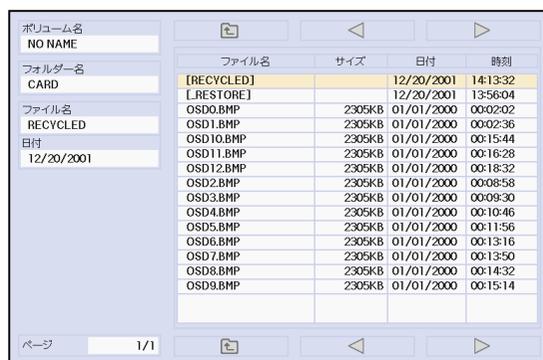
ファイルを選んで投映する

-   で画像ファイルを選び、
 を押します。

• 選んだ画像が表示されます。

- 画像が表示されているときに  ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

- [次ページ] …… ページを1ページ進めます。
- [前ページ] …… ページを1ページ戻します。
- [回転(右回り)] …… 画像を右回りに90°回転させて表示します。
- [回転(左回り)] …… 画像を左回りに90°回転させて表示します。
- [インデックスモード] …… 画像の自動表示を終了します。画面はインデックスモードになります。



メモリーカード関連の設定をする



表示ファイルを設定する

インデックス表示モードで表示するファイルを、種類によって制限することができます。

メニュー画面でカードメニューの「表示ファイル」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

【全て】

すべてのファイルとフォルダを表示します。

【画像ファイル】

画像ファイルとフォルダを表示します。

対象となる画像ファイルの種類は、次の通りです。

JPEG、VQ、TIFF、BMP

【スクリプトファイル】

スクリプトファイルとフォルダを表示します。



ファイルの表示順を設定する

インデックス表示モードで表示するファイルの表示順を設定できます。

メニュー画面でカードメニューの「ソート」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

【名前順】

アルファベット順に表示します。

【新しい日付順】

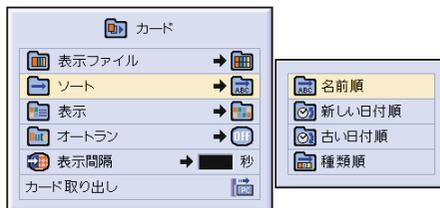
ファイル作成日の新しい順に表示します。

【古い日付順】

ファイル作成日の古い順に表示します。

【種類順】

ファイルのタイプ順に表示します。



インデックス表示モードの表示形式を設定する

メニュー画面でカードメニューの「表示」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

【サムネイル表示】

カード内容をサムネイル表示します。

【一覧表示】

カード内容をリスト表示します。



オートラン機能を使う

オートラン機能は次の状態のときに働きます。

- ・カードを装着した状態でプロジェクターの電源を入れたとき
- ・プロジェクターの電源が入った状態でメモリーカードを装着したとき

メニュー画面でカードメニューの「オートラン」を選ぶ

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

【オフ】

オートラン機能を無効にします。

メモリーカードを装着するとインデックス表示になります。

【スクリプトファイル】

同梱のWireless Realityソフトウェアのスライドマネージャーで作成したスクリプトファイルがメモリーカードに保存されている場合、自動的にスクリプトファイルを読み込み、スクリプトファイルに従って画像ファイルを順次自動的に投映します。

- ・画像を表示する間隔は、スクリプトファイルの中で規定された時間です。
- ・1つのメモリーカードにつき、オートラン設定できるファイルは1つだけです。
- ・スクリプトファイルがない場合、または「SHARPPRJ」フォルダがない場合、またはスクリプトファイルがあってもオートランが設定されていない場合は、インデックス表示になります。

【スライドショー】

メモリーカードの「SHARPPRJ」フォルダに保存されている画像ファイルを、順次自動的に投映します。

- ・画像ファイルがない場合またはSHARPPRJフォルダがない場合、またはスクリプトファイルがあってもオートランが設定されていない場合は、インデックス表示になります。



メモリーカード関連の設定をする(つづき)

画像ファイルの表示間隔を設定する

スライドショーのスライド(画像ファイル)の表示間隔を設定できます。

メニュー画面でカードメニューの「表示間隔」を選び調整する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

オートラン機能で画像を投映中に  ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

- [次ページ] …… ページを1ページ進めます。
- [前ページ] …… ページを1ページ戻します。
- [インデックスモード] …… 画像の自動表示を終了します。画面はインデックスモードになります。

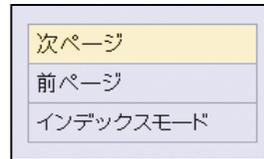
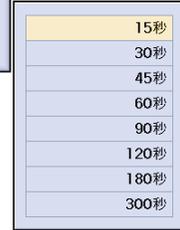
お知らせ

オートラン中に次の操作をすると、オートランが止まります。

- AVミュート
- 休憩時間
- 入力切替
- レンズ
-  を押しインデックスモードを選ぶ

メモ

- スライドショーの実行中には、画像が表示される間に、「しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されます。このメッセージは、「OSD表示」を「レベルA」または「レベルB」に設定すると表示されません。「OSD表示」の設定のしかたは**92ページ**をご覧ください。
- メモリーカードの種類や画像ファイルの大きさにより、画像の表示間隔は設定した時間より長くなります。



静止画機能

静止画機能を使うと、投映中の映像を静止画にすることができます。

この機能を使えば、静止画を表示中により詳しく説明を加えたり、次の画面を準備するまで静止画を表示することができます。

映像を静止状態にする

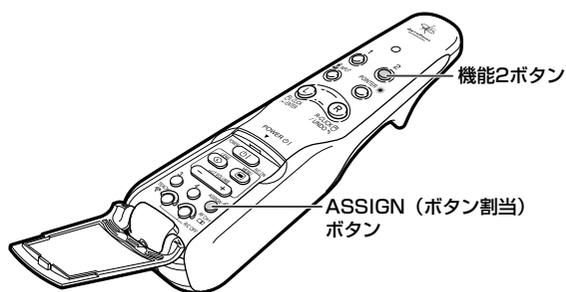
1  を押し、「ボタン割当2/5」を表示する

- スクリーン右下に割当機能が表示されます。

2  を押す

- 投映中の映像が静止画になります。

3 再度  を押すと、接続した機器の現在の映像に戻る



ボタン割当		2/5
1	AV ミュート	
2	静止画	
3	消音	
4	休憩時間	

▼表示画面

静止画 オン

静止画 オフ

お知らせ

- INPUT (入力) 4では、静止画機能が動きません。

画像表示モードを選ぶ

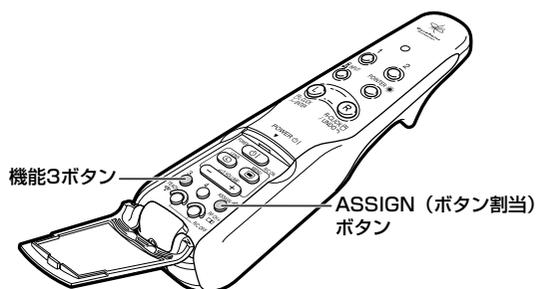
入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。入力信号の種類によって、「標準」・「フル」・「ドットバイドット」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ワイド」を選んでください。

入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える

1 ASSIGN を押し、「ボタン割当4/5」を表示する

- ・スクリーン右下に割当機能が表示されます。

2 ³ を押す



お知らせ

- ・「ドットバイドット」モードでは映像を元の解像度で表示するため拡大されません。
- ・XGA(1024×768)の信号を入力したとき、またはINPUT(入力)4使用時は、標準に固定されます。
- ・750Pや1125Iの映像信号を入力したときは、スクイーズ(フル)に固定されます。
- ・初期の状態に戻るには、「画面サイズ」が画面に表示されているとき、**RECALL** を押してください。

画像表示モード表示



コンピュータ

		標準	フル	ドットバイドット
4:3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	—	800 × 600
	XGA (1024 × 768)	1024 × 768	—	—
	SXGA (1280 × 960)	1024 × 768	—	1280 × 960
	UXGA (1600 × 1200)	1024 × 768	—	1600 × 1200
その他	SXGA (1280 × 1024)	960 × 768	1024 × 768	1280 × 1024

• XGA (1024×768) の信号を入力したとき、またはINPUT (入力) 4使用時は、標準に固定されます。

入力信号		表示イメージ		
		標準 縦横比を維持したまま、4:3スクリーンの内側いっぱいに画像全体を投映します。	フル 縦横比を無視して、4:3スクリーンいっぱいに画像全体を投映します。	ドットバイドット 画像を元の解像度で投映します。
XGAより解像度が低い	 縦横比 4:3			
XGA	 縦横比 4:3		—	—
XGAより解像度が高い	 縦横比 4:3			
SXGA (1280×1024)	 縦横比 4:3			

■ マスクされ映像がない部分
■ 元の信号自体に映像が無い部分

ビデオ

		ズーム	標準	スクイーズ(フル)	ワイド
4:3	525I, 525P, NTSC PAL, SECAM	1024 × 768	768 × 576*	1024 × 576*	1024 × 576*
16:9	750P, 1125I	—	—	1024 × 576*	—

• 750Pや1125Iの映像信号を入力したときは、スクイーズ (フル) に固定されます。

*これらの画像でデジタルシフト機能を使用できます。

入力信号		表示イメージ			
		ズーム 画像全体を投映します。	標準 4:3の画像を16:9スクリーンの内側いっぱいに投映します(画面の両端がマスクされます)。	スクイーズ(フル) スクイーズ記録された16:9の画像を16:9スクリーンに均一に投映します(画面の上下が黒くなります)。	ワイド 4:3映像の中央部分のアスペクト比を保ったまま、周辺部分のみ拡大し、16:9スクリーンいっぱいに投映します。
525I/525P/NTSC /PAL/SECAM	 縦横比 4:3				
	 レターボックス				
	 スクイーズ				
750P/1125I	 縦横比 16:9	—	—		—

■ マスクされ映像がない部分
■ 元の信号自体に映像が無い部分

映像をデジタル拡大する

この機能を使うと、投映された映像の一部を拡大することができます。映像の一部の詳細を表示したいときに便利です。

映像の一部を拡大表示する

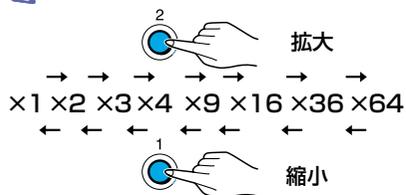
1  を押し、「ボタン割当3/5」を表示する

- スクリーン右下に割当機能が表示されます。

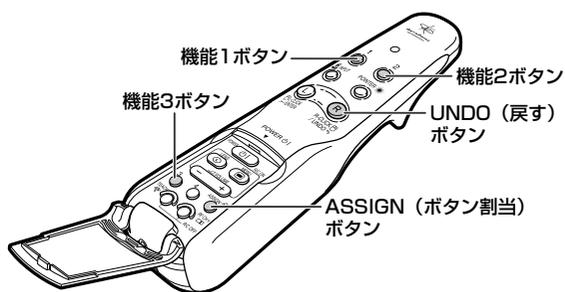
2  を押し拡大する

- 拡大した映像を縮小するときは、 を押します。

 メモ

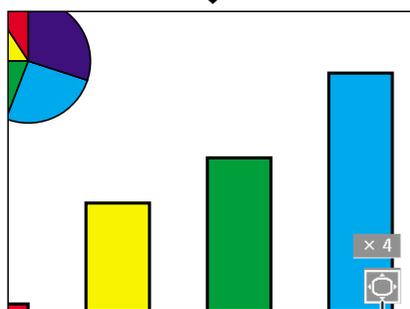
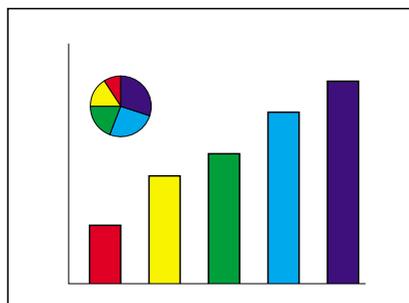


- SXGA+, UXGA (115ページ) の画面では、「x2」、「x3」は選択されません。



ボタン割当		3/5
1	部分拡大 (-)	
2	部分拡大 (+)	
3	画面移動	
4	P in P	

▼表示画面



画面移動マーク

3 拡大した画像を移動させるときは、

GYRO ACTIVE

を押しながらジャイロリモコンを動かす

- 画面移動マークが消えているときは、を押し、画面移動マークを表示させてから操作してください。

お知らせ

- オプションメニュー1の「OSD表示」が「レベルA」または「レベルB」に設定されているときは、「標準」に戻してください。「レベルA」または「レベルB」に設定されていると、画面移動マークが表示されず、画面移動ができません。

メモ

- 本体の     を使って
拡大部分の位置を移動することもできます。

4 で解除、倍率は×1に戻る

R-CLICK
/ UNDO

メモ

次の場合、拡大された映像が元の大きさ(×1)に戻ります。

- 入力切換を行ったとき
-  (戻す) が押されたとき
- 入力信号が変更されたとき
- オートラン実行中に画像が切り換わったとき

ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合は、ガンマ補正機能を使って見やすくなります。映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、暗いシーンを明るくするなど、より見やすい映像が楽しめます。

選択項目	補正内容
標準	標準の設定です。
プレゼンテーション	映像をより明るくしたいときに設定します。
シネマ	映画などを見るときに設定します。
ゲーム	ゲームなどをするとき設定します。

ガンマ補正を設定する

1  を押し、「ボタン割当4/5」を表示する

- スクリーン右下に割当機能が表示されます。

2  を押す

- 押すたびに、ガンマ補正の種類を切り換えることができます。

メモ

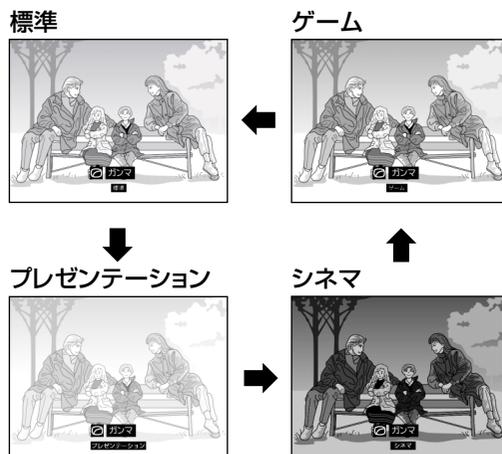
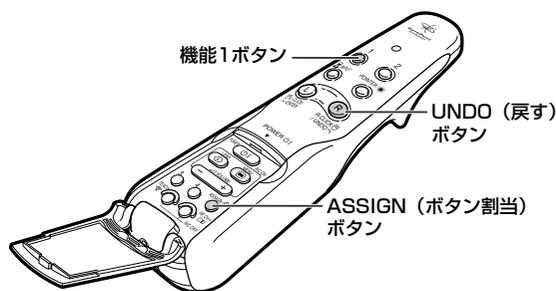
- オプションメニュー1の「sRGB」が「 (入)」に設定されているときは、INPUT (入力) 1とINPUT (入力) 4ではガンマ補正ができません。

3 工場出荷状態に戻りたいときは「ガンマ」が画面に表示されているときに  を押す

メモ

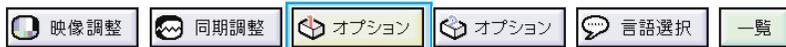
- 下表のガンマモードに戻ります。

入力モード	入力信号	ガンマモード
入力1	RGB信号	プレゼンテーション
	コンポーネント(色差)信号	シネマ
入力2	S映像信号	標準
入力3	ビデオ信号	標準
入力4	—	プレゼンテーション



省電力機能を設定する

省電力モードや無信号時自動電源オフ機能を使って、プロジェクターの消費電力を減らすための設定ができます。



省電力モードにする

メニュー画面でオプションメニュー1の「省電力モード」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

(入)

- ・「切」に対して、消費電力が約20%低減します。(投射画面の輝度も約20%低減します。)

(切)

- ・通常は「切」にして使用します。
- ※工場出荷時は (切) に設定されています。

メモ

- ・省電力モード「 (入)」に設定すると、投射画面が暗くなります。



無信号時自動電源オフ機能

「 (入)」に設定したときは、15分以上無操作で、更には次の場合は自動的に電源が切れます。

- ・INPUT1~3を選択：入力信号が検出されない
- ・INPUT4を選択：カードが入っていない

「 (切)」に設定すると無信号時自動電源オフ機能が「切」になります。

メニュー画面でオプションメニュー1の「無信号時自動電源オフ」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

メモ

- 無信号時自動電源オフ機能が「 (入)」に設定されているとき、電源が切れる5分前になると、1分ごとに「●分後に電源オフ」の表示がでます。



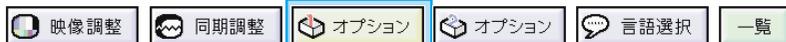
1分後に電源オフ



2つの画像を表示する (P in P)

ピクチャーインピクチャーは同一の画面の中に2つの画像を表示する機能です。

INPUT (入力) 1から入力された画像 (RGB信号) の中に、INPUT (入力) 2またはINPUT (入力) 3から入力された画像 (ビデオ信号) を子画面表示します。(RGBメニュー以外では設定できません。)



子画面を表示する

メニュー画面でオプションメニュー1の「P in P」を選び表示する (INPUT (入力) 1およびINPUT (入力) 2またはINPUT (入力) 3に信号が入力された状態で操作してください。)

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、50ページをご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、54ページをご覧ください。

1

☞ を押し、○ を選ぶ

- を選ぶと「P in P」を解除します。

メモ

- ジャイロリモコンで操作するときは、ASSIGN を押し、「ボタン割当3/5」を表示させて4 を押します。再度押しと「P in P」が解除します。
- INPUT (入力) 4では「P in P」が動きません。

2

INPUT を押し、子画面の映像を切り換える

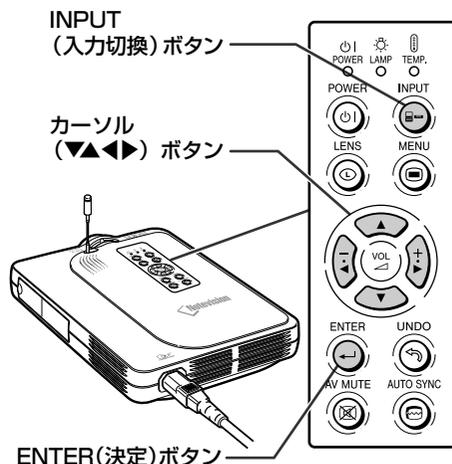
3

☞ を押し、子画面の表示枠を移動させて子画面の表示位置を決める

- 移動を止めるときや子画面表示枠を消したときは、UNDO を押します。

メモ

- ジャイロリモコンで子画面の位置を移動させるときは、ジャイロリモコン底面のGYRO ACTIVE を押しながら上下左右に動かします。



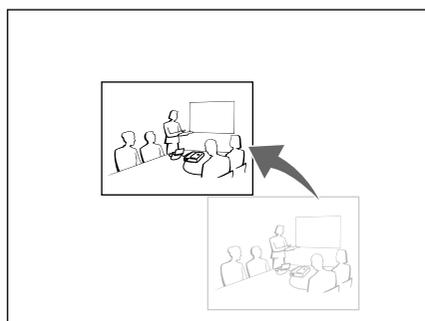
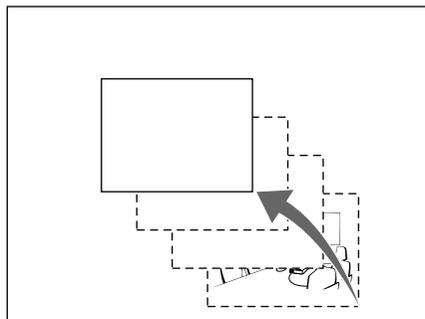
4

ENTER を押し、子画面を移動する

- 子画面表示枠の位置に子画面が移動します。

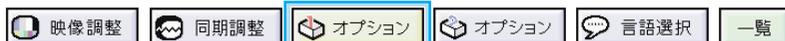
メモ

- 子画面用の信号は、NTSC/PAL/SECAMのビデオ信号やS映像信号のみです。
- ピクチャーインピクチャー機能が働いている間、静止画機能は子画面に対してのみ使用できます。INPUT (入力) 1に入力されている信号が次のような場合、ピクチャーインピクチャー機能は働きません。
 - SXGAを越える解像度の場合
 - 入力信号が525I、525P、750P、1125Iの場合
 - 入力信号がRGB信号で、インターレースのモードになっている場合
 - 画像表示モードがドットバイドットの場合
 - INPUT (入力) 1の信号が無信号になったときや、解像度、リフレッシュレート(垂直周波数)が変更された場合
- 子画面を切り換えるときは、ジャイロリモコンの  または本体の  を押します。



sRGBカラーマネジメント機能を動作させる

プロジェクターの出力信号を「sRGB規格(6,500K)」に合うように補正することができます。



sRGBカラーマネジメント機能を使う

メニュー画面でオプションメニュー1の「sRGB」を選び設定する

 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

メモ

- sRGBのより詳しい説明については、
“<http://www.srgb.com/>”をご覧ください。

お知らせ

- sRGBを「 (入)」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。
- sRGBが「入」のとき
 - ガンマ補正は設定できません。
 - 映像調整の「赤」「青」「色温度」は調整できません。



自動入力サーチを設定する

プロジェクターの電源を入れたときやINPUT (入力切換) ボタンを押したときに、信号が入力されているモードまたはカードが挿入されている入力モードを自動的に探し、その入力モードへ切り換えることができます。

自動入力サーチを使う

メニュー画面でオプションメニュー1の「自動入力サーチ」を選び設定する

 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

メモ

● (入)

電源を入れたときや、本体の  を押して自動的に信号のある入力モードにサーチさせたいときに設定します。

- 自動入力サーチを「 (入)」に設定しているとき、任意の入力を選びたいときは、ジャイロリモコンの「ボタン割当」機能で任意の入力を選びます。

● (切)

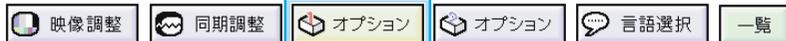
本体の  を押して、順番に入力を切り換えたい(サーチさせたくない)ときに設定します。

- 入力モードをサーチしているとき、サーチを止めたいときは、本体またはジャイロリモコンのINPUT (入力切換) ボタンを押してください。



ドットのちらつきやノイズを軽減する (DNR)

デジタルノイズリダクション (DNR) を使うことで、微細なドットのチラツキやクロスカラーノイズを軽減できます。



ノイズを軽減する (DNR)

メニュー画面でオプションメニュー1の「DNR」を選び設定する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

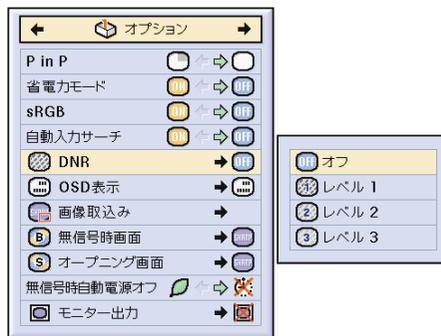
• 映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定してください。

次のような場合は「切」に設定します。

- 画像がぼやけて見えるとき
- 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- 電波の弱いテレビ放送を投射しているとき

お知らせ

- INPUT (入力) 2またはINPUT (入力) 3に信号が入力されているときに設定が行えます。
- INPUT (入力) 1を選んでいるときは、入力された信号が525i、525PのときにDNRの設定が行えます。



画面表示を設定する

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を" "に設定すると、INPUT (入力切換) ボタンを押しても、「入力1」などの画面表示が表れません。

選択項目	内容
<input type="radio"/> 標準	画面表示のすべてが表示されます。
<input type="radio"/> レベルA	入力、静止画、拡大、自動同期、音量、AVミュートは表示されません。
<input type="radio"/> レベルB	メニュー、キーストーン補正、デジタルシフトおよび警告用のメッセージ(電源オフ、温度、ランプなど)以外は表示されません。

画面表示を消す

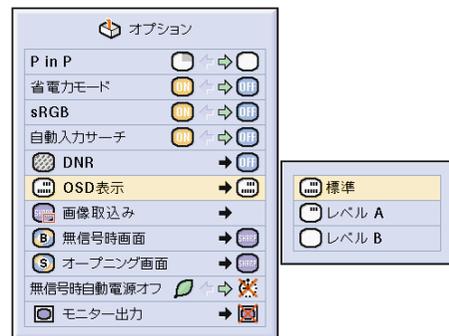
メニュー画面でオプションメニュー1の「OSD表示」を選び設定する

 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- 「OSD表示」の設定にかかわらず、次のメッセージが表示されます。
- INPUT (入力) 4にワイヤレスLAN PCカードが装着されているときの「待機中」のメッセージ
- PCカード装着時や、メモリーカードから受信しファイルを読み込み時の「しばらくお待ちください」のメッセージ



再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。



映像信号方式を設定する

メニュー画面でオプションメニュー1の「映像信号方式」を選び設定する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

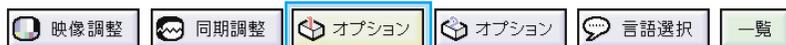
- 映像信号方式は、INPUT (入力) 2、3モード以外では設定できません。
- 「自動」では、PAL-NおよびPAL-Mを入力してもPAL表示になります。



PAL	PAL方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

投映画像を取り込む(カスタムイメージキャプチャ)

INPUT(入力)1(DVI端子)やINPUT(入力)4の投映画像(RGB信号)を本機に取り込み、「ユーザー設定画面」として無信号時画面やオープニング画面として設定することができます。



画像を取り込む

メニュー画面でオプションメニュー1の「画像取込み」を選ぶ

① 本体でメニュー画面を操作するときは、52ページをご覧ください。

② ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、55ページをご覧ください。

1 または で「取込み」を選び を押す

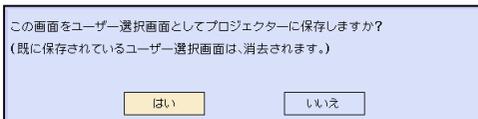
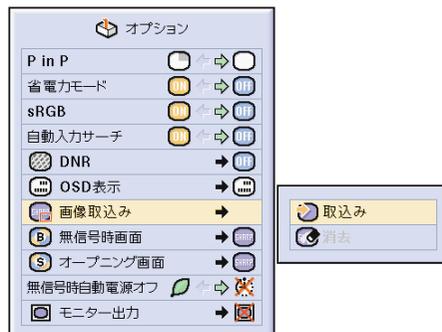
・投映画像を取り込みます。取り込みに時間がかかることがあります。

2 ① または で「はい」を選ぶ

② を押す

メモ

- ・取り込める画像は次のとおりです。
- ・INPUT1のXGA(1024×768)のノンインターレース信号
- ・INPUT4のメモリーカードのXGA(1024×768)画像ファイル
- ・INPUT4のワイヤレスLAN PCカードで受信したXGA(1024×768)画像
- ・取り込んだ画像は256色に減色処理されます。

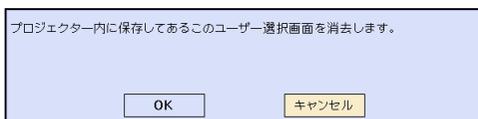


取り込んだ画像を消去する

1 「 消去」を選び を押す

2 ① または で「OK」を選ぶ

② を押す



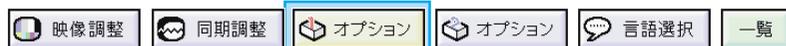
無信号時に表示する画面を設定する

プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選ぶことができます。

選択項目	無信号時画面
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ユーザー選択画面※ ¹	ユーザー設定画面(会社のロゴなど)
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	入力信号画面※ ²

※¹ 「画像取込み」で取り込んだ画像を設定できます。(94ページ)

※² 入力信号がスノーノイズのときは、そのままスノーノイズの画面になります。



無信号時画面の設定

メニュー画面でオプションメニュー1の「無信号時画面」を選び設定する

本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- ユーザー選択画面を選ぶと、「画像取込み」で取り込んだ画像を無信号時画面として表示できます。(94ページ)
- ユーザー選択画面は、工場出荷時は黒い画面です。



オープニング画面を選ぶ

この機能を使って、プロジェクターを起動させたときに表示される映像を指定することができます。

選択項目	無信号時画面
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ユーザー選択画面※	ユーザー設定画面(会社のロゴなど)
画面表示無し	入力信号画面

※ 「画像取込み」で取り込んだ画像を設定できます。

オープニング画面を設定する

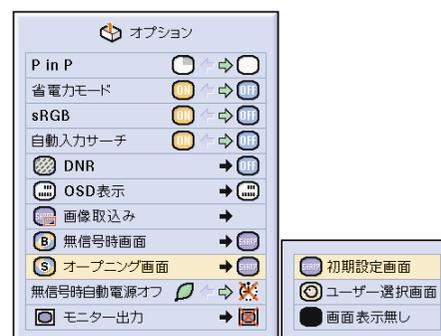
メニュー画面でオプションメニュー1の「オープニング画面」を選び設定する

本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- ユーザー選択画面を選ぶと、「画像取込み」で取り込んだ画像をオープニング画面として表示できます。
- ユーザー選択画面は、工場出荷時は黒い画面です。



RGBモニター出力用アダプターを使う

RGBモニター出力用アダプター（別売品）と市販のRGBケーブルを使って、コンピュータの映像をプロジェクターとモニターの両方に出力させたいときは、「使用する」に設定してください。



RGBモニター出力用アダプターを使う

メニュー画面でオプションメニュー1の「モニター出力」を選び設定する

- ▶ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。
- ▶ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- RGBモニター出力用アダプター（別売）を使用しないときは、「 使用しない」に設定してください。
- 正しく設定されていないと、投映画像が暗かったり、逆に明るすぎて白っぽくなる場合がありますが、故障ではありません。
- RGBモニター出力用アダプター（別売）を使用するときは「 使用する」に設定します。



ランプの使用時間を確認する



ランプ使用時間を確認するには

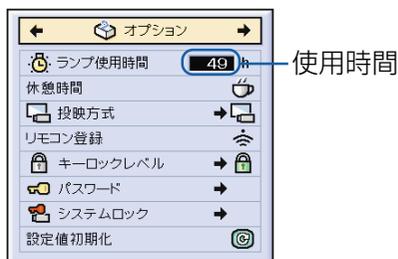
ランプの使用時間が表示されます。

メニュー画面でオプションメニュー2を選び「ランプ使用時間」を確認する

- ▶ 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。
- ▶ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

メモ

- ランプは、約1,900時間の使用で交換をおすすめします。
ランプの交換は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様相談センター（**119ページ**）にお問い合わせください。



休憩時間を表示する



休憩時間の表示と設定

メニュー画面でオプションメニュー2の「休憩時間」を選び設定する

- 1 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。
- 2 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

1 「☕」が表示されているときに または を押し、休憩時間を設定する。

- 1分から60分の間で設定できます。(1分単位)



休憩時間を解除したいとき

1 本体の またはジャイロリモコンの を押す

メモ

- ジャイロリモコンで操作するときは、「ボタン割当」機能で「休憩時間」を選びます。(41ページ)
- 休憩時間中は無信号時自動電源オフ機能が一時無効になりますが、休憩終了後に無信号状態が15分続くと、電源が切れます。
- 休憩時間は、オープニング画面の上に表示されます。休憩時間中に表示されている画面を変更したいときは、オープニング画面を設定し直してください。(95ページ)



映像の左右反転／上下反転のしかた

このプロジェクターは映像左右／上下反転機能を備えており、投映された映像を左右反転・上下反転することができ、いろいろな対応が可能です。

選択項目	画面
 フロント	通常映像
 天吊り	上下反転された映像
 リア	左右反転された映像
 天吊り+リア	左右／上下反転された映像



投映方式の設定

メニュー画面でオプションメニュー2の「投映方式」を選び設定する

 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「投映方式」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。
- この機能はプロジェクターを逆映像設定したり、天井に取り付ける場合に使用します。設置方法については**25ページ**をご覧ください。



プロジェクターの操作ボタンをロックする

この機能は、プロジェクター本体上面のボタンをロックするときに使用します。

キーロックレベルは、以下の3段階です。

キーロックレベル	内容
 標準	すべてのボタンが機能します。
 レベルA	入力切替、音量、AVミュート以外のボタンがロックされます。
 レベルB	すべてのボタンがロックされます。

キーロックの設定

メニュー画面でオプションメニュー2の「キーロックレベル」を選び設定する

 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「キーロックレベル」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。



キーロックの解除のしかた

キーロックレベルを「標準」に設定すると、すべてのボタンが機能します。

メニュー画面でオプションメニュー2の「キーロックレベル」を選び「 (標準)」に設定する

 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作する方法については、**55ページ**をご覧ください。

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「キーロックレベル」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。
- キーロック、パスワードがともに設定されている場合は、「キーロックレベル」を変更する前にパスワード入力が必要です。



パスワードを設定する

パスワードを設定することにより、オプションメニュー2の設定内容を変更できないようにすることができます。キーロックレベル (99ページ) と併せて使用するとより効果的です。



パスワードを入力する

メニュー画面でオプションメニュー2の「パスワード」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、52ページをご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、55ページをご覧ください。

1 または を押し、好きな番号が表示されたら を押す

2 同様に残りの3個を入力し を押す

3 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、 を押す

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「投影方式」、「リモコン登録」、「キーロックレベル」、「システムロック」、「設定値初期化」を変更する前に、パスワード入力が必要です。



パスワードを変更する

メニュー画面でオプションメニュー2の「パスワード」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

1 を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、を押す

2 新しいパスワードを を使って設定し、を押す

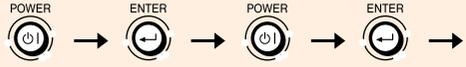
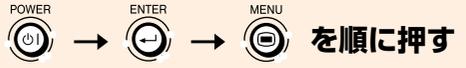
3 確認欄にもう一度同じパスワードを4桁入力し、を押す

メモ

- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順**2**と手順**3**でパスワードを入力しないで を押してください。
- 設定を途中で止めるときは、を押します。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除したあと、改めてパスワードを設定してください。

1  →  を順に押す



システムロックを設定する

システムロックを設定すると、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。
システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。
設定したキーコードは必ずメモしてください。

お知らせ

- キーコード入力画面で正しいキーコードを入力しないと、キーコード入力画面が表示されたままで、それ以降の操作ができません。キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができません。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。詳しくは修理相談センター(119ページ)にご相談ください。



キーコードを入力する

- システムロックは、パスワード(100ページ)を設定しないと選択できません。
- システムロックを選ぶとパスワード入力欄が表示されます。設定したパスワードを入力してからキーコードを入力してください。

メニュー画面でオプションメニュー2の「システムロック」を選び設定する

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、52ページをご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、55ページをご覧ください。

1 本体のボタンまたはジャイロリモコンのボタンを押し、キーコードを入力する

メモ

次のボタンはキーコードとして設定することができません。

- 本体/ジャイロリモコン共通
 - POWER (電源ON/OFF) ボタン
 - ENTER (決定) ボタン
 - UNDO (戻す) ボタン
 - MENU (メニュー) ボタン
- ジャイロリモコン
 - GYRO ACTIVE (ジャイロ操作) ボタン
 - POINTER (ポインター) ボタン
 - L-CLICK (左クリック)/ENTER (決定) ボタン
 - R-CLICK (右クリック)/UNDO (戻す) ボタン
 - MENU (メニュー) ボタン
 - TEACH (設定) ボタン
 - RF CH+ ボタン



2 同様に残りの3個を入力し  を押す

3 確認欄にもう一度同じキーコードを入力し、 を押す

メモ

- キーロック機能は一時的に無効になります。

システムロックを設定したとき電源を入れたときに、キーコード入力画面が表示されますので設定したキーコードを入力してください。

- ジャイロリモコンのボタンをキーコードとして設定したときはジャイロリモコンのボタンを押してください。本体のボタンを設定したときは本体のボタンを押してください。

お知らせ

- 設定したキーコードは、必ずメモしてください。お客様自身でのリセットができません。キーコードを忘れてしまった場合は、お客様相談センター (119ページ) にご相談ください。
- ジャイロリモコンのボタンをキーコードとしてシステムロックを設定しているときにジャイロリモコンを紛失すると、システムロックが解除できません。紛失した場合は、修理相談センター (119ページ) にご相談ください。
- 出張など、他の場所へ持って行ってご使用になる場合は、本体でのキーコード設定をおすすめします。



キーコード入力画面



システムロックを設定する(つづき)

キーコードを変更する

- パスワードを設定しているときは、「システムロック」を選ぶとパスワード入力欄が表示されます。パスワードを入力してからキーコードを変更してください。

メニュー画面でオプションメニュー2の「システムロック」を選び設定する

👉 本体でメニュー画面を操作するときは、**52ページ**をご覧ください。

👉 ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**55ページ**をご覧ください。

1 「旧コード」の欄に設定済みのキーコード(ジャイロリモコンまたは本体のボタン)を4桁入力する

2 ジャイロリモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを4桁入力する

メモ

- キーコードを未設定状態にしたいときは手順**2**と手順**3**でキーコードを入力しないで  を押してください。



旧コード	■ - - -
新コード	- - - -
確認	- - - -

設定内容を初期化する

この機能を使って、設定内容を初期化することができます。



設定値を工場出荷状態に戻す

メニュー画面でオプションメニュー2の「設定値初期化」を選ぶ

☞ 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。

☞ ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「設定値初期化」を選択すると、パスワード入力欄が表示されます。

次の項目は初期化されません。

- 同期調整
 - 特殊モード
 - 入力信号確認
- オプション2
 - ランプ使用時間
 - システムロック
- 言語設定
- 画像取り込みした画像



調整内容を一覧表示する

この機能を使うと、調整した設定内容すべてをスクリーンに一覧表示することができます。



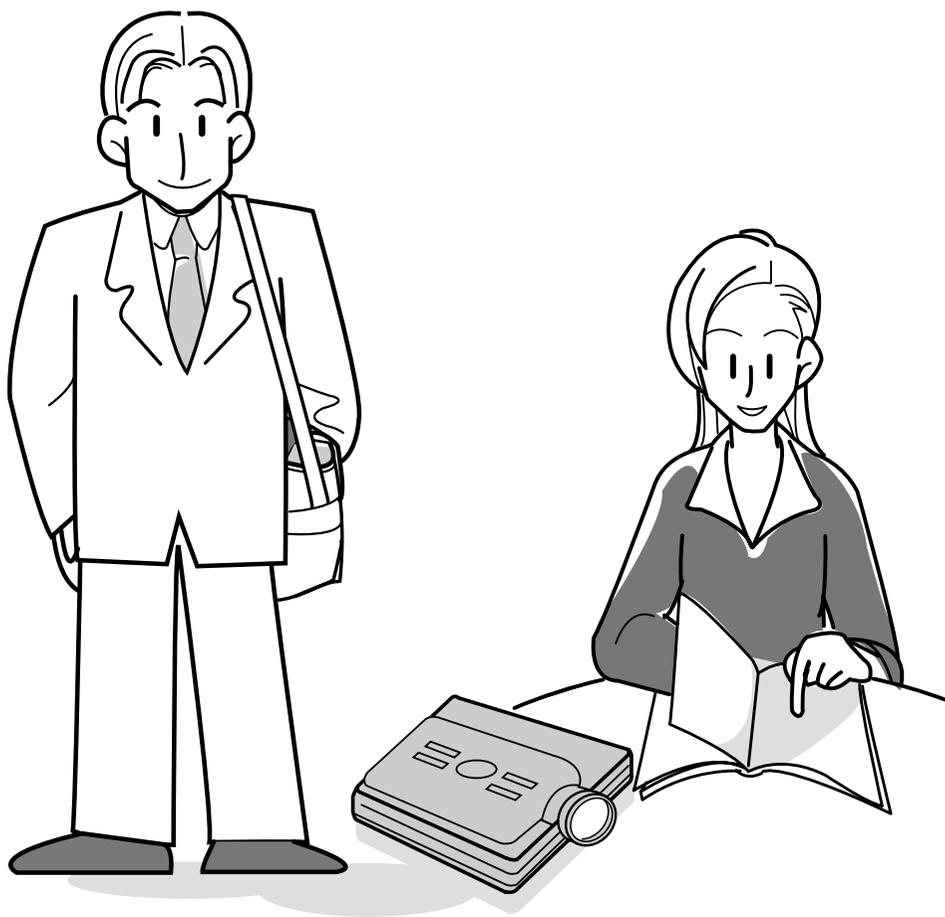
調整した内容を一覧にして確認する

- メニュー画面で一覧メニューを選び、^{ENTER} (決定) を押す
 ① 本体でメニュー画面を操作するときは、**50ページ**をご覧ください。
- ② ジャイロリモコンでメニュー画面を操作するときは、**54ページ**をご覧ください。

INPUT (入力) 1 の表示例

映像調整	同期調整	オプション	オプション	その他
コントラスト 0	ブロック 0	P in P	ランプ使用時間 49h	日本語 言語選択
明るさ 0	水平位相 0	省電力モード	投射方式	
赤 0	水平位置 0	sRGB	キーロックレベル	
青 0	垂直位置 0	自動入力サーチ	パスワード	標準 ガンマ
色温度 0	メモリー選択	DNR	システムロック *****	標準 画面サイズ
入力信号タイプ	特殊モード	OSD表示		
プログレッシブモード	自動同期調整	無信号時画面		
	自動同期調整画面	オープニング画面		シリアルNo. 123456789
		無信号時自動電源オフ	モニター出力	ファームウェア M25XXXX

付録



プロジェクターを持ち運ぶ

キャリングバックの使いかた

プロジェクターを持ち運ぶときは、アンテナを収納し、レンズキャップをして、付属のキャリングバックに入れてください。

1 カバーを開ける

2 キャリングバックからインナーパッドを取り出し、矢印の方向に折る

3 インナーパッドをキャリングバックの中に入れる

お知らせ

- レンズや本体を保護するため、インナーパッドは必ず装着してください。

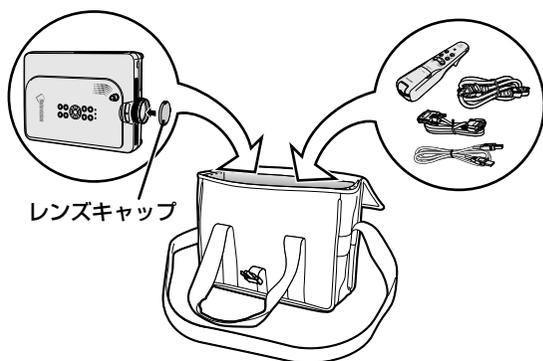
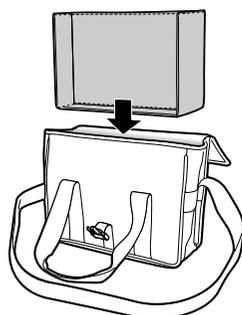
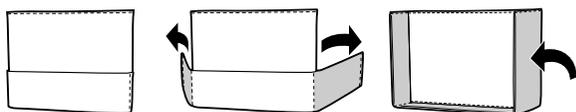
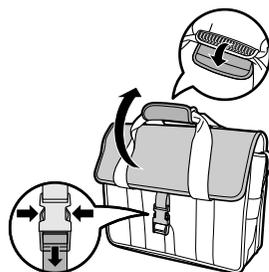
4 本体と付属品をキャリングバックに収納する

お知らせ

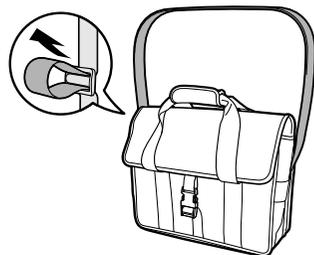
- レンズを保護するため、レンズキャップは必ず装着してください。
- 本体が十分冷えてから収納してください。
- ジャイロリモコン用アンテナは必ず収納してください。
- イジェクトボタンは必ず収納してください。
- ジャイロリモコンの電源を切ってください。

お知らせ

- このキャリングバックはプロジェクターの収納および持ち運び専用です。
- トラック使などでの運送用として使用しますと、外部の損傷や機器の故障の原因になります。運送用として使用するときは緩衝材を使用し、パッキングケース等に入れた状態で行ってください。
- 直射日光の当たる場所や、閉めきった自動車内、熱器具などの近くに放置しないでください。キャリングバックやプロジェクターの変形・変色の原因になります。
- プロジェクターを移動させるときは、必ずPCカードを取り出し、イジェクトボタンが飛び出していないことを確認してください。飛び出した状態で移動させると、破損の原因になることがあります。



肩にかけやすいようにベルトを調整できます。



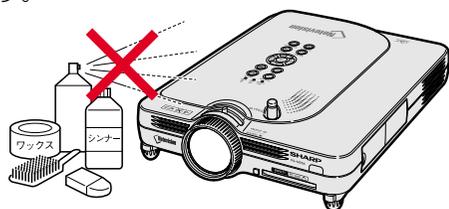
お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

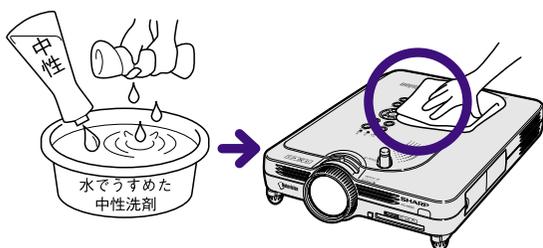
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。



レンズの手入れのしかた

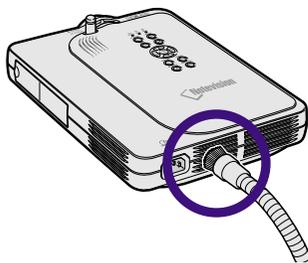
- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たいたりしないでください。



排気孔や吸気孔の手入れのしかた

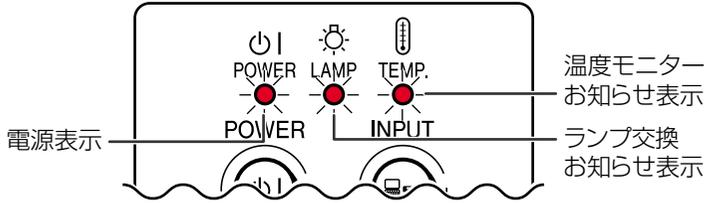
- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

本体背面



お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターお知らせ表示もしくはランプ交換お知らせ表示が赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が点滅します。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度表示が点滅、90秒のファン冷却後電源が切れます。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。



ランプ交換お知らせ機能について

- ランプの総使用時間が1,900時間を超えると、画面に黄色で“ランプ”が表示され、2,000時間になると“ランプ”表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。



お知らせ表示	お知らせ表示		現象	考えられる原因	処置のしかた
	正常	異常			
温度モニター お知らせ表示	消灯	赤色点灯 電源・切	内部温度が高温に なっている。	<ul style="list-style-type: none"> ●通風孔がふさがれている。 ●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障 ●内部通風孔の目づまり 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しい設置場所に設置してください。 ●販売店またはもよりの修理センター (119ページ) に修理を依頼してください。
	緑色点灯 (緑色点滅は 光源起動中)	赤色点滅			
ランプ交換 お知らせ表示		赤色点灯 電源・切	ランプ(光源)が 点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障 	

📖 お知らせ

- 温度モニターお知らせ表示が点灯し、電源が切れ、上記の処置を行った後、再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。(約5分以上)
- 一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。
- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、を押して電源を切った後、冷却ファンが止まるまで待つてから行ってください。
- 電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

ランプについて

ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。ランプの平均寿命は、のべ使用時間が約2,000時間です。1,900時間を超えたら、なるべく早めに新しいランプ(別売)と交換してください。1,900時間を超えなくても使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりした場合は、早めに新しいランプと交換してください。ランプの総使用時間は画面表示で確認できます。(96ページ参照)
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。
- ランプの取り替えは、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(119ページ)にお問い合わせください。



- プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命は2,000時間以下になることがあります。



- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ交換お知らせ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。



- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスのガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気口から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



ランプを交換する



- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
 - ランプ交換ユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプ交換ユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。
- 新しいランプ交換ユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。BQC-PGM20X//1に対応したランプ交換ユニットをお近くの販売店でご購入ください。ランプ交換は、112ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。



ランプについて(つづき)

ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け

お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプ交換ユニットを取り外してください。ランプ交換ユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプ交換ユニットカバー、ランプ交換ユニット以外のネジは絶対にゆるめないでください。
- ランプ交換ユニットに付属されているランプ交換説明書も合わせてご覧ください。

1 本体の **POWER** (電源入/切) を押しプロジェクターの電源を切る

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

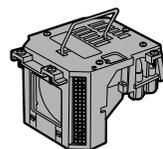
2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- 電源コードをAC電源ソケットより外します。
- アンテナを収納してください。
- ランプ交換ユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

3 ランプ交換ユニットカバーを取り外す

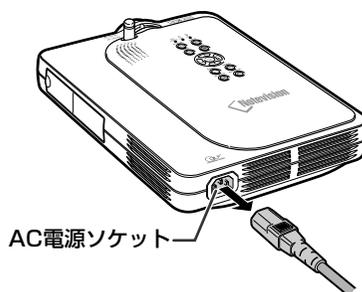
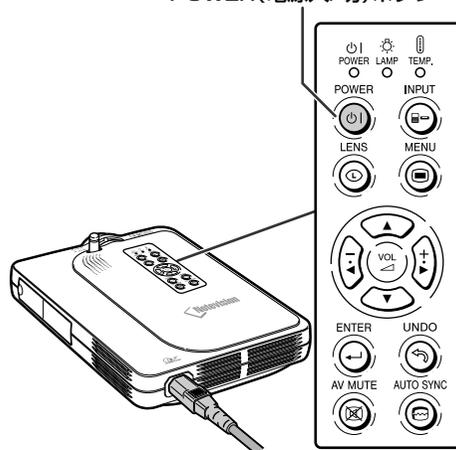
- プロジェクターを裏返しにして、ランプ交換ユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます。その後、矢印の方向にカバーをスライドさせます。

ランプ交換
ユニット

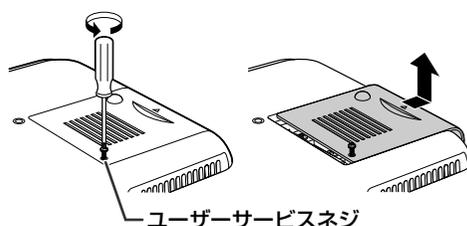


部品コード
BQC - PGM20X//1
流通コード
006 626 0299

POWER(電源入/切)ボタン



AC電源ソケット



ユーザーサービスネジ

4 ランプ交換ユニットを取り外す

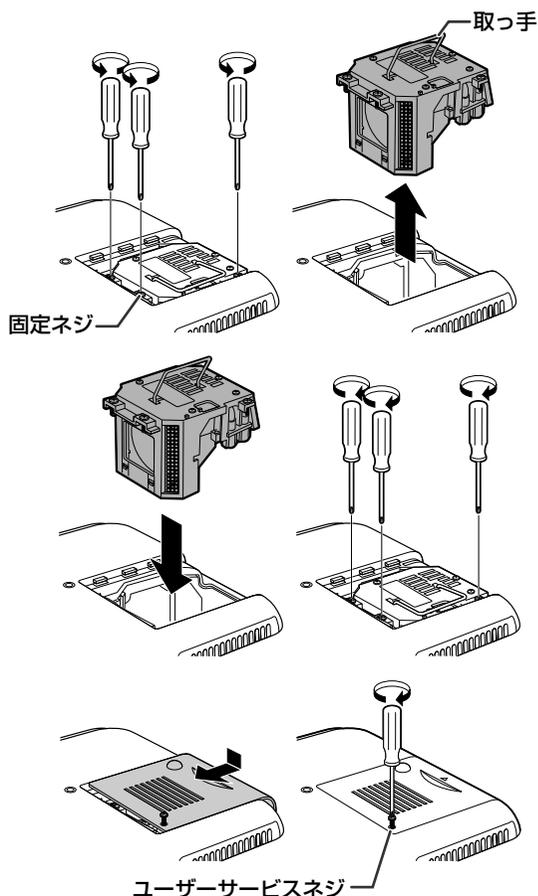
- ランプ交換ユニットの固定ネジをゆるめま
す。取っ手をつかみ、ランプ交換ユニットを矢
印の方向に引き出します。

5 新しいランプ交換ユニットを挿入する

- ランプ交換ユニットをしっかりとランプ交換ユ
ニット収納部に押し込みます。固定ネジをし
めめます。

6 ランプ交換ユニットカバーを取り付 ける

- 矢印の方向にランプ交換ユニットカバーをス
ライドさせます。その後、ユーザーサービスネ
ジをしめめます。



お知らせ

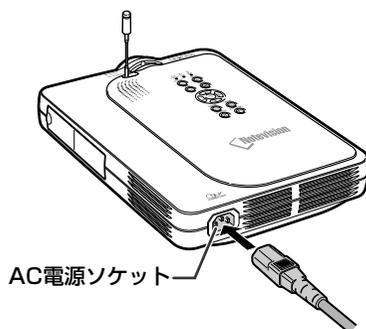
- ランプ交換ユニットカバーが正しく取り付けられ
ていないと、本体の電源コードを接続しても、電源
が入りません。

ランプ使用時間 (タイマー) を リセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセット
してください。

1 電源コードをプロジェクターに接続する

- 電源コードをプロジェクターのAC電源ソケッ
トに接続します。

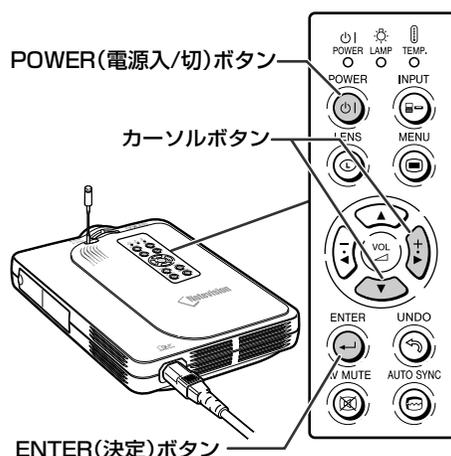


2 ランプ使用時間をリセットする

- プロジェクター本体の を
3つ同時に押しながら、 (電源入/切) を
押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「ランプ
0000H」が表示されます。

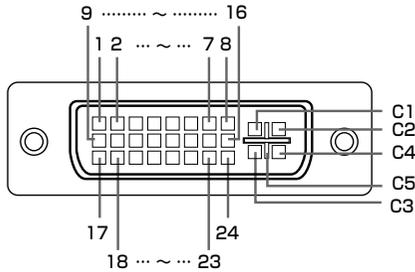
お知らせ

- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外
は行わないでください。リセットをして、規定以上ラ
ンプを使用すると破裂や故障の原因となります。



本体のコネクタのピン配置

DVI デジタル／アナログ入力 1 端子：29 ピンコネクタ



●DVIデジタル入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.S. データ 2-	16	ホットプラグ検出
2	T.M.D.S. データ 2+	17	T.M.D.S. データ 0-
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	18	T.M.D.S. データ 0+
4	NC	19	T.M.D.S. データ 0シールド
5	NC	20	NC
6	DDCクロック	21	NC
7	DDCデータ	22	T.M.D.S. クロックシールド
8	NC	23	T.M.D.S. クロック+
9	T.M.D.S. データ 1-	24	T.M.D.S. クロック-
10	T.M.D.S. データ 1+	C1	NC
11	T.M.D.S. データ 1 シールド	C2	NC
12	NC	C3	NC
13	NC	C4	NC
14	+5V 電源	C5	接地
15	接地		

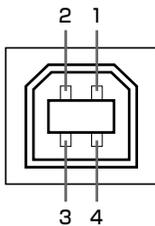
●DVIアナログ(RGB)入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	NC	16	ホットプラグ検出
2	NC	17	NC
3	NC	18	NC
4	NC	19	NC
5	NC	20	NC
6	DDCクロック	21	NC
7	DDCデータ	22	NC
8	アナログ垂直同期	23	NC
9	NC	24	NC
10	NC	C1	映像(赤)
11	NC	C2	映像(緑)
12	NC	C3	映像(青)
13	NC	C4	アナログ水平同期
14	+5V 電源	C5	接地
15	接地		

●DVIアナログコンポーネント(色差)入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	NC	16	NC
2	NC	17	NC
3	NC	18	NC
4	NC	19	NC
5	NC	20	NC
6	NC	21	NC
7	NC	22	NC
8	NC	23	NC
9	NC	24	NC
10	NC	C1	Pr/Cr
11	NC	C2	Y
12	NC	C3	Pb/Cb
13	NC	C4	NC
14	NC	C5	接地
15	接地		

4 ピン USB コネクタ



●USBコネクタ：4ピンBタイプUSBコネクタ

ピン番号	信号	信号名
1	VCC	USB電源
2	USB-	USBデータ-
3	USB+	USBデータ+
4	SG	接地

RGB入力信号 (推奨信号) について

- 幅広い信号に対応
 - 水平周波数：15kHz～126kHz
 - 垂直周波数：43Hz～200Hz*
 - ドットクロック：12MHz～230MHz
- シンクオングリーン信号とコンポジットシンク信号に対応。
- 高品位圧縮表示により、UXGA、SXGA に対応。
- AICS リサイズ技術 (高品位圧縮表示/拡大表示) 採用。

下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA 規格	DVI サポート 信号	ディスプレイ		
PC	VGA	640 × 350	27.0	60			拡大表示	
			31.5	70				
			37.9	85	✓			
		720 × 350	27.0	60				
			31.5	70				
			27.0	60		✓		
	640 × 400	31.5	70			✓		
		37.9	85	✓		✓		
		27.0	60			✓		
	720 × 400	31.5	70			✓		
		37.9	85	✓		✓		
		26.2	50					
	640 × 480	31.5	60			✓		
		34.7	70					
		37.9	72	✓		✓		
		37.5	75	✓		✓		
		43.3	85	✓		✓		
		47.9	90					
		53.0	100					
		61.8	120					
		78.5	150					
		80.9	160					
	100.4	200						
	SVGA	800 × 600	31.4	50				
			35.1	56	✓			✓
			37.9	60	✓			✓
			44.5	70				
			48.1	72	✓			✓
46.9			75	✓		✓		
53.7			85	✓		✓		
56.8			90					
64.0			100					
77.2			120					
XGA	1,024 × 768	98.3	150					
		102.1	160					
		125.6	200					
		35.5	43			✓		
		40.3	50					
		48.4	60	✓		✓		
		56.5	70	✓		✓		
		58.1	72					
		60.0	75	✓		✓		
		68.7	85	✓		✓		
73.5	90							
77.2	96							
80.6	100							
98.8	120							
113.2	140							

PC/MAC/WS	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA 規格	DVI サポート 信号	ディスプレイ	
PC	SXGA	1,152 × 864	54.3	60		✓	高品位圧縮表示
			64.0	70			
			64.1	72			
			67.5	75	✓	✓	
			75.7	80			
			77.3	85			
		90.2	100				
		54.8	60				
		65.9	72				
		67.4	74				
		64.0	60	✓	✓		
		74.6	70				
	78.1	74					
	80.0	75	✓				
	91.1	85	✓				
	108.4	100					
	SXGA*	1,400 × 1,050	64.0	60			
			74.7	52			
	UXGA	1,600 × 1,200	75.0	60	✓		
			81.3	65	✓		
87.5			70	✓			
90.1			72				
93.8			75	✓			
106.3			85	✓			
PC/MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67			拡大表示
PC/MAC 19"	XGA	1,024 × 768	48.4	60	✓	✓	リアル表示
			60.0	75	✓	✓	
PC/MAC 21"	SXGA	1,280 × 1,024	80.0	75	✓		高品位圧縮表示
MAC 16"	SVGA	800 × 600	46.8	75			拡大表示
		832 × 624	49.6	75			
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.5	75			
HP (WS)		1,280 × 1,024	78.1	72			
PC (WS)		1,280 × 960	60.0	60	✓		
WS			85.9	85			
SGL (WS)	SXGA	1,280 × 1,024	53.5	50			高品位圧縮表示
			76.8	72			
SUN (WS)			60.9	66			
			71.9	76			

メモ

- 本機は、同時 (CRT/LCD) モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして "CRTのみ" モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの操作マニュアルに記載されています。
- 本機に 640 × 350 VESA 形式の VGA 信号を入力した場合、スクリーン上では "640 × 400" と表示されます。
- 本機に 1,600 × 1,200 VESA 形式の信号を入力した場合は、サンプリングを行い、映像を 1,024 本の線で表示するため、映像の一部が欠けることがあります。

* 垂直周波数 100Hz 以上の信号を入力し、画面表示を出しているときは、一時的に画面にノイズが現れることがあります。

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声もない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。 	26
	<ul style="list-style-type: none"> ●表示させる画面の選択がまちがっていませんか。 	35
	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。 	27~32
	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 	17
	<ul style="list-style-type: none"> ●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。 ●AVミュート画面になっていませんか。 	- 36
	<ul style="list-style-type: none"> ●ランプ交換ユニット、ランプ交換ユニットカバーが正しく取り付けられていますか。 	112
 音声は出るが映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。 	27~32
	<ul style="list-style-type: none"> ●映像調整の「明るさ」が「-（マイナス）」側いっぱいになっていませんか。 	59
 色がうすい、色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●映像調整は、正しく調整されていますか。 	59
	<ビデオ入力するとき> <ul style="list-style-type: none"> ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 <入力1のとき> <ul style="list-style-type: none"> ●入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。 	93 60
 映像がボヤける ノイズが発生する	<ul style="list-style-type: none"> ●レンズのフォーカスは合っていますか。 ●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。 	37 23~24
	<コンピュータ入力するとき> <ul style="list-style-type: none"> ●同期調整(クロック調整)を行ってください。 ●同期調整(位相調整)を行ってください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。 	61-63 61 -
	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタルノイズリダクション(DNR)の設定は適切ですか? 	91
	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクター側面の配線は、正しく接続されていますか。 	27~32
 映像は出るが音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が最小になっていませんか? 	35
	キャビネットから時々「ピシッ」と音がる	<ul style="list-style-type: none"> ●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。
お知らせランプが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ●「お知らせ表示について」をご覧ください。 	110
画面のキャプチャができない	<ul style="list-style-type: none"> ●INPUT(入力)1の入力信号はアナログRGB/デジタルRGBのXGA(1024×768)の信号ですか。それ以外の信号ではキャプチャできません。 	94
P in Pができない	<ul style="list-style-type: none"> ●INPUT(入力)1の信号がSXGAを超える解像度になっていませんか。 ●INPUT(入力)1の入力信号が525i、525P、750P、1125iのコンポーネント(色差)信号を入力していませんか。 ●INPUT(入力)1の入力信号がRGB信号でインターレースのモードになっていませんか。 	89
本体ボタンで電源を入/切できない	<ul style="list-style-type: none"> ●キーロックレベルが設定されていませんか。レベルBに設定されている場合、すべてのボタンが働きません。レベルAに設定されている場合、入力切換、音量、AVミュート以外のボタンは働きません。 	99
入力1のコンポーネントモードで画面が緑がる	<ul style="list-style-type: none"> ●入力信号タイプが正しく設定されていますか。 	60
入力1のRGBモードで画面がピンクがる	<ul style="list-style-type: none"> ●入力信号タイプが正しく設定されていますか。 	60

こんなとき	ここをお調べください	ページ
INPUT(入力)4 PC カードスロットに装着した カードを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> ●確実に装着されているか確認してください。 ●ワイヤレスLAN PC カードを使用しているときは、ワイヤレスLAN PC カードのLINKランプが点灯しているか確認してください。 	31 —
「非対応カード」と 表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●本機が対応していないカードが装着されていませんか。 ●ワイヤレスLAN PC カード「AN-WC11B」(付属品または別売品)以外のワイヤレスLAN PCカードが装着されていませんか。 	3 20
映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ●ランプ交換お知らせ表示ランプが赤色点滅していませんか。赤色点滅しているときは、ランプ交換してください。 	110
	<ul style="list-style-type: none"> ●RGBモニター出力用アダプターを使ってモニター出力を接続しているのに、「モニター出力」の設定を「使用しない」にしていますか。 	96
映像が明るすぎて 白っぽくなる	<ul style="list-style-type: none"> ●RGBモニター出力用アダプターを使ってモニター出力を接続していないのに、「モニター出力」の設定を「使用する」にしていますか。 	96
	<ul style="list-style-type: none"> ●映像調整は、正しく調整されていますか。 	59
本体の音量ボタンが 働かない	<p>次のときは本体の音量ボタンは働きません。(リモコンのVOL+/-で操作してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メニュー表示中 ●レンズメニュー表示中 ●ピクチャーインピクチャー動作中 ●デジタル拡大(2倍以上) ●XGA(1024×768)より大きい画面解像度のドットバイドット 	—

アフターサービスについて

保証について

- ① このプロジェクターには、保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。ただし、光源(ランプ)のみは6ヵ月となります。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。故障のときは、お申しつけにより「出張修理」いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間中は修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センターにお問い合わせください。
- ④ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

保証期間

- 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
- 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。(6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用のプロジェクターの点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいにでない。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

補修用性能部品について

プロジェクターの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

修理を依頼されるときは

故障のときは使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き修理をお申しつけください。故障のままお使いになったり、ご自分での修理は危険です。ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼することができない場合は、もよりのシャープお客様相談センターにお問い合わせください。

- 修理依頼時に次のことをお知らせください。

- 商品名 デジタルマルチメディアプロジェクター
- 形名 PG-M25X
- 故障状況(できるだけくわしく)
- ご氏名
- ご住所(付近の目印など道順)
- お電話番号

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ 持込修理および部品購入のご相談

は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にも承っております。

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は..... *月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（02.04）

仕様

品名	デジタルマルチメディアプロジェクター	
形名	PG-M25X	
表示方式	単板DMD™ 3倍速カラーホイール色分離方式	
パネル	パネルサイズ	0.7型 (横14.0mm×縦10.5mm)
	画素数	786,432 (横1,024×縦768) ドット
標準レンズ	1~1.2倍手動ズームレンズ F1.75~2.04 f 28.0mm~33.5mm	
ランプ	210W	
音声出力	2W (モノラル)	
スピーカー	角型4×3cm 16Ω	
定格電圧	AC100V~240V	
定格周波数	50/60Hz	
入力電流	3.2A	
消費電力	295W (リモコン待機時 1W以下)	
使用温度範囲	5℃~35℃	
保管温度範囲	-20℃~+60℃	
入力端子	アナログRGB/コンポーネント入力端子	DVI端子 (デジタル/アナログ/コンポーネント共用) : DVI端子29ピン(INPUT1)
	S映像入力端子	輝度信号入力: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: 4ピンミニDINコネクタ(INPUT2) 色信号入力: 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	ビデオ入力端子	映像: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: RCAピン端子(INPUT3)
	PCカードスロット	PCMCIA-TYPE II (3.3V)
	音声入力端子	φ3.5 ミニジャック端子
USB端子	4ピンUSB端子 (Bタイプ)	
ジャイロリモコン用ワイヤード端子	φ3.5 ミニジャック端子	
キャビネット	プラスチック	
外形寸法	幅 219mm、奥行303mm、高さ 76mm (突起部除く)	
質量	2.6 kg	
<付属品>	<ul style="list-style-type: none"> • ジャイロリモコン • 単4乾電池×4本 • 電源コード • DVI/15ピンミニD-subケーブル • 端子部カバー (装着出荷) • USBケーブル • ワイヤレスLAN PCカード×2枚 • レンズキャップ (装着出荷) • レンズキャップストラップ • キャリングバッグ • 取扱説明書 (本書) • Wireless Reality Software取扱説明書 • ワイヤレスLAN PCカード注意書 • CD-ROM • 保証書 	

お願い

- DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

品名	11Mbps Wireless LAN PC Card (付属品)
形名	AN-WC11B (RUNTKA025WJZZ)
PCインターフェース	PCMCIA TYPE II 準拠
寸法	(幅)54×(奥行)115×(高さ)6mm
質量	40g
送受信周波数	2.4000~2.4835GHz
チャンネル数	1~11 (使用できるチャンネルは、国によって異なります。)
使用電圧	3.3V±5%もしくは5V±5%
消費電流	240mA 最大 300mA
電波方式	DS-SS方式 (直接スペクトラム拡散方式)
伝送速度	11Mbps, 5.5Mbps, 2Mbps, 1Mbps (速度自動切換)
送信出力	10dBm (常温動作時) 13dBm (最大)
変調方式	11Mbps, 5.5Mbps: CCK 2Mbps: DQPSK 1Mbps: DBPSK
セキュリティ	WEP (64bit/128bit) (プロジェクター未対応)
準拠規格	IEEE802.11b
メディアアクセス プロトコル	ACK CSMA/CA
環境条件	温度範囲: 0~55℃ 最大湿度: 95% (結露しないこと)
伝送距離	屋外: 約60~約120m 屋内: 約30~約60m (伝送距離は伝送速度や使用する環境により異なります。)

使用できるカードの種類と容量

1. 本機はデジタルカメラなどでメモリーカードに記録されたDCF規格^{※1}のJPEG静止画像が、カードモードで再生できます。
2. 下表のメモリーカード(市販品)がご利用になれます。

メモリーカード名 ^{※2}	ご利用可能なメモリーカード容量
フラッシュATAカード	128MB以下が使用できます。
SDメモリーカード	128MB以下が使用できます。
コンパクトフラッシュ	128MB以下が使用できます。
マルチメディアカード	64MB以下が使用できます。
スマートメディア	128MB以下が使用できます。

・それぞれのメモリーカードに適したPCカードアダプターが必要です。

<ご注意>

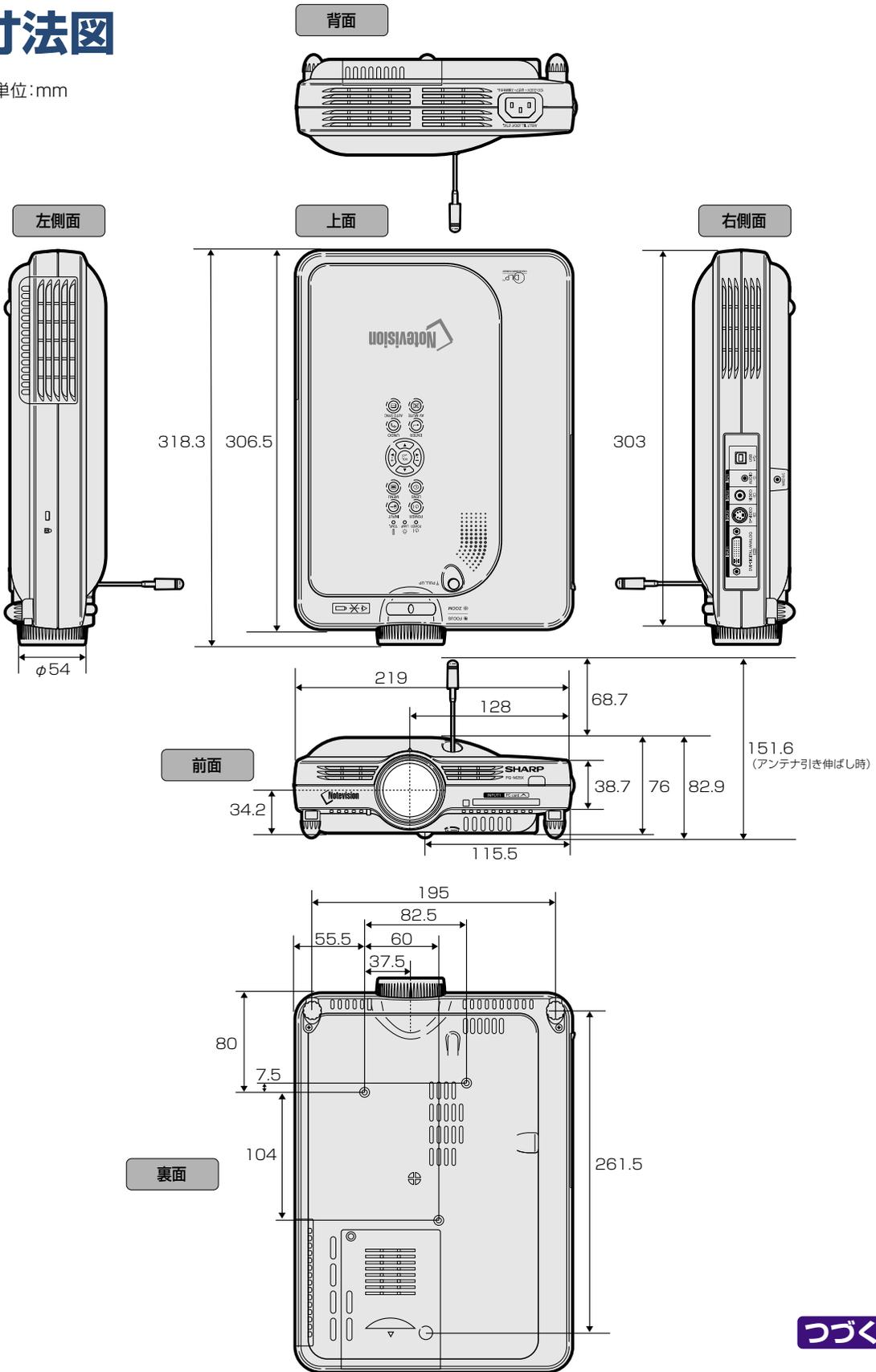
- (1) 上表以外のメモリーカードでの画像再生は、保証できません。
- (2) PCカードアダプターには、メモリーカードの容量について動作規定されている場合があります。
詳しくは、PCカードアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- (3) お手持ちのコンピュータで、作成や修正・コピー等、編集された画像は、一部再生できない場合があります。

※1 DCF規格：(社)電子情報技術産業協会の規格で「Design rule for Camera File system」の略称です。

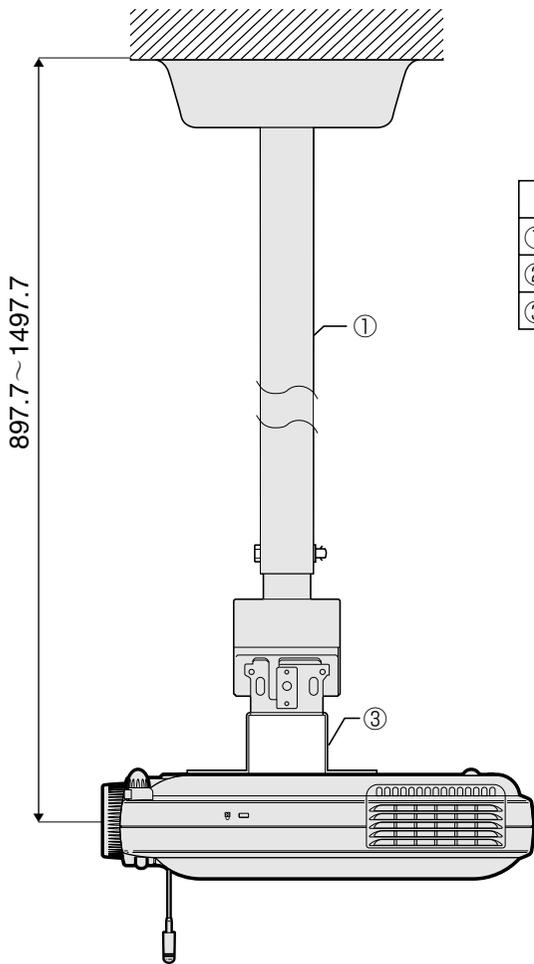
- ※2
- ・SDメモリーカードは商標です。
 - ・コンパクトフラッシュは、San Disk Corporationの商標です。
 - ・マルチメディアカードは、独 Infineon Technologies AGの商標です。
 - ・スマートメディアは、(株)東芝の商標です。

寸法図

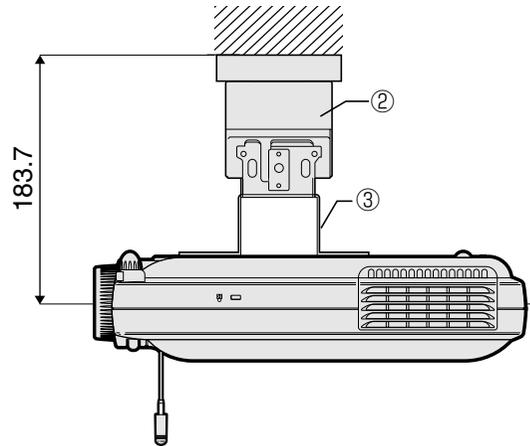
単位:mm



寸法図(つづき)



	品名	型名
①	高天井用取付けユニット	AN-TK201
②	低天井用取付けユニット	AN-TK202
③	取付けアダプター	AN-60KT



DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略です。IPアドレスなどのネットワーク設定を、サーバーからネットワークに接続された機器へ自動的に割り当てる手順のことです。

DVI

Digital Visual Interface. アナログインターフェイスもサポートした、ディスプレイ用のデジタルインターフェイスのことです。

IEEE802.11b

ワイヤレスLANの国際標準規格のひとつで、無線周波数2.4GHzを使用し、最高11Mbpsの速度でワイヤレス通信が可能です。

IPアドレス

Internet Protocolアドレスの略です。ネットワークに接続している機器を識別するための番号です。「192.168.0.1」のように、4つの数字をピリオドでつなげた形で表記します。

sRGB

IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードに切り換えると、DLPの特性を考慮した色変換を行い、原画像に基いた自然な色合いで表示します。

SS ID

Service Set IDの略です。ワイヤレスLANへ接続する機器の「グループ」を識別するための名前のことです。同じSS ID(グループ名)を持つ機器間だけが、ワイヤレスでデータの送受信を行なうことができます。英数字と記号の組み合わせ(32文字まで)で自由に設定できます。

一覧表示

各調整項目の設定内容を表示します。

色温度

プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げて、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

オープニング画面

プロジェクターの電源が入ったときに表示される映像です。

画面表示モード

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。「標準」「フル」「ドットバイドット」「ズーム」「スクイーズ(フル)」「ワイド」から選択できます。

ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合、映像の暗い部分をより明るくして映像を見やすくする機能です。「標準」「プレゼンテーション」「シネマ」「ゲーム」から選択できます。

キーストーン補正

プロジェクターの映像を投射したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

キーロック

いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン(キー)操作をロックできます。

クロック調整

コンピュータ入力時、画面の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

ゲートウェイ

異なるネットワーク間の通信の中継を行う装置です。

サブネットマスク

TCP/IPネットワークで使用されるパラメータのひとつで、IPアドレスをネットワークアドレスとホストアドレスに分離する際に使用されます。

高品位圧縮表示/拡大表示

解像度が低い、または高い映像を投射する場合、プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サイズを高品位に調整します。

システムロック

プロジェクターに設定された「キーコード」を入力しないと信号を入力しても、映像を投射できなくする機能です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最適な状態で投射する機能です。

スクイーズ(フル)

4:3の画面を均一に左右に引き伸ばして、ワイド画面で表示するモードです。

静止画

動く映像を一時停止する機能です。

縦横比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

デジタルシフト

16:9ワイド画面やシネマなど上下が黒くなる横長の映像を投射するときは、画像全体を上下させて見やすくすることができます。

ドットバイドット

映像を元の解像度で投射するモードです。

パスワード

オプション2メニューの設定内容を変更されたくないときはパスワード(暗証番号)を設定します。

ピクチャーインピクチャー

コンピュータ画面上に小画面でビデオを表示する方法です。

標準

4:3の画面をワイド画面(1024×576)に最大サイズ(768×576)で表示するモードです。プレゼンテーションのために役立つツールです。

プログレッシブモード

プログレッシブ変換のモードを選択できます。「2D プログレッシブ」、「3D プログレッシブ」、「フィルム」から選択できます。

プロジェクター名

プロジェクターを識別するための名前のことです。英数字と記号の組み合わせ(15文字まで)で自由に設定できます。

無信号時画面

信号が入力されていないときに投射される初期設定映像です。

無線チャンネル

無線チャンネルは、ワイヤレスLAN PCカードがワイヤレス通信に使用する周波数のことです。プロジェクターの使用場所の近くで、別のワイヤレスLANネットワークが使われている場合などは、お互いに異なるチャンネルを設定して干渉しないようにします。

ワイド

4:3の画面を、画面の中心部付近の縦横比を維持しながら、画面の左右だけを引き伸ばして、ワイド画面で表示するモードです。

記号英数

2D プログレッシブ	60
3D プログレッシブ	60
AC 電源ソケット	15、26
ASSIGN (ボタン割当) ボタン	16、41
AUDIO (音声) 端子	15
AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン	14
AV MUTE (AV ミュート) ボタン	14
DHCP サーバー	67、73
DNR	91
DVI/15 ピンミニ D-sub ケーブル	27
ENTER (決定) ボタン	14
GYRO ACTIVE (ジャイロ操作) ボタン	16
INPUT (入力切換) ボタン	14、16
INPUT (入力) 1 端子	15
INPUT (入力) 2 端子	15
INPUT (入力) 3 端子	15
INPUT (入力) 4 PC カードスロット	14
INPUT (入力) AUDIO (音声) 端子	15
IP アドレス	66、70
L-CLICK (左クリック) /ENTER (決定) ボタン	16
LED ランプ	16
LENS (レンズ) ボタン	14、16
MENU (メニュー) ボタン	14、16
OSD 表示	92
PC カード	31、68、75
P in P	88
POINTER (ポインター) ボタン	16
POWER (電源入/切) ボタン	14、16
R-CLICK (右クリック) /UNDO (戻す) ボタン	16
RF CH + ボタン	16
RGB 入力	60
sRGB	89
SS ID	72
TEACH (設定) ボタン	16
TCP/IP	70
UNDO (戻す) ボタン	14、16
USB ケーブル	47
USB 端子	15
VOLUME (音量) ボタン	14、16

ア行

アジャスター	15、22
アジャスターリリースボタン	15、22
イジェクトボタン	14、31
一覧表示	77、79、106
色温度	59

インデックス表示モード	79
映像左右反転/上下反転機能	98
映像信号方式	93
映像調整	59
オートラン	79
オープニング画面	95
温度モニターお知らせ表示	12、110

カ行

拡大表示	84
画像取り込み	94
カーソルボタン	14
画面サイズ	82
画面表示言語	37
カラーマネージメント	89
乾電池	17
ガンマ補正	86
キーストーン補正 (調整)	38
機能ボタン	16
キーロックレベル	99
キャリングバッグ	108
吸気孔	11、109
休憩時間	97
クロック	61
ゲートウェイ	70
言語選択	37

サ行

サブネットマスク	70
サムネイル表示	79
色差入力	60
システムロック	102
自動同期調整	63
自動同期調整画面	64
自動入力サーチ	90
ジャイロリモコン	16、18、40
ジャイロリモコン用アンテナ	14
ジャイロリモコン用ワイヤード端子	15
消音	36、41
省電力モード	87
水平位相	61
スクイーズ	83
スクリプトファイル	79
スクリーンの設置	23
スタンプ機能	45
スピーカー	14
ズーム (拡大/縮小)	84

ズーム (調整)	37
ズーム (表示イメージ)	82
ズームレバー	14、37
スライドショー	79
静止画機能	81
設定値初期化	105
ソート	78

タ行

端子部カバー	14、32
チャンネル	71
デジタルシフト	39
電源コード	26
電源ソケット	26
電源表示	110
天吊り	25
投映方式	98
同期調整	61
盗難防止用コネクター	15
特殊モード	62
ドットバイドット	83

ナ行

入力1～4モード	35
入力信号確認	63
入力信号タイプ	60
入力モード	35

ハ行

排気孔	11、15、109
パスワード	100
表示間隔	80
表示ファイル	78
標準	83
フィルム	60
フォーカス (調整)	37
フォーカスリング	14、37
付属品	20
フル	83
プログレッシブモード	60
プロジェクター名	69
別売品	20
ポインター機能	44
ボタン割当て	41
本体ランプ (お知らせ表示)	110

マ行

無信号時画面	95
無信号時自動電源オフ	87
無線チャンネル	67
無線LAN	71、72
メモリーカード	31、75、122
メモリー選択	62
メモリー保存	61
モニター出力	32、96

ラ行

ライン機能	46
ランプ	111
ランプ交換	110、111
ランプ交換お知らせ表示	110
ランプ使用時間	96
リセット	74
リモコン受信部	14
リモコン信号	18
リモコン登録	42
冷却ファン	12
レターボックス	83
レンズキャップ	15
レンズキャップストラップ	15
レンズ調整	37

ワ行

ワイド	83
ワイヤードリモコン端子	16
ワイヤレスマウス機能	47
ワイヤレスLAN PCカード	31、68

● 製品についてのお問い合わせは・・・

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

〈受付時間〉 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・・

[119ページ](#)記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本 社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地